

Complete Dynamics

プラクティショナー編

macOS用

バージョン 24.13 について

このマニュアルについて

このマニュアルはあなたにふさわしいか?

Complete Dynamicsのドキュメントは、多くのバリエーションが用意されています。

プログラム構成によって、異なるマニュアルを用意しています。

- プログラムのエディション。Browser、Practitioner、Masterのいずれか。
- コンピュータの種類Apple OS-X、Windows、iPad、iPhone、Android。
- 様々な国際言語。

適切なマニュアルは、あなたの状況にぴったりと適合します。

もし、完璧なマニュアルを読んでいないと思われる場合は、当社のウェブサイトwww.completedynamics.com、セクションドキュメントにアクセスし、そこからマニュアルをダウンロードしてください。

翻訳

Complete Dynamicsの新バージョンがリリースされるたびに、英語版マニュアルを最新版に更新しています。変更されたテキストの翻訳には、余分な時間がかかることがあります。

マニュアルの未翻訳部分は、このテキストのように印刷されたオリジナルの英語テキストが表示されます。

ようこそ

Complete Dynamics - Practitioner Edition へようこそ。

Complete Dynamics ソフトウェアプログラムは、コンピュータを使ったComplete Repertory の読解と学習において、究極の体験を提供します。ホメオパシーの専門家の間では、Complete Repertory は、その完全性、正確性、原典の網羅性で世界的に有名です。

Apple macOS®, Microsoft Windows®, Linux®, Apple iOS®, Android®でご利用いただけます。

プラクティショナー版では、以下のことができるようになります。

- Complete Repertory 全文を多言語で読み、学ぶことができます。
- 患者のケースファイルを管理する。
- 分析を行う。
- マテリアメディカの本を読む。

このページは、プログラムの使い方を説明するためのものです。

まずは、はじめにのセクションで、可能性の概要を知ることをお勧めします。

Complete Dynamics が、プロのプラクティショナー、学生、教師、研究者に関わらず、あなたのホメオパシーライフを豊かにすることを心から願っています。

Complete Dynamicsの開発チームです。

はじめに

直感的なデザイン

Complete Dynamics は、ホメオパシーの専門的なバックグラウンドを持つ人が、直感的に使えるように設計されています。プログラムの一部の機能は、ちょっとしたコツを覚えれば、より効果的に使うことができます。特に、*Jump to* フィールドや、*Find* フィールドを使用する場合は、その傾向が顕著です。これらのテーマに関するヘルプセクションを読んで、その強力な可能性について学んでください。数分の時間を割く価値はあります。

マウスを使う

コンピュータのマウスやトラックパッドは、一般的な作業を素早く行ったり、情報を呼び出したりするのに使用します。マウスカーソルが小さな手の形になると [BUTTON:hand]、クリックするとカーソルのあるアイテムに何らかのアクションが行われます。例：参考文献をクリックすると、参照したループリックに即座にジャンプします。また、ダブルクリックすることで、クリックした項目の詳細情報を取得できる場合もあります。例：書籍内のレメディの略語をダブルクリックすると、詳細情報を表示するダイアログが表示されます。スクロールホイールは、本のルビを素早く移動するために使用します。マウスやトラックパッドが横スクロールに対応している場合、本のページを素早くめくるために使用する機能です。

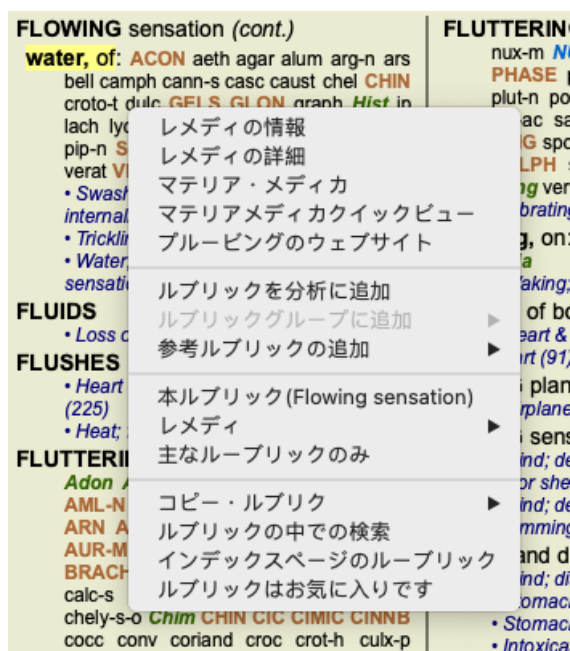
キーボードを使う

キーボードでほとんどの機能を素早く操作できるため、マウスとキーボードの使い分けが非常に少なくなりました。キーボードを使って本の中をすばやく移動したり、キーボードショートカットでメニューオプションにアクセスしたりすることができます。メニューを開くと、メニューのオプションと一緒にキーボードショートカットが表示されます。キーボードショートカットの概要については、キーボードショートカットをご覧ください。

ポップアップメニュー

多くの場面で、ポップアップメニューは機能への素早いアクセスを可能にします。右クリックでメニューが開きます（Mac はctrl-Click）。

例



複数選択可

選択した1つの項目だけでなく、複数の項目に対して同時にある作業を行いたい場合が多々あります。このような場合、まず複数の項目を選択し、選択されたすべての項目に対してタスクを実行することができます。

複数の項目を選択する方法

以下の例は、*Analysis* モジュールのルブリックを複数選択したものです。他の場所でも、原理は同じです。

1本の線を選択するには、マウスでクリックするだけです。

```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

行の範囲を選択するには、最初の行をクリックし、シフトキーを押しながら、最後の行をクリックします。

```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

1行の選択範囲を変更するには、*cmd*キーを押しながら、その行をクリックします。また、テキストの左側をクリックすることで、1行の選択範囲を変更することができます。(Book とFind モジュールで、ループリックラベルの左側をクリックすると、次のようになります。)

```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

すべての行を選択するには、*cmd*キー と*shift*キー の両方を押しながら、行をクリックします。

```

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

```

複数の選択項目に対して動作するアクション

ブックモジュール

Book モジュールでは、複数のループリックを選択することができます。複数のループリックに対応する機能もあれば、1つのループリックのみに対応する機能もあります。

複数のループリックで動作する機能です。:

- 分析にループリックを追加する。(メニューオプション *症例 / 追加, control-R*, ポップアップメニューオプション *ループリックを分析に追加*).
- 分析中の所定の症状にループリックを追加する。(メニューオプション *症例 / ループリックグループに追加 / 新しい症状*, ポップアップメニューオプション *ループリックグループに追加 / 新しい症状*).
- ループリックラベルをクリップボードにコピーする。(メニューオプション *ブック / コピー・ループリック / コピー (レメディを除く)*, ポップアップメニューオプション *コピー・ループリック / コピー (レメディを除く)*).
- ループリックラベルを、そのレメディとともにクリップボードにコピーする。(メニューオプション *ブック / コピー・ループリック / コピー (ループリックとレメディ)*, ポップアップメニューオプション *コピー・ループリック / コピー (ループリックとレメディ)*).

その他の機能は、1つのループリックで動作します。複数のループリックを選択した場合、最後にクリックしたループリックが使用されます。

モジュールの検索

Find モジュールでは、複数のループリックに関する機能はBook モジュールと同じです。

ケースモジュール

Case モジュールにおいて、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

- 複数の解析結果を削除する。(メニューオプション*症例/分析を削除する*, ポップアップメニューオプション*分析を削除する*).
- 複数の解析結果を別のケースに移動することができます。(メニューオプション*症例/分析を症例に移す*, ポップアップメニューオプション*分析を症例に移す*).
- 複数の処方箋を削除する。(メニューオプション*症例/処方の削除*, ポップアップメニューオプション*処方の削除*).

解析モジュール

Analysis モジュールで、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

- 複数のルビや症状を削除する。(メニューオプション*症例/削除*, ポップアップメニューオプション*削除*).
- 重み係数を割り当てる。(メニューオプション*症例/重み/重みx 2*, ツールバーボタン $\times 2$, ポップアップメニューオプション*重み/重みx 2*). などなど.
- 症状の分類クラスを割り当てる。(メニューオプション*症例/症状分類/プソラ*, ツールバーボタン \bigcirc , ポップアップメニューオプション*症状分類/プソラ*). などなど.
- グループ化機能のすべて
- ルビコントラベルをコピーする機能、救済措置の有無.
- 選択したループリックをコピーして、別の分析に貼り付けることができます。(メニューオプション*分析/コピー*, \mathbb{C} , ポップアップメニューオプション*その他/コピー*, メニューオプション*分析/ペースト*, \mathbb{C} -V, ポップアップメニューオプション*その他/ペースト*).
- 選択したループリックを別の症状へ上下に移動させる。(メニューオプション*移転/上へ*, ツールバーボタン \uparrow , ポップアップメニューオプション*その他/上へ*, メニューオプション*移転/下へ*, ツールバーボタン \downarrow , ポップアップメニューオプション*その他/下へ*).
- 複数のループリックを選択すると、分析結果エリアにそのループリックの救済措置が強調表示されます。
- 分析結果領域で複数の改善策を選択すると、その改善策が含まれるループリックが強調表示されます。

MMモジュール

レパートリー MM モジュールのセクションで、複数のループリックに関する機能は、Book モジュールと同じです。

インデックスタブ

Complete Dynamicsの主要なモジュールには、インデックスタブと呼ばれる方法でアクセスできます。モジュールを有効にするには、タブをクリックするか、メニューから選択するか (View オプション)、キーボードショートカットを使用します。

Practitioner edition これらは、Index, Book, Find, Case, Analysis and Materia Medica.



Index モジュールでは、テキストとグラフィックの両方を用いて、本の章にすばやくアクセスすることができます。詳しくはヘルプのインデックスモジュールをご覧ください。

Book モジュールはレパートリーを表示します。印刷された本のように読むだけでなく、より凝縮された形で見ることができます。詳細はヘルプセクションブックモジュールをご覧ください。

Find モジュールは、書籍内のループリックやレメディを検索するための強力な機能を備えています。詳しくはヘルプのFind moduleをご覧ください。

Case モジュールにより、患者のケースファイルを作成し、整理することができます。詳しくはヘルプセクションケースモジュールをご覧ください。

Analysis モジュールは、お客様のケースの分析に使用されます。詳しくはヘルプの解析モジュールをご覧ください。

Materia Medica モジュールはレメディに関する情報を提供します。詳細は、ヘルプセクションMateria Medica モジュールを参照してください。

ボタンバー

画面上部には、よく使う機能に素早くアクセスできるボタンバーを配置。



ボタンをクリックすると機能が有効になり、マウスをボタンに合わせるとその機能の簡単な説明が表示されます。

ライセンス

ライセンス購入方法

商用ライセンスの購入は、メニューのオプションから直接ウェブショップにアクセスできます。

- *Practitioner Edition* のライセンスについて。(メニューオプションヘルプ/ ライセンスの購入).

- の翻訳版については、Complete Repertory をご覧ください。(メニューオプションヘルプ/ の翻訳を購入する。Complete Repertory).

お支払いは、PayPal、クレジットカード、銀行振込（オプションは国によって異なります）で、安全かつ簡単に行うことができます。

ご注文後、ライセンス情報および請求書をメールにてお送りします。

ライセンスと価格

Complete Dynamicsの商用ライセンスは、サブスクリプションベースで購入することができます。

1ヶ月などの短期間、または長期間の購読が可能です。購入する期間が長ければ長いほど、魅力的な価格となります。

購読には以下が含まれます。

- **Complete Dynamics** を1台のコンピュータで無制限に使用できます。練習だけでなく、自宅でもパソコンを使っている、あるいはノートパソコンが余っている？ 問題ありません、料金に含まれています。(下記のセクション追加ライセンスを参照)。
- ソフトウェアの無償アップグレード。新機能を継続的に追加しています。追加費用なし、料金に含まれています。
- **Complete Repertory** の無料アップグレード。Complete Repertoryの新しいリリースがあるたびに、追加費用なしでいち早く入手することができます。
- **無料テクニカルサポート**。私たちは、ソフトウェアには問題があつてはならないと考えています。つまり、私たちの技術サポートは、他社で経験したことのないものなのです。私たちは、お客様の声に耳を傾け、本当にお客様の問題を解決します。時間をかけずに、コストをかけずに。
ただし、WindowsなどのOSのサポートは含まれていません。私たちは自分たちのソフトウェアをサポートしますが、マイクロソフトには自分たちのソフトウェアをサポートさせましょう。申し訳ございませんでした。

どのようなエディションが必要ですか？

無料の*Browser Edition*、有料の*Practitioner Edition*、*Master Edition* のどちらが必要かは、お客様のニーズによって異なります。

	ブラウザー	プラクティショナー	マスター	
インデックス	✓	✓	✓	インデックスモジュールで、対話形式で簡単に選択できます。
書籍	✓	✓	✓	Complete Repertory 全文を読む。
言語切替	✓	✓	✓	一度に表示できる言語は1つですが、言語の切り替えは可能です。
多言語対応		✓	✓	2カ国語の同時表示が可能です。
探す	✓	✓	✓	レパートリーの中からテキストとレメディを探す。
ケース		✓	✓	ケースマネジメント、処方箋、印刷
分析		✓	✓	解析（レパートリー化）機能。
マテリアメディカ		✓	✓	マテリアメディカモジュール
レパートリーエディター			✓	自分でレパートリーを増やしていく。
レパートリー選択			✓	好きな作家を選ぶなど、独自のレパートリーフィルターを定義することができます。
レパートリーインデックス			✓	ルビをより早く見つけることができる、専用のレパートリー索引を搭載。
グラフィカルなレパートリー			✓	レパートリー・ループリック間の関係を図式化したもの。
改善提案者			✓	関連する症状のレメディーをもとに、小さなルビに追加のレメディーを提案する。
ハイライトの発見			✓	レパートリーまたはマテリアメディカでの検索結果をハイライト表示します。
マテリアメディカで探す			✓	マテリアメディカの本で検索する。
同義語			✓	言葉の同義語で探す。
解析式			✓	解析のための数式を独自に定義する。
解析フィルター			✓	解析結果の高度なフィルタリング
マテリアメディカ編集部			✓	自分のマテリアメディカを編集することができます。

キングダム分析			✓	キングダムとファミリーをベースに分析。
鑑別診断			✓	レメデイの差別化を図るための強力なモジュールです。
高度な機能			✓	その他、経験豊富で要求の厳しいプロフェッショナルのためのオプションが多数用意されています。

価格

ライセンス価格については、当社のウェブサイト www.completedynamics.com, section *Pricing* をご覧ください。

追加ライセンス

お客様は、所有する複数のコンピュータで Complete Dynamics を使用する権利を有します。
 ライセンス購入後、他のコンピュータ用の追加ライセンスをお送りすることができます。そのためには、他のコンピュータのライセンス番号が必要です。ライセンス番号は、他のコンピュータ（複数可）のメニュー/ヘルプ/ユーザーとライセンスのダイアログで確認できます。
 追加のライセンス番号（複数可）をお送りいただくだけで、追加のライセンス情報をメールでお送りします。メニューから、*Menu / Help / General Feedback* で、お問い合わせいただけます。

一定の制約があります。お客様は、ライセンスを使用する権利を有します。


- コンピュータを導入してください。
- 自宅のパソコンで
- ノートパソコン

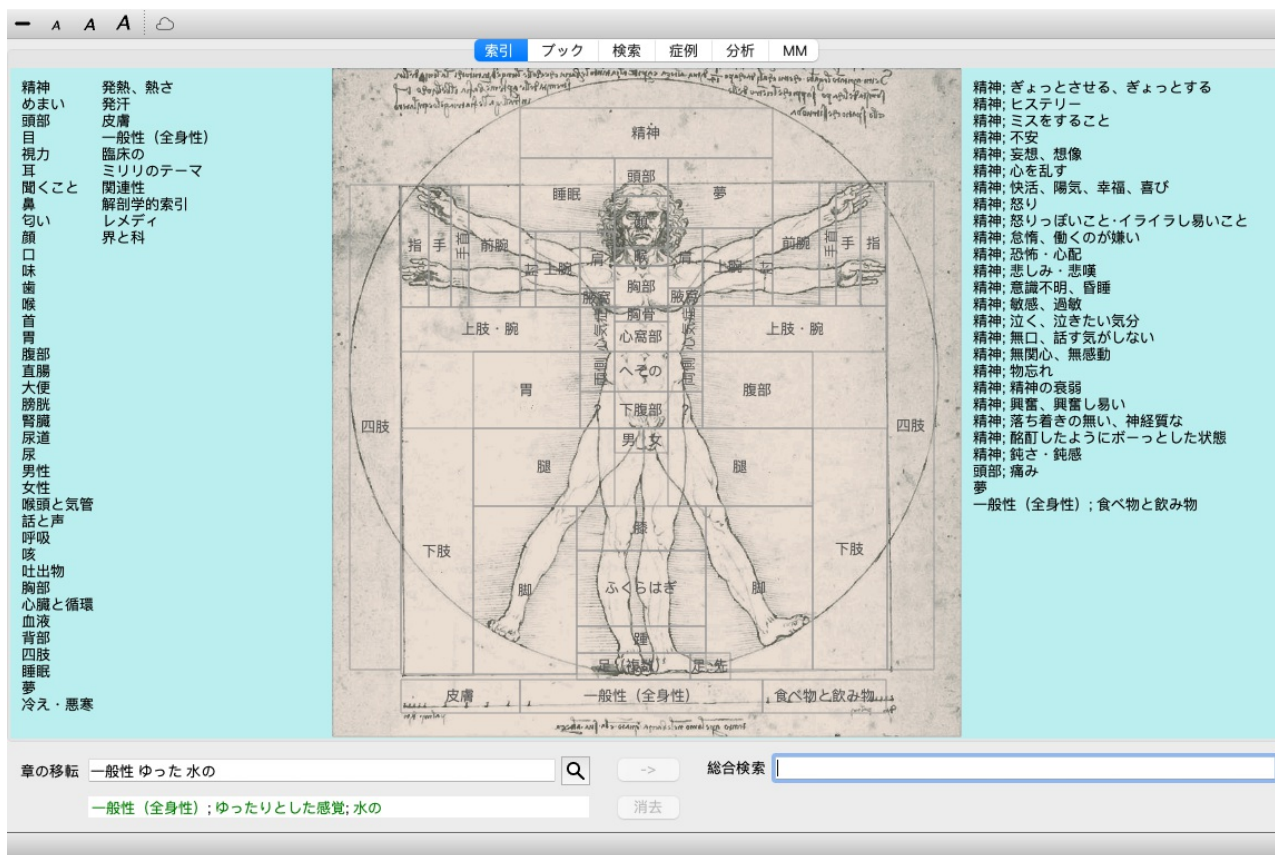
状況が異なる場合は、弊社にお問い合わせください。

お客様のライセンスは個人的なものであり、お客様自身、お客様の部下、またはお客様のために働く家族のみが使用することができます。

インデックスモジュール

Index モジュールを開く

Index タブをクリックし、Index モジュールに移動します。(メニューオプション表示/索引, )



The interface displays a central diagram of a human figure (Vitruvian Man) with various anatomical parts labeled in Japanese. To the left of the diagram is a vertical list of body parts and symptoms, including: 精神 (Mind), めまい (Dizziness), 頭痛 (Headache), 目 (Eyes), 視力 (Vision), 耳 (Ears), 聞くこと (Hearing), 鼻 (Nose), 匂い (Smell), 顔 (Face), 口 (Mouth), 味 (Taste), 喉 (Throat), 首 (Neck), 腹部 (Abdomen), 直腸 (Rectum), 大便 (Defecation), 膀胱 (Bladder), 腎臓 (Kidneys), 尿道 (Urethra), 尿 (Urination), 男性 (Male), 女性 (Female), 喉頭と気管 (Larynx and Trachea), 話と声 (Speech and Voice), 呼吸 (Respiration), 咳 (Cough), 吐出物 (Excretions), 胸部 (Chest), 心臓と循環 (Heart and Circulation), 血液 (Blood), 背部 (Back), 四肢 (Limbs), 睡眠 (Sleep), 夢 (Dreams), 冷え・悪寒 (Cold/Chills).

To the right of the diagram is a list of psychological and emotional states, including: 精神 (Mind), ぎょっとさせる、ぎょっとする (To startle, startled), 精神 (Mind), ヒステリー (Hysteria), 精神 (Mind), ミスをする (To make a mistake), 精神 (Mind), 不安 (Anxiety), 精神 (Mind), 妄想、想像 (Delusion, Imagination), 精神 (Mind), 心を乱す (To disturb the mind), 精神 (Mind), 快活、陽気、幸福、喜び (Cheerful, Sunny, Happy, Joy), 精神 (Mind), 怒り (Anger), 精神 (Mind), 怒りっぽいこと・イライラしやすいこと (To be easily irritated), 精神 (Mind), 恐怖・心配 (Fear, Worry), 精神 (Mind), 悲しみ・悲嘆 (Sadness, Lamentation), 精神 (Mind), 意識不明、昏睡 (Unconscious, Coma), 精神 (Mind), 敏感、過敏 (Sensitive, Hyper-sensitive), 精神 (Mind), 泣く、泣きたい気分 (To cry, Feeling like crying), 精神 (Mind), 無口、話すがしない (Taciturn, Not talking), 精神 (Mind), 無関心、無感動 (Indifferent, Unmoved), 精神 (Mind), 物忘れ (Forgetfulness), 精神 (Mind), 精神の衰弱 (Weakening of the mind), 精神 (Mind), 興奮、興奮しやすい (Excitement, Easily excited), 精神 (Mind), 落ち着きの無い、神経質な (Restless, Nervous), 精神 (Mind), 脇目したようにボーとした状態 (Dazed, Like being side-eyed), 精神 (Mind), 鈍さ・鈍感 (Slowness, Insensitivity), 頭部 (Head), 痛み (Pain), 夢 (Dreams), 一般性 (全身性); 食べ物と飲み物 (General (Whole-body); Food and Drink).

At the bottom, there are search and navigation controls, including a search bar, a search button, and a list of search results.

Indexモジュールの使用

インデックスモジュールにより、レポートリーの内容に素早くアクセスすることができます。

3つのエリアに分かれています。

- 左側はレポートリーの章立てのインデックスです。
- 中段はグラフィカルなインデックスです。
- 右側には、よく使われるループリックのクイックインデックスがあります。

文字や画像の上にマウスを移動させる。選択できるところでは、カーソルが手になります [BUTTON:hand]。項目をクリックするだけで、アクションを実行できます。

複数のレポートリーを使用する

レポートリーのライセンスをお持ちの場合、レポートリーのチャプターへのインデックスにもレポートリー名が表示されます。


Complete Repertory (...)

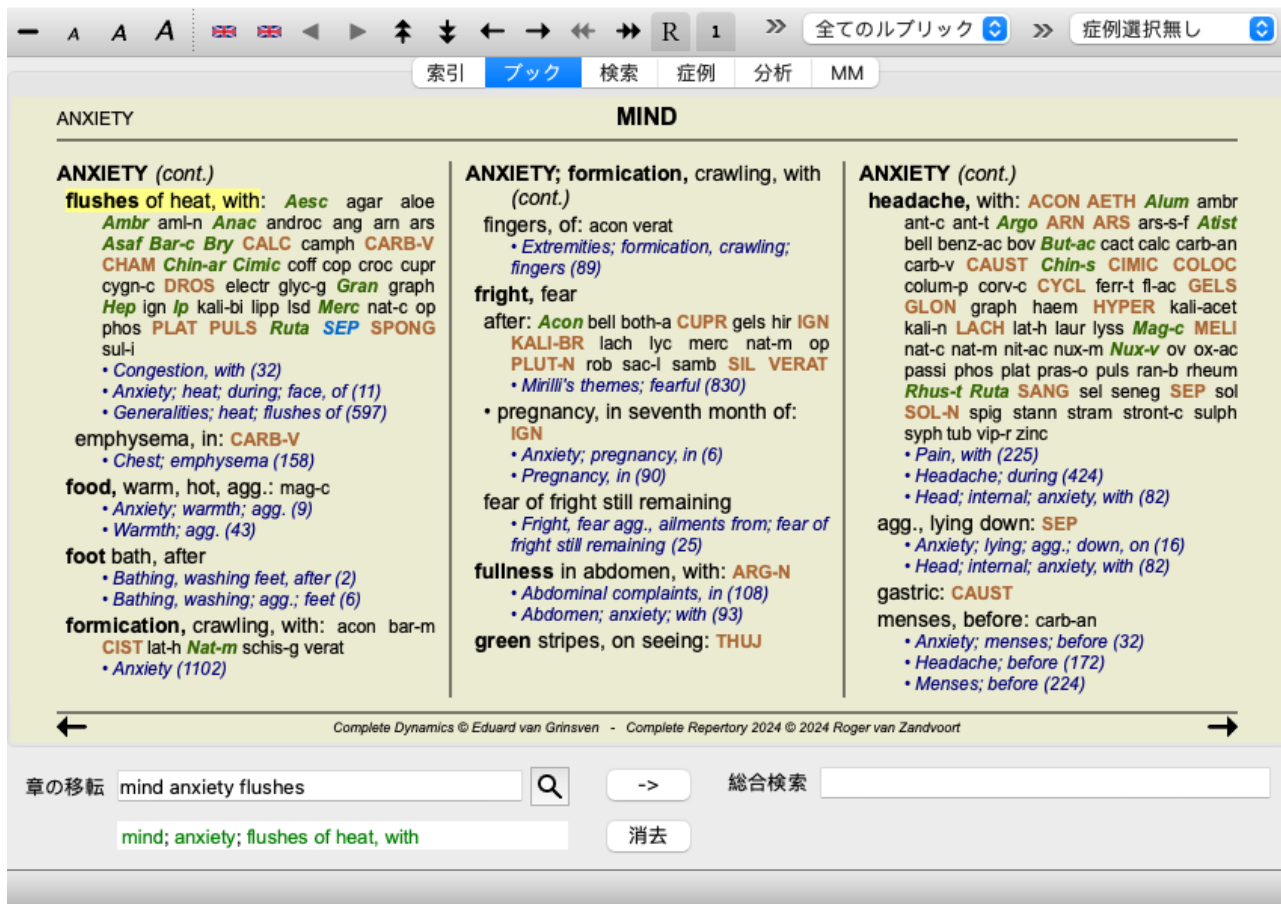
レポートリー名をクリックすると、次のレポートリーが選択され、そのチャプターが表示されます。

また、ポップアップメニューを表示し、レポートリーを選択することもできます。

ブックモジュール

Book モジュールを開く

Book タブをクリックして、Book モジュールに移動します。(メニューオプション表示/ブック, )。次の例では、ルビ（心；不安；火照り）のところで本を開き、。



The screenshot displays the 'Book' module interface. At the top, there is a toolbar with various navigation icons (back, forward, search, etc.) and a search bar. Below the toolbar, the 'MIND' section is active, showing three columns of text. The left column is titled 'ANXIETY (cont.)' and lists various symptoms and remedies. The middle column is titled 'ANXIETY; formication, crawling, with (cont.)' and lists remedies for specific symptoms. The right column is titled 'ANXIETY (cont.)' and lists remedies for various symptoms. The bottom section of the interface includes a '章の移転' (Chapter Transfer) field with a search icon, a '総合検索' (General Search) field, and a '消去' (Delete) button.

ウィンドウサイズを変更すると、ブックレイアウトが自動的に調整されます。
ウィンドウを大きくすると、本はエステのダブルページレイアウトで表示されます。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

章の転移 mind anxiety flushes

mind; anxiety; flushes of heat, with

総合検索

消去

対処方法と参考文献

ルビがその文章を示し、その後にRemediesとReferencesが続く。

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
acon-f agath-a agki-p **Alco** aloe **AM-C**
am-m **ANAC ANDROC** aran-bx arm ars
ars-s-f **Astac** atro **AUR** aur-m-n aur-s
BELL beryl-n **Biti-a** bor bov bufo **Bung-f**
bute-j calc-i **CAMPH** canth carc **CAUST**
cere-s **CHAM** chin cic **CON** cor-r coriand
CROC cub culx cupr-ar der **Dulc** elae
falco-p **FERR** fic **GALL-AC** gels gink
granit-m **Hafn** harp helx-t hema-h **HEP**
hist hydr hydr-ac **HYOS** ign iod **IP**
KALI-AR kali-c **KALI-N LAC-C** lac-d lach
lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r **LYC** LYSS
m-aust mag-c mangi med **MERC**
MOSCH nat-c nat-m **Nit-ac NUX-V** ozon
PALL PETR **PHYSALA-P** PLAT plb
Raja-s ran-b rhus-g sac-l **Sanic Sarr**
SCORP SENEG SEP **Sil** spong **Staph**
STRAM stront-c **SULPH** syph **TARENT**
thlaspi **THUJ** thul-f trich-d **Tritic-v** **TUB**
URAN **VERAT** verbe-h viol-t vip **Xeno**
• General (1769)
• Answer, answering, answers; offensive (1)
• Contemptuous (119)
• Cursing, swearing, desires (142)
• Insolence, impertinence (51)
• Nipping at everyone (1)
• Quarrelsomeness, scolding (286)
• Rudeness (92)
• Mirilli's themes; offensive (460)
• Psychological themes; aggression (357)

レメディーは4つのグラデーションで表示することができます。
グラデーションは、異なるスタイルと色で見せることで区別しています。

この例では、これらが該当します。

- 4: **CHAM, LYC, NUX-V.**

- 3: **ABIES-N, ACON, AM-C, ANAC, ANDROC, AUR ...**

- 2: **Alco, Bung-f, Dulc, Ip, Nit-ac, Sarr, Sil, Staph.**

- 1: acon-f, agath-a, agki-p, aloe, am-m ...

救済措置のリストに続いて、他のルビを参照することができます。この例では、10個のリファレンスがあります。
参照先をクリックすると、参照したループリックにジャンプします。

フル・コンパクト・ビュー

レメディーやリファレンスを隠す

コンパクト表示では、ループリックのみがレメディーの数とともに表示され、レメディーを隠すことで画面の空きスペースを最適に利用することができます。(メニューオプション表示 / レメディ / レメディを表示, ツールバーボタン R). 全画面表示とコンパクト表示の切り替えは、スペースバーで行います。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

章の移動 mind anxiety flushes

mind; anxiety; flushes of heat, with

総合検索

消去

スペースバーを2回押すと、参考文献も非表示になり、ループリック名だけが表示されます。すべてのレメディーとリファレンスを表示/非表示にするには、ページの任意の余白をダブルクリックします。また、ループリックのラベルをダブルクリックすることもできます。

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

章の移動 mind anxiety flushes

mind; anxiety; flushes of heat, with

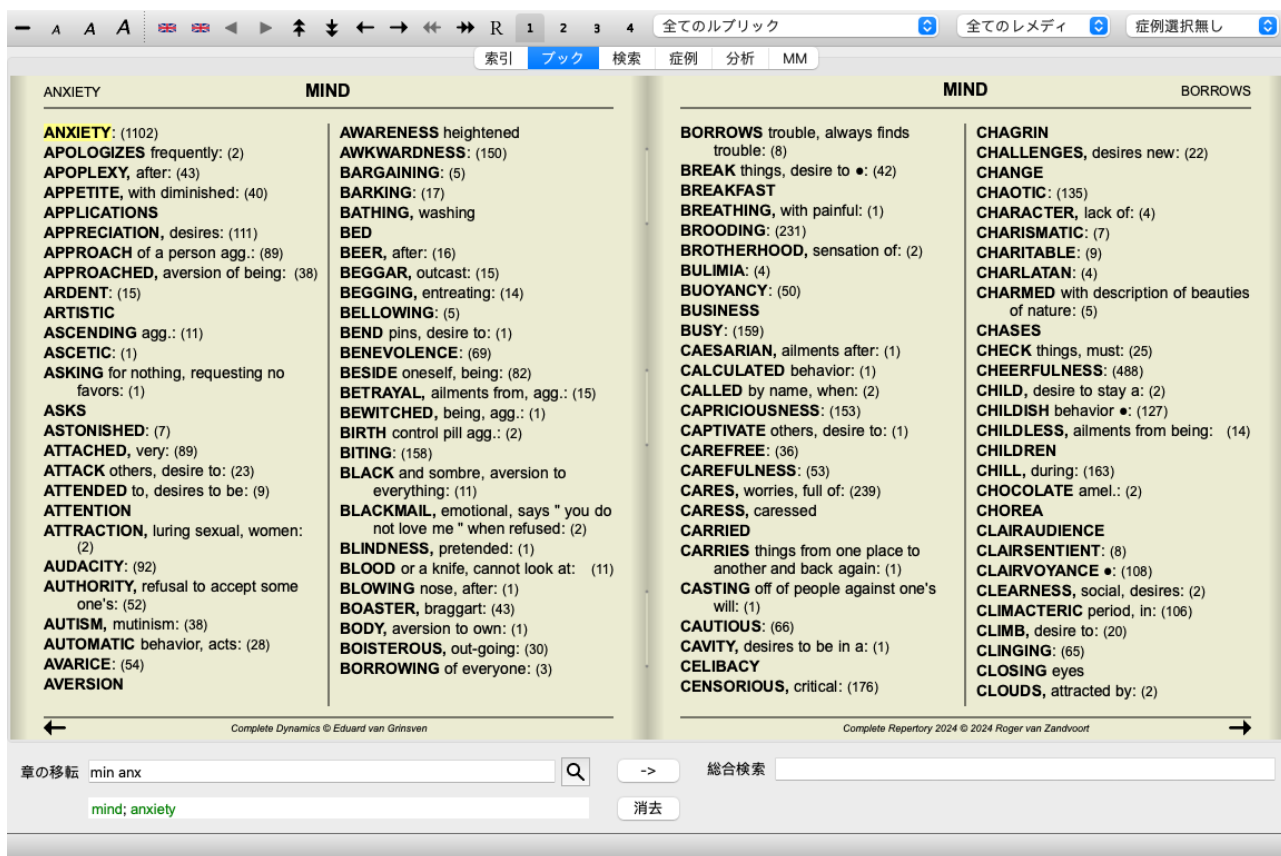
総合検索

消去

サブグループの非表示

また、サブルビをすべて非表示にし、レパートリーのトップレベルのルビのみを表示することも可能です。(メニューオプションブック/主なループリックのみ, ポップアップメニューオプション主なループリックのみ)。

このオプションは、レパートリーの構造を学びたい人に非常に有効です。



すべてのルビを表示するように簡単に戻せます。(メニューオプションブック/主なルブリックのみ, ポップアップメニューオプション主なルブリックのみ)。
また、ルビをクリックすると、通常のレパートリー表示に戻ることができます。

救済措置の並べ替え順

救済措置の印刷順序は、デフォルトではアルファベット順です。
レメディーを関連性の高い順に表示することができます。(メニューオプション表示/レメディ/重要性の順, ポップアップメニューオプションレメディ/重要性の順). (shift+スペース)を押します。

アルファベット順の並べ替え

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
acon-f agath-a agki-p **Alco** aloae **AM-C**
am-m **ANAC** **ANDROC** aran-ix arm ars
ars-s-f **Astac** atro **AUR** aur-m-n aur-s
BELL beryl-n **Biti-a** bor bov bufo **Bung-f**
bute-j calc-i **CAMPH** canth carc **CAUST**
cere-s **CHAM** chin cic **CON** cor-r coriand
CROC cub culx cupr-ar der **Dulc** elae
falco-p **FERR** fic **GALL-AC** gels gink
granit-m **Hafn** harp helx-t hema-h **HEP**
hist hydr hydr-ac **HYOS** **IGN** iod **Ip**
KALI-AR kali-c **KALI-I** **LAC-C** lac-d lach
lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r **LYC** **LYSS**
m-aust mag-c mangi med **MERC**

重要度順に並べ替え

ABUSIVE, insulting: NUX-V VERAT
CHAM **LYC** **MOSCH** **THUJ** **CON** **HYOS**
CAMPH **GALL-AC** **MERC** **SCORP**
CROC **KALI-I** **PLAT** **STRAM** **URAN**
AUR **LYSS** **PETR** **AM-C** **HEP** **BELL**
ABIES-N **ANAC** **ANDROC** **CAUST** **IGN**
KALI-AR **PALL** **SULPH** **ACON** **FERR**
LAC-C **PHYSALA-P** **SENEG** **SEP**
TARENT **TUB** **Nit-ac** **Ip** **Bung-f** **Dulc**
Astac **Sanic** **Alco** **Sarr** **Sil** **Staph** **Biti-a**
Hafn **Raja-s** **Tritic-v** **Xeno** am-m lava-e
cor-r lach hydr agath-a aur-m-n bov
calc-i carc falco-p gels helx-t nat-c nat-m
ran-b acon-f agki-p aloae aran-ix arm ars

その他の情報

書籍内のテキストにマウスを乗せると、そのテキストに関する追加情報が適宜表示されます。
この情報は、ウィンドウの左下にあるメッセージエリアに表示されます。
上の例では、マウスを動かすと次のような情報が表示されます。

ルブリックテキストにマウスオーバー
ABUSIVE

Kent p.1; Synthetic p.I-7; Generale p.1

このルブリックは、3つの原典に由来しています。

- ケント・レパートリー、1ページ目

- バーテル&クランカーズ・シンセティック・レパートリー」第1巻
7ページ

- Künzli's Repertorium Generale, page 1.

マウスオーバーでレメディ略語**LYC**を表示 **lyc = Lycopodium clavatum (Bönninghausen, Gallavardin, Jahr, Knerr)**

レメディコード**lyc**は、*Lycopodium clavatum* の略です。
出典として使用した著者は、*Bönninghausen, Gallavardin, Jahr and Knerr* である。
改善策をダブルクリックすると、別ウィンドウで詳細情報が表示されます。

マウスオーバーで参照**Contemptuous**

Mind; contemptuous

ループリックは、*Mind; Contemptuous* 。

表示する情報を限定する

フル/コンパクト表示の切り替えに加え、表示するレメディの数を制限することが可能です。
キーボードの1、2、3、4キーを押すことで行います。これにより、表示されるレメディは、指定されたグラデーション1、2、3、4以上のものだけに限定されます。(メニューオプション表示/レメディ/全てのグレード, ツールバーボタン **1**, メニューオプション表示/レメディ/グレード2+, ツールバーボタン **2**, メニューオプション表示/レメディ/グレード3+, ツールバーボタン **3**, メニューオプション表示/レメディ/グレード4, ツールバーボタン **4**, ポップアップメニューオプションレメディ/全てのグレード, ポップアップメニューオプションレメディ/グレード2+, ポップアップメニューオプションレメディ/グレード3+, ポップアップメニューオプションレメディ/グレード4).

例、再びループリックで**Mind; Abusive**:

キーボードキー4を押す。
グレード4のレメディのみ。
キーボードキー3を押す。
グレード3、4。

**ABUSIVE, insulting: CHAM LYC NUX-V
VERAT (+120)**

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
AM-C ANAC ANDROC AUR BELL
CAMPH CAUST **CHAM** CON CROC
FERR GALL-AC HEP HYOS IGN
KALI-AR KALI-I LAC-C **LYC** LYSS
MERC MOSCH **NUX-V** PALL PETR
PHYSALA-P PLAT SCORP SENEG
SEP STRAM SULPH TARENT THUJ

キーボードキー2を押す。
グレード2、3、4

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON Alco
AM-C ANAC ANDROC **Astac** AUR
BELL **Biti-a** **Bung-f** CAMPH CAUST
CHAM CON CROC **Dulc** FERR
GALL-AC **Hafn** HEP HYOS IGN **Ip**
KALI-AR KALI-I LAC-C **LYC** LYSS
MERC MOSCH **Nit-ac** **NUX-V** PALL
PETR PHYSALA-P PLAT **Raja-s** **Sanic**
Sarr SCORP SENEG SEP **Sil** **Staph**

キーボードキー1を押す。
すべてのレメディを表示します。

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON
acon-f agath-a agki-p **Alco** aloe **AM-C**
am-m **ANAC** ANDROC aran-ix am ars
ars-s-f **Astac** atro **AUR** aur-m-n aur-s
BELL beryl-n **Biti-a** bor bov bufo **Bung-f**
bute-j calc-i **CAMPH** canth carc **CAUST**
cere-s **CHAM** chin cic **CON** cor-r coriand
CROC cub culx cupr-ar der **Dulc** elae
falco-p **FERR** fic **GALL-AC** gels gink
granit-m **Hafn** harp helx-t hema-h **HEP**
hist hydr hydr-ac **HYOS** IGN iod **Ip**
KALI-AR kali-c **KALI-I** LAC-C lac-d lach
lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r **LYC** LYSS
m-aust mag-c mangi med **MERC**

文字サイズ

文字を小さくしたり、大きくしたりすることができます。(メニューオプション表示/テキストを縮小, ツールバーボタン **A**, メニューオプション表示/標準サイズ, ツールバーボタン **A**, メニューオプション表示/テキストの拡大, ツールバーボタン **A**, ポップアップメニューオプションテキストを縮小, ポップアップメニューオプション標準サイズ, ポップアップメニューオプションテキストの拡大).

ボタン アクション

- A** 文字を小さくする。
- A** オリジナルの文字サイズです。
- A** 文字を大きくする。

ナビゲーション、キーボードとマウスの使い方

本の中の移動は、キーボード、マウス、ボタンバー、メニュー (Menu / Navigate menu) で行うことができます。
マウスのスクロールは、マウスの小さなホイールや、ノートパソコンに内蔵されているトラックパッドで行います。マウスによっては、スクロールホイールが上下にしかスクロールできないものもありますが、最近のマウスは左右にもスクロールできることが多いようです。左/右スクロールは、不便と思われる場合は、メニューの**Preferences** の設定で無効にすることができます。

ボ タ ン	キーボ ード	マウス	アクション
	上	上へスク ロール	前のループリック
	ダウン	スクロール ダウン	次のループリック
⇧	シフト-上	Shift-Scroll up	前回の主なルビ。
⇩	シフト- Down	Shift-スク ロールダウ ン	次の主なルビ。
	Alt-Up	Alt-Scroll up	同レベルの以前のループリック。
	Alt-Down	Alt-スクロー ルダウン	同レベルの次のループリック
←	左 ページ アップ	左スクロー ル	前のページへ
→	右 ページダ ウン	右スクロー ル	次のページ
⇐	Shift-Left	Shift-左方向 にスクロー ル	前の章へ
⇒	シフト-右	Shift-右方向 にスクロー ル	次の章へ
◀	Alt-左		歴史をさかのぼる。 他のループリックを参照した後に、元の場所に戻るために使用します。
▶	Alt-右		歴史を飛び越える。 前のオプションと組み合わせて使用します。この2つは、ウェブブラウザでよく使わ れるキーのようなもので、ウェブページを前後に移動するために使用します。
	Shift-Cmd- (キー)		チャプターのクイックオープニング。 M - マインド G - Generatities など、その他のキーについては、メニューバーのショートカット（本メニュー）を ご覧ください。

ループリックをクリップボードにコピーする

ループリックをクリップボードにコピーして、ワープロなどの他のアプリケーションに貼り付けると便利な場合があります。（ポップアップメニューオプションコピー・ルブリク/コピー（レメディを除く）、ポップアップメニューオプションコピー・ルブリク/コピー（ルブリクとレメディ））。

ループリックの名前をクリップボードにコピーするには、*Cmd-C (Control-C)*。

Cmd-C を2回（1秒以内）押すと、ループリック名がコピーされ、ループリック内の全てのレメディも一緒にコピーされます。

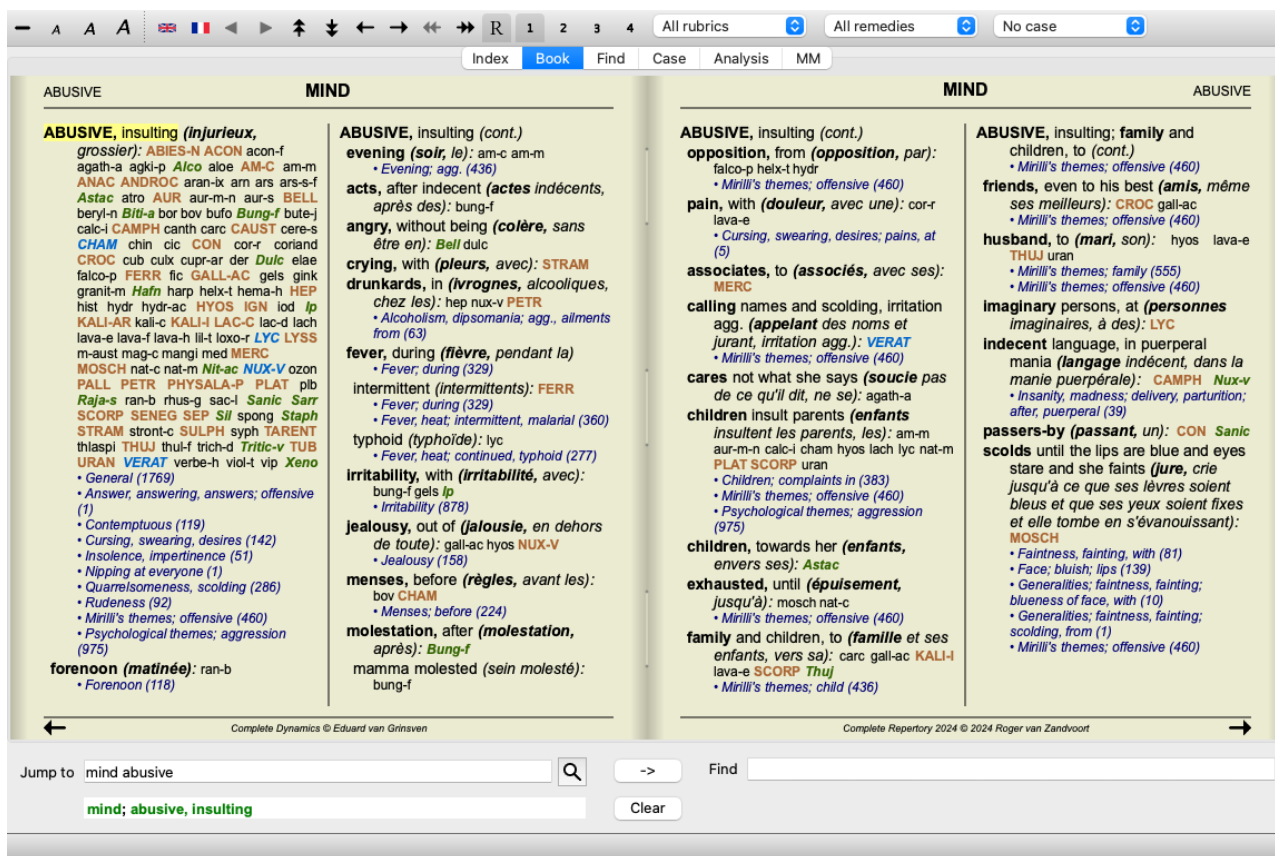
言語選択

プログラムのエディションとライセンスによっては、Complete Repertoryのいくつかの言語オプションが利用できる場合があります。

使用可能な言語オプションは、メニューまたはボタンバーから選択することができます。（メニューオプションブック/言語/英語、ポップアップメニューオプション言語/英語）。（フラッグボタン、☑）

Practitioner 版では、第二言語を選択して（オプションはライセンスに依存）、ループリックのテキストを別の言語で表示することができます。

例えばフランス語。（メニューオプションブック/言語/大体言語：フランス語、ポップアップメニューオプション言語/大体言語：フランス語）。



お気に入りのループリック

あるループリックは重要だが、他のループリックはそれほど重要でないと考えるかもしれない。これは特に、*Find* モジュールを使ってループリックを探す場合に当てはまります。自分にとって重要なループリックを特に強調するために、お気に入りマークを付けることができます。

ループリックをお気に入りとしてマークするには、ループリックをクリックし、マークを付けます。(メニューオプションブック/ループリックはお気に入りです、ポップアップメニューオプションループリックはお気に入りです)。

お気に入りとしてマークされたルビは、下線が引かれます。

任意のループリックをお気に入りとしてマークすると、*Find* モジュールに追加フィールドが表示され、お気に入りループリックのみに検索を限定することができます。

レメディーフィルター

表示されるレメディーを制限することが可能です。ツールバーには、レメディーのグループを選択するためのオプションが用意されています。

よく使われるグループ（鉱物、植物、動物、ノゾーデ）があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプションその他...を選択すると、ダイアログが表示され、キングダム & ファミリーセクションにあるグループの中から1つを選択することができます。

> Acids (72)

Agents & toxins (56)
Alkaloids (85)
Amides (9)
Amino acids (22)
> Anaerobes (27)
> Animals (322)
> APG II taxonomy
> Bacteria (62)
Bloods (37)
Body products (85)
Building stones (3)
Cell constituents (8)
Cosmic bodies (3)
Cosmos (23)
Disease cultures (67)
Diseased material (35)
Drugs (26)
Dyes (19)
Electromagnetism (18)
> Elements (722)
Enzymes (5)

フィルター

リストに永久に追加する ☐

取り消す

同意

KINGDOMS & FAMILIES; ACIDS: acet-ac acon-ac
agarin ami-sal-ac amp amyg-am asc-ac benz-ac betin bor-ac
brom-ac but-ac camph-ac carb-ac chr-ac chrys-ac cit-ac
coenz-a cortico cystin d-phenyl des-ac fl-ac form-ac fumar-ac
gaba gall-ac guan hemog hip-ac histid hydr-ac hydrobr-ac
i-leuc iod-ac kali-ar kali-x keto-ac l-leuc l-phenyl lac-ac lanol
mal-ac methion mur-ac n-leuc nit-ac nit-m-ac ol-suc oro-ac
ox-ac ph-ac pic-ac prol pyro-ac rib-ac sal-ac salol sarcol-ac
succ-ac sul-ac sul-ac-aro sulo-ac tann-ac tart-ac tell-ac thio-ac
threnin trypt tyrin ur-ac vali

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

取り消す

同意

フィルターオプションを使用して、適切なレメディーグループを素早く見つけることができます。

Australian funnelweb spiders (1)

Burrowing spiders (1)
Cellar spiders (1)
Daddylongleg spiders (1)
Funnel web spiders (3)
Hunting spiders (10)
Jumping spiders (2)
Orb web spiders (2)
Recluse spiders (3)
Sand recluse spiders (2)
Sixeyed sicariid spiders (5)
Spiders (22)
Spiders (23)
Tangle web spiders (6)
Web spiders (11)
Whitetailed spiders (1)
Widow spiders (5)
Wolf spiders (1)

フィルター

リストに永久に追加する ☐

取り消す

同意

KINGDOMS & FAMILIES; TAXONOMY; common
names; **English; Australian funnelweb spiders:**
atra-r

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

取り消す

同意

ブックモジュール標準レパートリーフィルター

通常、Book モジュールには、Complete Repertory の全内容が表示されます。

標準的なフィルターがいくつか用意されています。メニューバー、またはページの端にあるポップアップメニューから選択

Complete Dynamics

17

することができます。(メニューオプションブック/ブックで選択/ブックの選択完了, ポップアップメニューオプションブックで選択/ブックの選択完了).

コンプリート	フィルタリングなしで、すべてのレパートリーを表示します。
クラシック	古典的な作家のルビとレメディーだけを表示する。そのため、主なクラシック音楽のレパートリーに登場するルビや、1930年以前の書籍からのレメディーに限定しています。
信頼できる著者	George Vithoulkasによると、最も信頼性が高いと思われる著者のみを表示する。
ケント・ループリック	レパートリーはケント社のレパートリーから派生したループリックに限定されます。
アレンズ・セラピー・ポケット・ブックに掲載されているループリック	レパートリーはAllen's Therapeutic Pocket Bookに由来するループリックに限定されます。

ユーザー定義可能なレパートリーフィルターは、マスター版で作成することができます。

フィルターが選択されている場合、その名前がレパートリーブックレイアウトのヘッダーに表示されます。こうすることで、どのレパートリー・オプションを使用しているかが一目瞭然になります。

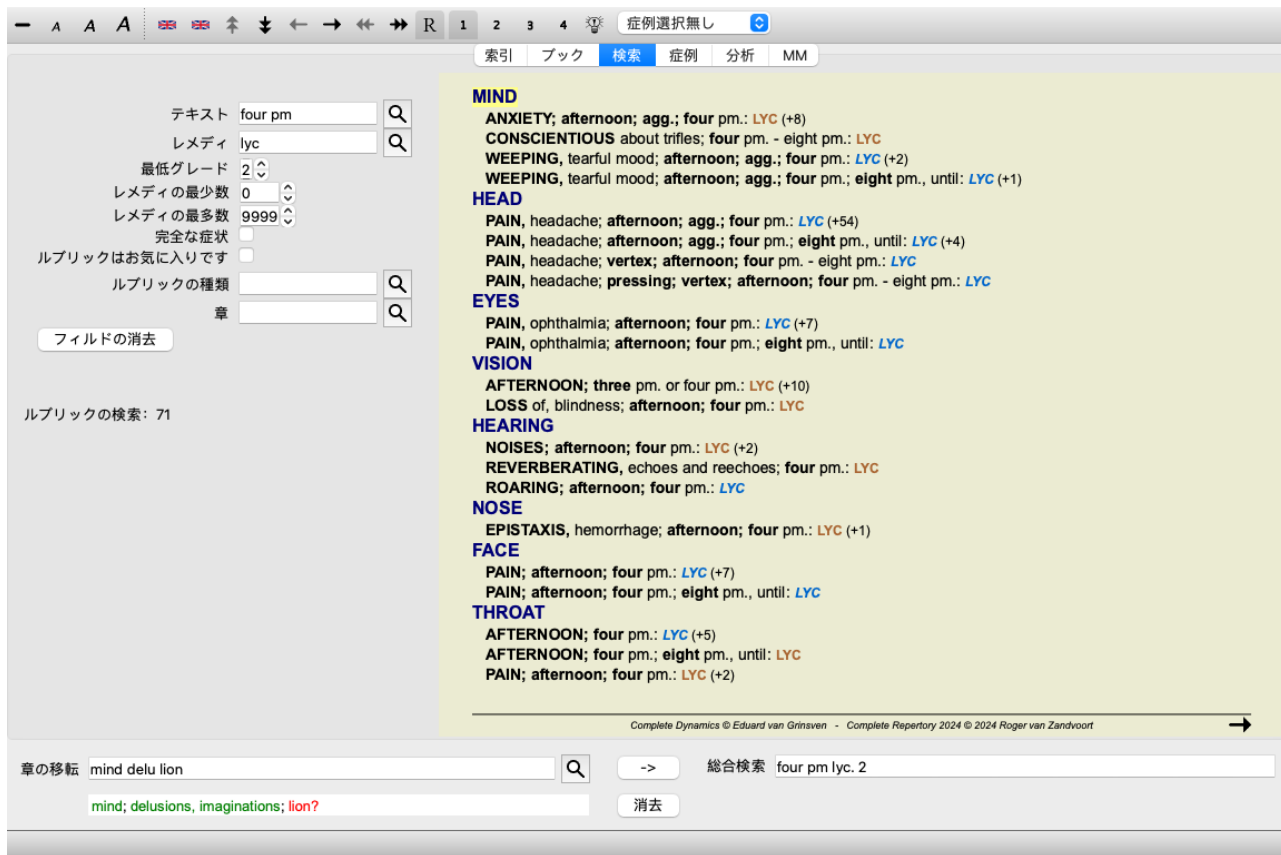
注意: レパートリーフィルターは、*Complete Repertory* のコンテンツにのみ適用されます。

あなたのライセンスが追加のレパートリーの使用をサポートしている場合、またはあなた自身が追加のレパートリー素材を作成した場合、フィルターはその素材には適用されません。

モジュールの検索

Find モジュールを開く

Find タブをクリックし、Find モジュールに移動します。(メニューオプション表示 / 検索, ⌘-S).



フィールドの検索

画面の左側には、探したいものを記入することができます。(検索したい内容を入力する別の方法として、ウィンドウの下部にある強力な 検索フィールドを使用することもできます。この単一のフィールドを使用して強力な検索を行う方法については、セクション 検索フィールドを参照してください)。

テキスト	<input type="text"/>	🔍
レメディ	<input type="text"/>	🔍
最低グレード	<input type="text" value="1"/>	⬆️⬆️
レメディの最少数	<input type="text" value="0"/>	⬆️⬆️
レメディの最多数	<input type="text" value="9999"/>	⬆️⬆️
完全な症状	<input type="checkbox"/>	
ルブリックはお気に入りです	<input type="checkbox"/>	
ルブリックの種類	<input type="text"/>	🔍
章	<input type="text"/>	🔍
<button>フィールドの消去</button>		

テキスト 検索するテキストフラグメントを入力します。

クシーズ	xyz で始まる任意の単語。
=xyz	Word はxyz のように正確に入力する必要があります。
*クシーズ	Word は、そのテキストのどこかにxyz を含んでいます。
「エービーシーエックスワイジー	テキストの組み合わせabc の後にxyz が続く。
abc + def	abc ANDdef の両方のテキストが出現しなければならない。
abc+def	同上、スペースは省略可能です。
abcデフ	上記と同じ、ANDがデフォルトです。 (defの前には自動的に+が挿入されます。)
-エービーシー	テキストabc は、本文中に存在してはならない。 これは、上記のように「=」「*」「'''」と組み合わせることができません。 例 --モーニング --** -「ベッド上
abc / def	abc ORdef のいずれかが必要です（スペースは任意）。
これらの組み合わせは可能です。例	
四・八時	(4 OR8), ANDpm.
午後4時/8時	上記と同じで、順番は重要ではありません。
「朝起き	シーケンスrising from bed, ANDmorning.
恐怖 / 不安 群衆 / 人	(恐怖OR不安) AND (群衆OR人々). (群衆の前に自動的に+が挿入されます)

レメデー 検索するレメデーの略語を入力します。フィールドの右側にあるQボタンを押すと、検索ウィンドウが表示され、レメデーをインタラクティブに選択することができるので、略語を暗記していない場合に便利です。

セプ	Remedysep
sep.	上記と同様、ドット表記も可能ですが、ここでは不要です（Find フィールドでは必要です）。
-セプ	Remedysepはループリックに存在してはならない。
sep / nat-m	いずれかの救済措置sep ORnat-m
セパレートナットエム	上記と同じ、ORがデフォルトです。 (nat-m の前に / が自動的に挿入されます)
sep/staph+nat-m/mag-m	(sep ORstaph) AND (nat-m ORmag-m)
sep. staph.+ nat-m. mag-m.	同上(staph の前とmag-m の前に / が自動的に挿入されます)

Min. グレード レメデーの最小グラデーションを入力します（1～4）。

最小 ループリックの救済措置の最小数を入力する。

ループリック
サイズ

最大 ループリックの救済措置の最大数を入力します。

ループリック
サイズ

完全な症状 完全な症状に限定して検索します。

完全な症状とは、場所、感覚、モダリティまたは随伴物から構成される症状のことである。
このオプションは、Complete Repertoryで検索するときのみ使用します。他のレパートリーには、一般的にこのような情報は含まれていません。

ループリックの種類 フィールドの右側にある Q ボタンを押すと、タイム、サイド、ロケーションなどのループリックタイプをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。

お使いのライセンスが追加レパートリーの使用をサポートしている場合、追加レパートリーには、Times, Sides, Location などのルビが付けられていないことが多いのでご注意ください。ここで選択したものは、Complete Repertory のように、このために適切に準備されたレパートリーにのみ適用することができます。

章立て フィールドの右端付近にあるQボタンを押すと、チャプターをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。

検索条件を入力すると自動的に検索が開始されるので、ボタンを押す必要はありません。

なお、テキストの場合、複数のフラグメントのデフォルトはANDですが、レメデイの場合はORになります。
これは、複数のテキストを入力する場合は検索結果を限定することが多いのに対し、複数のレメデイを入力する場合は鑑別診断を行うことが多いからである。

検索結果

検索要求の結果は、ウインドウの右側に表示されます。
詳細度は、検索された内容によって異なります。レメデイが検索された場合、選択されたレメデイが検索結果に含まれます。
テキストのみを検索した場合は、レメデイは表示されません。
要するに、検索結果は、要求されたものに焦点を当て、要求されない細部には焦点を当てないということです。

検索結果エリアは、Book モジュールと多くの類似点があります。
ナビゲーションは、同じキーボード、マウス、ボタンバー、またはメニュー機能で行います。
また、ウインドウの大きさに合わせて自動的にレイアウトが調整されます。


ヒント:Book モジュールと同様に、space を押すと、レメデイの表示・非表示が切り替わります。
Find モジュールでは、レメデイの表示はやや小さめのルビに限定されています。レメデイが多いルビは、レメデイの数だけ表示されます。

Book モジュールのナビゲーションオプションに加え、検索結果では、ループリックをマウスでダブルクリックするだけで、ブック内のループリックに直接ジャンプするオプションが用意されています。

その他の例

上記のフィールドに検索条件を入力し、ウインドウの下部にある検索フィールドを使用すると、1 対 1 の関係があります。
findモジュールの詳しい使用例は、Find fieldのセクションに記載されています。

Findモジュールの鑑別診断

Find モジュールでは、Differential Diagnosis が、見つかったすべてのループリックについて、分析に似た関連する改善策をリストアップして表示します。(メニューオプション表示 / レメデイ / レメデイ比較表示, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプションレメデイ / レメデイ比較表示).

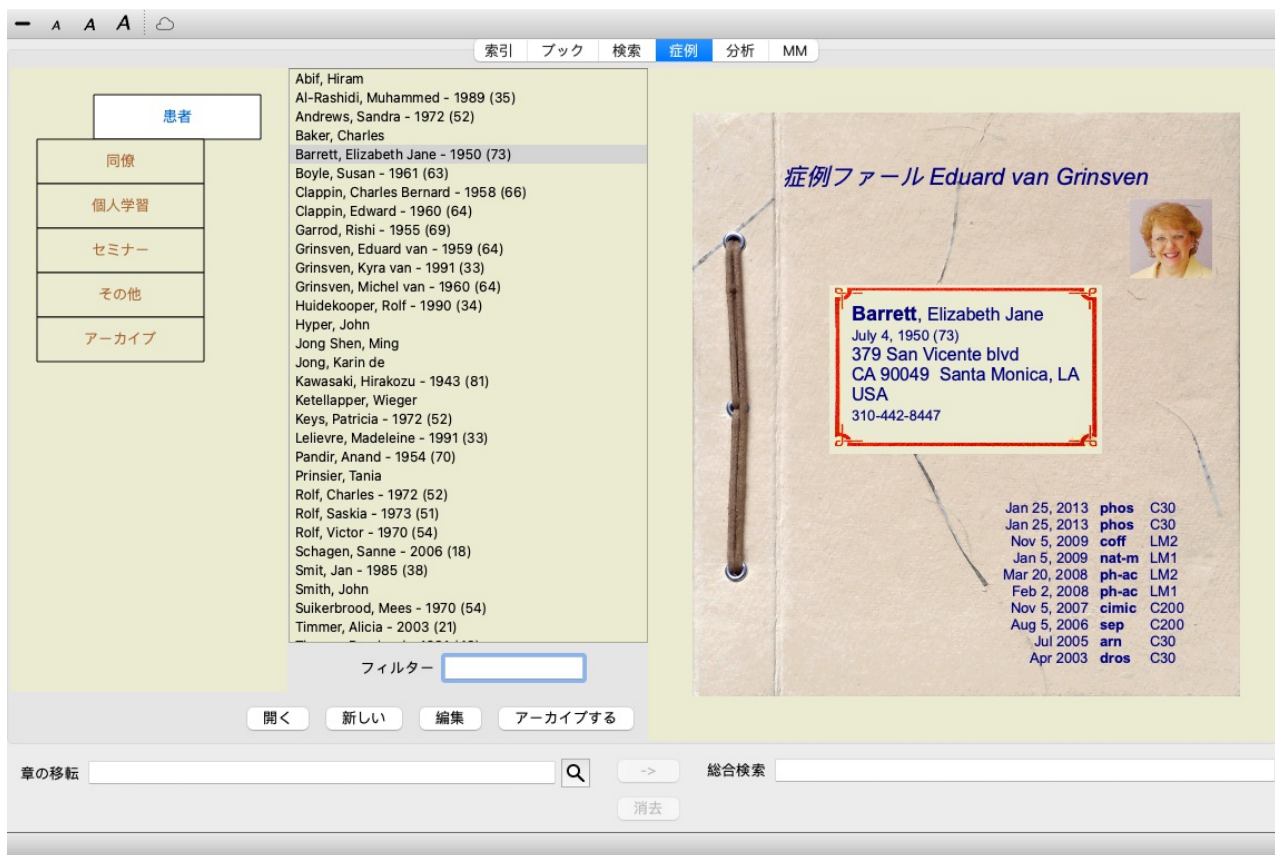
この例では、痙攣時にを探索した後、:



ケースモジュール

Caseモジュールを開く

Case タブをクリックし、Case モジュールを表示します。(メニューオプション表示 / 症例, \mathbb{D}).



Caseモジュールでは、患者さんの症例ファイルの作成と整理、作成した処方箋の登録、分析の作成と整理が可能です。

Caseモジュールで作業することは、実際の事件簿を扱うのと同じです。

ケースは、実際の生活でケースファイルをファイルキャビネットや引き出しごとに整理するように、グループごとに整理されています。まず、作業したいグループ（複数可）を選択します。

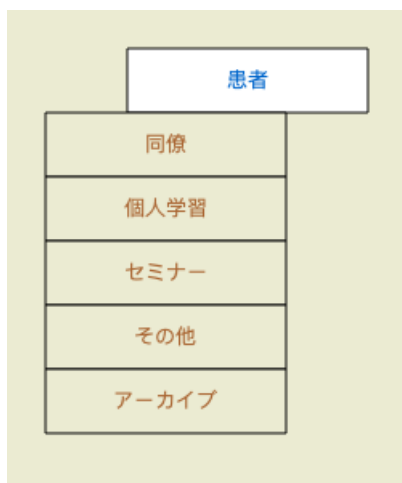
選択されたグループの症例は、患者情報の要約のみがリストで表示されます。名前と生年。リストの下にある *Filter* フィールドに患者名の1つまたは複数のパーツを入力することで、症例をフィルタリングすることができます。

リストで案件を選択すると、画面右側に案件ファイルが表示されます。

次に、ケースファイルを開くこととなりますが、まず、このケース管理の部分について少し詳しく説明します。

グループを選択し、独自のグループを作成する

グループセクターは、一種のドロワーキャビネットと見ることができます。



この写真では、*Patients* の引き出しを開けたところです。

標準グループは

患者様 症例説明で *Patient* と表示され（詳細は後述）、あなたが著者となっているすべての症例ファイルです。

同僚 ケースの説明で *Patient* と記され、他の誰かが著者となっているすべてのケースファイル。

研究内容 *Study* と表示されているすべてのケースファイル。これらは、あなたの患者さんとは直接関係なく、あなたの個人的な勉強のためだけの症例です。

セミナー セミナーと表示されたすべてのケースファイル。セミナーや研修で発生するケースは、このグループに作成します。

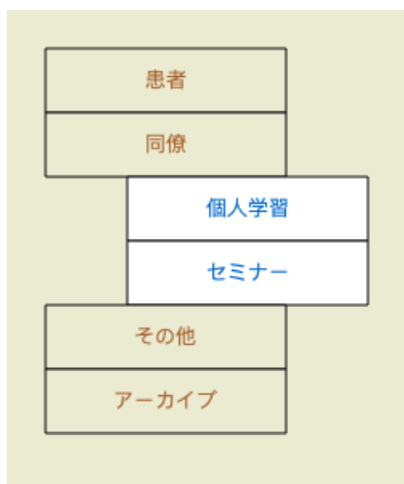
その他 他のどのグループにも属さないすべてのケース。

他

アーカイブ アーカイブしているすべてのケース。

カイブス アーカイブされたケースは、他のどのグループにも表示されなくなります。

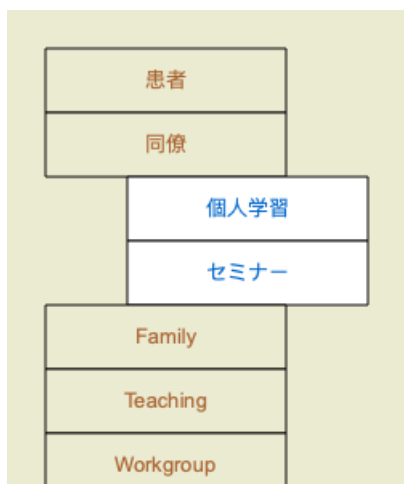
1つまたは複数の引き出しを同時に開けることができます。引き出しをクリックするだけで、開いたり閉じたりすることができます。引き出しの一つをダブルクリックすると、その引き出しが開き、同時に他の引き出しが閉じます。



2つの引き出しを開けたところ。

事例のあるリストには、「Study」または「Seminars」と表示されているすべての事例が表示されます。

もちろん、これらのグループが個人の希望と一致するわけではありません。独自のグループで新しいドロワーを作るのも簡単です。案件情報を編集する際に、案件をどのグループに所属させるかを指定することができます。標準の3つのグループ「Patient」「Study」「Seminar」を使用できますが、独自のグループ名を入力することもできます。新しいドロワーは自動的にリストに追加されます。



ドロワー *Family, Teaching and Workgroup* は自動的にリストに追加されますが、これは一部のケースでこれらのグループ名がケース情報内で使用されていたためです。

適切なケースファイルの選択

選択されたグループまたはグループに一致するすべての症例がリストに表示されます。*Filter* フィールドに何らかのテキストを記入すると、リストがフィルタテキストに一致するケースに制限されます。フィルタの使用例です。



このフィルターには、適切なケースを選択するための非常に強力なオプションがあります。これは、*Find* フィールドがテキストやレメディに使用すると同じフィルタリング基準を使用します。*Case* モジュールでは、*text* はリストに表示されている名前、*remedies* は患者に処方された（または処方されていない）レメディです。詳しくは、「*検索*」フィールドをご参照ください。

例 *John* または *Joseph* という名前の患者を探すには、*nux-v* は処方されているが、*sulph* は処方されていない、とタイプするだけです。

ジョン/ジョセフ *NUX-V. -sulph.*

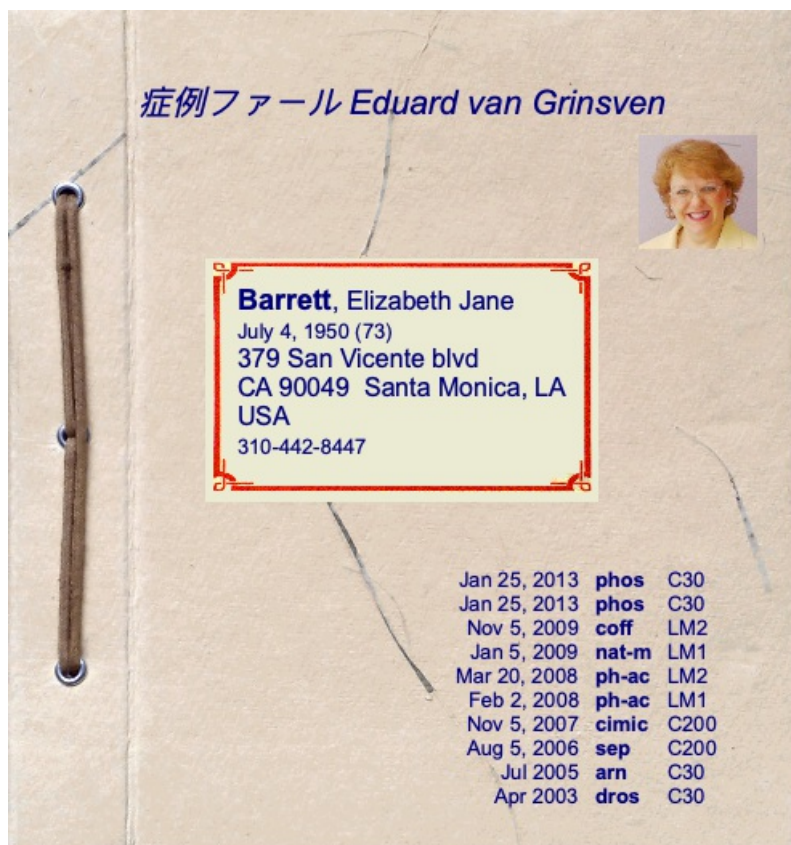
(レメディー名の後ろのドットにご注目！)。

ケースファイルの概要

案件を選択すると、案件情報の一部が右側に描画されます。
などの情報があります。

- 本件の著者名
- 患者情報（氏名、住所、生年月日）。
- 写真（ある場合）。
- 直近の処方箋のリスト。

例



ケースファイルの作成

New ボタンをクリックすると、新しいケースファイルを作成することができます。(メニューオプション *症例/新しい症例, control-N*).

ダイアログが表示され、患者情報や症例背景を入力することができます。

ケースデータの編集

Patient セクションでは、患者について保存したいすべての個人情報を記入できます。*Photo* ボタンを押して、写真の入った画像ファイル (*gif, jpeg* or *png* 形式) を選択します。写真は自動的にリサイズされます。クリアボタンで、既存の写真を削除します。

患者の誕生年、誕生月、誕生日が不明な場合は、単に0と記入してください。

正確な生年月日が不明で、患者から現在の年齢しか提供されない場合は、「生年」の欄に年齢を入力することができます。

患者さんのメールアドレスを記入すれば、簡単にメールを送ることができます。(メニューオプション *症例/患者にメールを送る*).

患者
症例

個人情報

姓

ファーストネーム

ミドルネーム

イニシャル

性別 女性

生まれた年

生まれた月

誕生日

写真




写真
削除
回転

住所

道路

郵便番号

都市

国

電話番号（家）

電話番号（職場）

電話番号（携帯）

メール

家族の情報

連れ合い

子供

取り消す
同意

症例セクションでは、患者自身とは関係のない、症例の背景情報を入力することができます。

Author info グループには、この案件を作成した人の名前を入力できます。ほとんどの場合、これはあなたなので、あなたの情報はすでに自動的に入力されています（他の人からケースを受け取り、それを引き継ぐ場合は、*Me* ボタンを押してください）。著者情報は、患者ケースを *Patient* または *Colleagues* のグループ選択の下に配置するために使用されます。

Case groups グループでは、標準のグループから1つを選択するか、スペースまたはセミコロンで区切られた独自のグループ名を記入することができます。

ケース背景グループは、このケースがセミナーや雑誌などから発信されており、ケースの出所を覚えておきたい場合に便利です。

患者

症例

作者情報

姓

Grinsven

ファーストネーム

Eduard

ミドルネーム

van

イニシャル

私

症例群れ

患者

☒

研修

☐

セミナー

☐

その他

症例の背景

症例の起源

Complete Dynamics documentation centre.

ノート

This is an example case, for use in the documentation.
The information entered here will appear on the case background sheet in the opened case file.

取り消す

同意

ケースを開く

既存のケースファイルをリストで選択し、*Open* ボタンをクリックすると、そのファイルを開くことができます。(メニューオプション*症例 / 症例を開く, control-O*).

また、リスト内のエントリーをダブルクリックすることもできます。

新しいケースを作成すると、そのケースは自動的に開かれます。

ケースファイルを開くと、実際のケースファイル内にあるような内容も表示されます。


- 患者情報を記載した紙
- 処方箋のある用紙です。
- ケースファイルに含まれるすべての分析結果の概要を記載したフォーム。
- 分析ごとに1枚の紙を用意する。
- 事件の背景を書いた紙1枚

例

索引 ブック 検索 症例 分析 MM

患者について

名前 Barrett, Elizabeth Jane (E.J.M.)
 性別 女
 生年月日 July 4, 1950 (73)
 住所 379 San Vicente blvd
 CA 90049 Santa Monica, LA
 USA
 家の電話番号 310-442-8447
 勤め先の電話番号
 携帯電話番号
 メール lisabarret50@gmail.com
 配偶者 Bill
 子供 Jane, Peter



症例の作者: Eduard van Grinsven
 症例の背景: Complete Dynamics documentation centre.

This is an example case, for use in the documentation.
 The information entered here will appear on the case background sheet in the opened case file.

日付	レメディー	ポテンシー	ノート
Jan 25, 2013	phos	C30	
Jan 25, 2013	phos	C30	
Nov 5, 2009	coff	LM2	
Jan 5, 2009	nat-m	LM1	
Mar 20, 2008	ph-ac	LM2	Only when grief reappears.
Feb 2, 2008	ph-ac	LM1	
Nov 5, 2007	cimic	C200	
Aug 5, 2006	sep	C200	
Jul 2005	am	C30	Repeat until bruises gone.
Apr 2003	dros	C30	

利用できる分析

日付	描写
Jan 5, 2009	Grief remains, eczema from youth gets back
Feb 2, 2008	Grief after death mother
Nov 3, 2007	
Aug 5, 2006	

章の移転 総合検索

開いている案件を閉じるには、左上の小さな矢印◀をクリックします。(メニューオプション症例/ 症例を閉じる, control-C, ポップアップメニューオプション症例を閉じる)。

処方箋の管理

新しい処方箋を追加するには、処方箋の上部にある空の行をダブルクリックします。(メニューオプション症例/ 処方追加, control-X, ポップアップメニューオプション処方追加)。

新しいダイアログが表示され、処方箋に関する情報を入力することができます。

レメディ

Phosphoricum acidum

ポテンシー

反応

指導

ノート

年

月

日

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。

処方箋を削除するには、リストで選択し、次に処方箋を削除します。(メニューオプション*症例/ 処方*の削除, ポップアップメニューオプション*処方*の削除).

リスト内のエントリーをダブルクリックすると、処方箋を編集することができます。(メニューオプション*症例/ 処方*の修正, ポップアップメニューオプション*処方*の修正).

分析の管理

メニューのオプションで新しい分析を追加するか、分析インデックスの上部にある空の行をダブルクリックすることができます。(メニューオプション*症例/ 分析*を付け加えて, *control-A*, ポップアップメニューオプション*分析*を付け加えて).

新しいダイアログが表示され、解析に関する情報を入力することができます。

描写
 診断
 ノート
 年 月 日

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。

一覧で選択し、「Delete analysis」で削除します。(メニューオプション *症例/分析を削除する*, ポップアップメニューオプション *分析を削除する*).

リスト内のエントリーをダブルクリックすると、分析結果を編集することができます。(メニューオプション *症例/分析を編集...*, ポップアップメニューオプション *分析を編集...*).

解析をコピーして、新しい解析の基礎にする場合は、解析の複製を使用します。(メニューオプション *症例/分析を複製する*, *control-D*, ポップアップメニューオプション *分析を複製する*).

解析を別のケースに移動するには、メニューの「解析をケースに移動する」を使用します。(メニューオプション *症例/分析を症例に移す*, ポップアップメニューオプション *分析を症例に移す*).

リスト内の解析の一つをクリックすると、この解析が *Analysis* モジュールで使用される解析になります (セクション *Analysis* を参照)。

印刷

自分のケース、またはその一部を印刷することができます。(メニューオプション *症例/プリントする*, *⌘-P*, ポップアップメニューオプション *プリントする*).

ケースの印刷は、ケースを開いた後にのみ可能です。

印刷したいものを選択するダイアログが表示されます。

なにを印刷しますか

☐ 症例のカバー
☒ 分析
☐ 全ての分析
☐ 分析無し
☐ 分析の詳細
☐ ルブリックとレメディ

印刷の選択


☒ 色
☒ プリンター
☐ PDFファイルに
☐ Write to HTML file
☐ クリップボード
☐ 写真のファイル
☐ 高解像度

ケースカバー

このオプションをオンにすると、印刷の最初のページに患者情報と処方箋の概要が表示されます。

現状分析	現在選択されている分析結果のみを、 <i>Analysis</i> モジュールで使用されている設定で印刷したい場合は、このオプションを選択します。。
全分析	すべての分析結果を印刷する場合は、このオプションを選択します。
分析なし	分析結果を印刷しない（ケースカバーのみ）場合は、このオプションを選択します。
分析内容	このオプションをチェックすると、各分析に入力した情報（診断、メモ）が印刷されます。
ループリックとレメディー	このオプションをチェックすると、すべての分析プリントに、分析に使用されたループリックのすべての救済措置の概要が含まれるようになります。 著作権の関係上、ルビは最大20枚までしか印刷されませんので、ご了承ください。20枚以上のルビを印刷した場合、救済措置の多いルビは救済措置が記載されない。
カラー	カラーで印刷する。チェックを入れないと、モノクロプリンターに最適化された印刷が行われます。
プリンターへの印刷	プリンターに直接印刷する場合は、このオプションを選択します。
PDFファイルへの書き込み	PDFファイルへの書き込みを行う場合は、このオプションを選択します。
HTMLファイルへの書き込み	HTMLファイルに書き込む場合は、このオプションを選択します。出力の一部を他の文書にコピーする場合などに便利な形式です。
クリップボード	このオプションを選択すると、コンピュータのクリップボードに分析結果の画像が作成され、他のアプリケーションに含めることができます。
画像ファイル	解析画像をファイルに書き込む場合は、このオプションを選択します。

複数のケースの概要を印刷


ケースを開いていない場合は、複数のケースの概要を印刷できます。（メニューオプション*症例/プリントする,  P*, ポップアップメニューオプション*プリントする*）。

例えば、あなたの患者を監視する同僚のためにリストを作成したい場合、これは実用的です。そして、過去6ヶ月間に診た患者の名前と生年月日だけで、治療薬の処方リストを作成することができます。
印刷ダイアログのオプションについては、これ以上説明する必要はありません。

パスワードによる保護

外出先から患者さんの情報を保護することができます。

このため、パスワードを設定することができます。（メニューオプション*症例/症例データベース/パスワードを変更する*）。

パスワードが設定されている場合、ケースモジュールに新しいボタンが表示されます。
そのボタンを押すと、すぐにケースモジュールがロックされ、開くにはパスワードの入力が必要です。

また、しばらく使わないでいると、自動的に案件情報をロックすることも可能です。
自動ロックするまでの時間は、*Preferences* の設定で、自分で設定することができます。（メニューオプション*全般/環境設定*）。
0分に設定すると、自動ロックは行われません。

パスワードの設定には十分な注意が必要です。あなた以外に、あなたのパスワードを知っている人はいません。パスワードを忘れたら、家の鍵を失くしたのと同じことで、もうアクセスできない。

アーカイブと削除

アーカイブ事例

症例一覧に表示されなくなった症例は、アーカイブすることができます。（メニューオプション*症例/アーカイブケース*）。
ケースをアーカイブすると、グループ*Archived* に表示されます。

アーカイブされている間でも、ケースを開くことはできます。ケースに何らかの変更を加えると、そのケースは自動的に*Archived* グループから削除され、他のアクティブなケースと一緒に戻されます。

複数の古いケースをアーカイブすることができます。（メニューオプション*症例/古いケースをアーカイブする, ポップアップメニューオプション古いケースをアーカイブする*）。
開いたダイアログで、月数を指定することができます。指定された月数の間、変更されていないすべてのケースをリストで表示します。次に、リストで選択されているすべてのケースをアーカイブすることができます。

ケースファイルの削除

ケースファイルを保管する必要がなくなった場合は、削除することができます。（メニューオプション*症例/ケースを削除*）。
ケースは、アーカイブされた後にのみ削除することができます。

また、アーカイブされた古いケースを自動的に削除させることも可能です。*Preferences* の設定にそのためのオプションがあります。デフォルトでは、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

自動バックアップ

意図せずケースファイルを削除してしまった場合、バックアップから復元することができます。（メニューオプション*症例*

/ 症例データベース / バックアップからケースを復元する)。

バックアップは自動的に行われます。

- この1ヶ月間、毎日です。
- 毎月、この1年間。
- 1年経過すると、バックアップは永久に削除されます。
- なお、バックアップはお客様のコンピュータのローカルに保存されます。

クラウドサーバー

はじめに

診療に複数のパソコンを使用している場合、それらのパソコン間で症例情報を同期させておくといでしょう。これにより、どこにいても常に最新の案件情報を入手することができます。外出先でも、スマホやタブレットで。

当社のクラウドサーバーは、ケースを自動的に同期させるための柔軟で簡単な仕組みを提供します。

他の多くのクラウドソリューションとは異なり、Complete Dynamicsは、インターネット接続の有無にかかわらず使用することができます。

インターネットに接続されていない場合、すべてのケースはあなたのデバイスにローカルに保存されます。あなたが行ったすべての変更は、ローカルに保存されます。

インターネットに接続できる環境であれば、クラウドサーバー経由で自動的にケースを同期させることができます。

インターネットに接続していない状態で、別の端末でケースに変更を加えても、何も変わりません。クラウドサーバーへの接続が可能になると、異なるデバイスで行ったすべての変更を統合することができます。同じ案件を担当していたとしても

クラウドサーバーは何をすることですか？

クラウドサーバーの目的は、このサービスを利用するすべてのデバイスで、お客様のケースを同一に保つことです。

1つのデバイスで追加したものは、他のデバイスでも追加されます。

1つのデバイスで変更したことは、他のデバイスでも変更されます。

1台のデバイスで削除したものは、他のデバイスでも削除されます。

ケースをアーカイブすることは、他のデバイスでもアーカイブされることを意味します。

クラウドサーバーを利用するメリット

- どのようなデバイスを使用していても、自動同期後にあなたのケースが最新の状態になります。
- ライセンスに含まれるすべてのデバイスで動作します。
- インターネットに接続していない状態でも作業が可能です。
- インターネットが利用できるようになれば、自動的に同期が行われます。
- パソコンが壊れたときのために、常にケースのコピーを用意しています。

クラウドサーバーは、どのようなデバイスで利用すればよいのでしょうか？

これはあなた自身の選択です。

パソコン1台で利用する場合、クラウドサーバーを利用することでケースのコピーを確保することができます。万が一、パソコンが壊れても、新しいパソコンに自動的にケースを転送することができます。

2台以上のデバイスを使用する場合、クラウドサーバーは1台のデバイスで行った変更を他のデバイスに適用することができます。

クラウドサーバーを利用するかどうかは、利用するデバイスごとに決めることができます。例えば、自宅やオフィスのパソコンにはクラウドサーバーを使うが、スマホには使わないということも可能です。

セキュリティとプライバシー

私たちは、セキュリティとプライバシーが非常に重要であることを認識しています。

セキュリティ

あなたの大切なデータを守ります。

- クラウドサーバーへのアクセスは、お客様名義の有効なライセンスがあるデバイスからのみ可能です。
- 他のデバイスがあなたのケースにアクセスすることはありません。
- あなただけが知っている特別なパスワードが必要です。
- サーバーとの接続は暗号化されています。

プライバシー

お客様は、当社のクラウドサーバを利用する義務を負いません。患者さんの情報を遠隔地のコンピュータのどこかに保存しておきたくないという気持ちは、よくわかります。クラウドサーバを利用するかどうかは、お客様の判断にお任せします。

私たちは、あなたとあなたの患者さんのプライバシーを十分に尊重します。お客様のデータを使用したり、加工したりすることは一切ありません。クラウドサーバが行うのは、あなたのデバイスとの間のコピーだけです。

クラウドサーバのセットアップ

クラウドサーバでデバイスを使い始めるには、まず、アクティベーションを行う必要があります。アクティベーションは、*Preferences, sectionCase*で行います。(メニューオプション*全般/環境設定*)。ここで、*Use Cloud Server* というオプションを選択することができます。

初めてクラウドサーバを起動する場合は、自動的にケースデータを保護するための暗証番号の作成が案内されます。この暗証番号は、後でいつでも変更できます。(メニューオプション*症例/症例データベース/クラウドピンを変更します*)。クラウドPINは、他のデバイスをアクティベートする際に必要になりますので、忘れないようにしましょう。

クラウドサーバの状態

Case モジュールのページ上部には、サーバの接続状態を示すアイコンが表示されます。

- ☐ クラウドサーバが利用可能です。
- ☒ コミュニケーション中。
- ☒ インターネットに接続できない、またはサーバが一時的にオフラインになっている。
アイコンが表示されていない場合は、クラウドサーバが未設定です。

アイコンをクリックすると、すぐに同期が実行されます。

制限事項

クラウドサーバの目的は、あるデバイスで行われたすべての変更を、他のすべてのデバイスに適用することです。しかし、これは常に可能なことではありません。制限の内容を把握するのに役立ちます。

特にオフラインで作業している場合、クラウドサーバへの接続が再確立する前に、同じ案件を別の端末で変更することが起こり得ます。通常であれば、ほとんど問題になることはないでしょう。

事件の情報は、いくつかの独立した要素で構成されています。

- 患者さんに関する情報です。
- 本件に関する情報です。
- それぞれの分析
- 各レメディーの処方

これらの要素の1つを変更し、別のデバイスの別の要素に変更を加えることができます。しかし、例えば2つのデバイスで同じ解析を変更した場合、最後に変更したものだけが保存されます。あるデバイスのある分析を、別のデバイスの別の分析に変更しても、問題はありません。あるいは、あるデバイスでレメディー処方を追加し、別のデバイスで別のレメディー処方を追加しても、問題はありません。

バックアップ

クラウドサーバに保存されている案件は、お客様の端末の案件をコピーしたものです。元データはお客様の端末にあります。

パソコンのバックアップは、常に自己責任で行ってください。

ケースシェアリング

同僚とケースを共有する

多くの場合、自分のケースや分析結果を同僚や学生、教師に渡したり、インターネットのフォーラムで発表したりしたいと思うかもしれません。

Complete Dynamicsは、症例の全体または一部をファイルとしてエクスポートすることができます。このファイルを同僚に渡して、その人のパソコンに取り込むことができます。あなたの同僚は、このために*Practitioner Edition* のライセンスを必要としません。無料の*Browser Edition* でも、ファイルをインポートして見ることができます。

また、症例共有は匿名で行うことができるため、患者さんとあなたのプライバシーを確保することができます。輸出入はどのように行われるのか、以下に説明します。まず、Case sharingのもう一つの重要な特徴について見ていきます。

複数のコンピュータ間でケースを同期させる

手動同期は、クラウドサーバー経由の自動同期を使用しないことを選択した場合にのみ関連します。

ケース共有では、あるコンピューターから別のコンピューターへケースを持ち運ぶための2つの強力なオプションが用意されています。

最も簡単な方法は、一方のコンピューターで症例データベースの完全なコピーをエクスポートし、もう一方のコンピューターでそれをインポートすることです。

これは、もう一方のコンピューターに保存されているすべてのケース情報を置き換えるものです。

このオプションは、ケースデータベースのバックアップを定期的に作成する場合にも使用できます。

より高度な方法としては、1台のコンピューターで修正したケースだけをエクスポートし、2台目でインポートする方法があります。この場合、変更された情報だけがコピーされ、2台目のコンピューターのデータベースにマージされる。この強力な同期メカニズムは、両方のコンピューターでケースが変更された場合にも機能します。

1つのケースをエクスポートする

1つのケースをエクスポートするには、ケースモジュールを開き、エクスポートするケースを選択します。

次に、オプションのExport current case...を使用します。(メニューオプション*症例/ 症例通信/ 当面の症例*をエクスポート..., *control-Y*, ポップアップメニューオプション*症例通信/ 当面の症例*をエクスポート...).

ダイアログが開き、エクスポートするケースの部分を選択することができます。

作者情報 ☒

患者情報 ☒

症例のノート ☒

処方 ☒

分析

- Jan 1, 2022-Multiple Views
- Mar 3, 2016-DD example - Sepia case
- Mar 1, 2016-DD example - Ferrum case
- Sep 1, 2015-Family analysis
- Jan 25, 2011-Bönnighausen style analysis
- Mar 1, 2009-Simple classification example
- Feb 1, 2009-Grouping example
- Feb 1, 2009-Symptoms with many or few ru
- Jan 4, 2009-An example of symptom and ru
- Jan 3, 2009-A simple analysis - using Symp
- Jan 2, 2009-A simple analysis - with Groupir

パスワード (任意)

著者情報 このオプションをオフにすると、エクスポートに名前が含まれなくなります。

患者様へのご案内 このオプションをオフにすると、患者は匿名化されます。患者さんの性別と生年のみ使用します。このオプションをオンにすると、患者のすべての個人情報エクスポートに含まれます。

ケースノート このオプションをオンにすると、案件の背景情報がエクスポートに含まれます。(事例背景、メモ、グループ)。

処方箋 このオプションをオンにすると、作成した処方箋がエクスポートに含まれます。

分析結果 ケース内のすべての分析について、エクスポートするかどうかを決定することができます。行をクリックすると、選択のオン/オフが切り替わります。*All* と *None* のボタンを使って、すべての分析結果を選択するか、まったく選択しないかを簡単に選択することができます。

パスワード ここに値を入力すると、エクスポートファイルがパスワードで保護されます。それを取り込むためには、誰かがパスワードを知らなければならない。インターネット上で公開したい匿名性の高い情報を除き、共有する情報にはパスワードを設定することをお勧めします。

準備ができたなら、OK ボタンを押すと、任意のファイル名と保存先を聞かれます。

デフォルトのファイル名がすでに記入されていますが、好きな名前を選ぶことができます。

1つの解析結果をエクスポートする

1つの分析をエクスポートするには、分析を含むケースを開き、エクスポートする分析を選択します。

次に、メニューオプションのExport current analysis...を使用します。(メニューオプション*症例/ 症例通信/ 当面の分析*をエクスポート..., ポップアップメニューオプション*症例通信/ 当面の分析*をエクスポート...).

ダイアログが表示され、解析と一緒にエクスポートするケースの部分を選択することができます。

作者情報 ☒
 患者情報 ☒
 症例のノート ☒
 パスワード (任意)

各フィールドの意味については、上記の情報を参照してください。

複数のケースをエクスポートする

複数の案件を1つのファイルにまとめて書き出すことができます。(メニューオプション *症例 / 症例通信 / 複数のケースをエクスポート...*, ポップアップメニューオプション *症例通信 / 複数のケースをエクスポート...*).

患者

同僚

個人学習

セミナー

その他

アーカイブ

Abif, Hiram
Al-Rashidi, Muhammed - 1989 (35)
Andrews, Sandra - 1972 (52)
Baker, Charles
Barrett, Elizabeth Jane - 1950 (73)
Boyle, Susan - 1961 (63)
Clappin, Charles Bernard - 1958 (66)
Clappin, Edward - 1960 (64)
Garrod, Rishi - 1955 (69)
Grinsven, Eduard van - 1959 (64)
Grinsven, Kyra van - 1991 (33)
Grinsven, Michel van - 1960 (64)
Huidekooper, Rolf - 1990 (34)
Hyper, John
Jong Shen, Ming
Jong, Karin de
Kawasaki, Hirakozu - 1943 (81)
Ketellapper, Wieger
Keys, Patricia - 1972 (52)
Lelievre, Madeleine - 1991 (33)
Pandir, Anand - 1954 (70)

作者情報 ☒
患者情報 ☒
症例のノート ☒
処方 ☒
個人情報を守るため、パスワードを勧めます。
パスワード

フィルター

症例が並んだリストで、エクスポートしたい症例をクリックで選択します。

マウスをエントリにドラッグすることで、範囲を選択することができます。

事例や分析結果をインポートする

他の人から症例や解析のエクスポートファイルを渡された場合、メニューの「インポート」を使って簡単にインポートすることができます。(メニューオプション *症例 / 症例通信 / インポート...*, *control-I*, ポップアップメニューオプション *症例通信 / インポート...*).

インポートするファイルの入力を求められます。

ファイルを選択すると、そのファイルがケースデータベースに取り込まれます。パスワードで保護されているファイルの場合、最初にパスワードの入力が求められます。

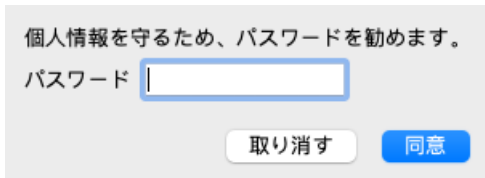
インポートしたケースは、ファイルに著者名がある場合は、グループ *同僚* で見つけることができます。そうでない場合は、グループ *その他* で見つけることができます。ケースを開いた後、ケース情報を自分で簡単に変更したり、分析を他のケースに移動させたりすることができます。(メニューオプション *症例 / 分析を症例に移す*).

症例データベース全体のエクスポート

症例データベース全体をエクスポートした場合、お客様名で登録されたライセンスを持つコンピュータでのみインポートが

可能です。

症例データベース全体をエクスポートするには、メニューオプションの「症例データベース全体をエクスポート...」を使用します。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ 全ての症例** データベースをエクスポートする。、ポップアップメニューオプション**症例通信/ 全ての症例** データベースをエクスポートする。).
ダイアログが開き、このファイルを保護するためのパスワードを入力することができます（強く推奨します）。



個人情報を守るため、パスワードを勧めます。

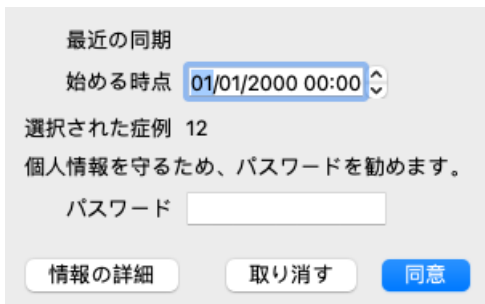
パスワード

OK ボタンを押すと、ファイル名と保存場所を聞かれます。
ファイルを別のコンピュータに持っていき、そこでImportを行う。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ インポート...**, *control-I*).

修正したケースをエクスポートする

修正した案件をエクスポートすることは、複数のコンピュータ間で案件情報を同期させる最も柔軟な方法です。

変更をエクスポートするには、メニュー オプションの [変更されたケースのエクスポート] を使用します。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ 修正症例**のエクスポート, ポップアップメニューオプション**症例通信/ 修正症例**のエクスポート).
ダイアログが表示され、同期するものを指定することができます。



最近の同期

始める時点

選択された症例 12

個人情報を守るため、パスワードを勧めます。

パスワード

デフォルトでは、最後に同期をとった日付が記入されています。別の日時以降に変更されたものを同期させたい場合は、値を変更するだけです。
エクスポートに含まれるケースの概要を知るには、*詳細...* ボタンを押して、ケースとその最終修正時刻の一覧を取得します。

修正したケースをインポートする

修正した症例は、別のパソコンで取り込むことができます。(メニューオプション**症例/ 症例通信/ インポート...**, *control-I*, ポップアップメニューオプション**症例通信/ インポート...**).
ファイルを選択すると、必要な同期動作の情報を表示するダイアログが開きます。

操作	日付	患者
新しい	Jan 5, 2014	Holiday, Jimmy - 1942
合併する	Jan 6, 2014	St.Clair, Bonnie - 1970
交換	Jan 6, 2014	Eastwood, Herny - 1992
新しい	Jan 6, 2014	Baker, Charles - 1950
新しい	Jan 7, 2014	Smarting, All - 1962
合併する	Jan 7, 2014	Williams, Charita - 1970
無視する	Jan 20, 2014	Underwood, Sam - 2013

ここで重要なのは、一番左の欄です。このカラムは4つの異なる値を持つことができる。

新規 このケースはローカルデータベースに存在しない。新たに作成されることになります。

交換 ローカルデータベースではケースは変更されませんが、エクスポートファイルのバージョンが新しくなっています。新しい情報で上書きされます。

マージ マー筐体は2台のPCで改造しています。エクスポートファイルの情報は、ローカルデータベースの情報にマージされます。既存の情報は上書きされませんが、新しい情報がコピーされます。

無視 このケースは、両方のコンピュータのいずれでも修正されていないようです。何もしていない。

リスト内のどのケースに対しても、アクションを修正することができます。いくつかのケースをクリックして選択し、**無視**、**新規**、**置換**、**結合**のいずれかのボタンを押します。ボタン **Reset** を押すと、すべてのアクションが元の設定に戻されます。

変更された設定値は、元の設定値と異なることを示すために、色でハイライトされます。

操作	日付
無視する	Jan 5, 2014
交換	Jan 6, 2014
交換	Jan 6, 2014
新しい	Jan 6, 2014

アクションが明示的に **New** に設定されている場合、類似の症例がすでにローカルデータベースに存在する場合でも、症例は新規症例としてコピーされます。インポート後、同じ名前のケースが2つ表示されるので、自分で確認することができます。通常、これは決して必要ではありません。オプション **Merge** は、いかなる情報も捨てません。

自動バックアップ

バックアップを容易にするため、プログラムは毎日一回、症例データベースの完全なエクスポートを自動的に作成します。これらのバックアップは過去7日間保存されます。これを使えば、プログラムが内部データベースをどこに保存しているか知らなくても、自分でバックアップを取ることができます。バックアップの場所や緊急時の復元方法について詳しくお知りになりたい場合は、サポート部門までお問い合わせください。(メニューオプションヘルプ/このソフトウェアについて、ご意見をおしえてください。).

解析モジュール

クイックスタート

せっかちなあなたのために...

解析に関するヘルプをお読みいただくと、より効率的に作業を進めることができますので、ぜひご一読ください。後で読んで、すぐにでも始めたいという方は、この要約を読めばすぐにでも始められるはずです。

ケースから始めるか否か?

多くの場合、分析は患者さんに関連するものであり、後で参照するために保存しておくといからです。このような場合、まずケースを作成するか、既存のケースを開いておくと、分析結果が適切な場所に保存されるため、お勧めです。一度開いたケースには、簡単に新しい分析を追加することができます。ケースと分析の整理の仕方についての詳しい情報は、セクションケースモジュールをお読みください。

実際のケースと関係なく、簡単な分析を行いたい場合は、ケースを開いたり作成したりしないで、デフォルトのケースが自動的に作成され (*Unnamed case*)、分析結果がそこに保存されます。解析結果は、今日の日付でラベル付けされたそのケースで確認することができます。

ループリックの追加

分析にループリックを追加するのは簡単です。まず、*Book* モジュールでループリックを選択します。明るい黄色で表示されたループリックが選択されています。そして、Enterキーを押してください。(メニューオプション*症例/追加, control-R*).適切なループリックを見つけるには、*Find* モジュールが役に立ちます。

概要

メニューオプション

(メニューオプション*症例/新しい症例, control-N*).
(メニューオプション*症例/分析を付け加えて, control-A*).
(メニューオプション*症例/分析に追加, control-S*).
(メニューオプション*症例/追加, control-R*).

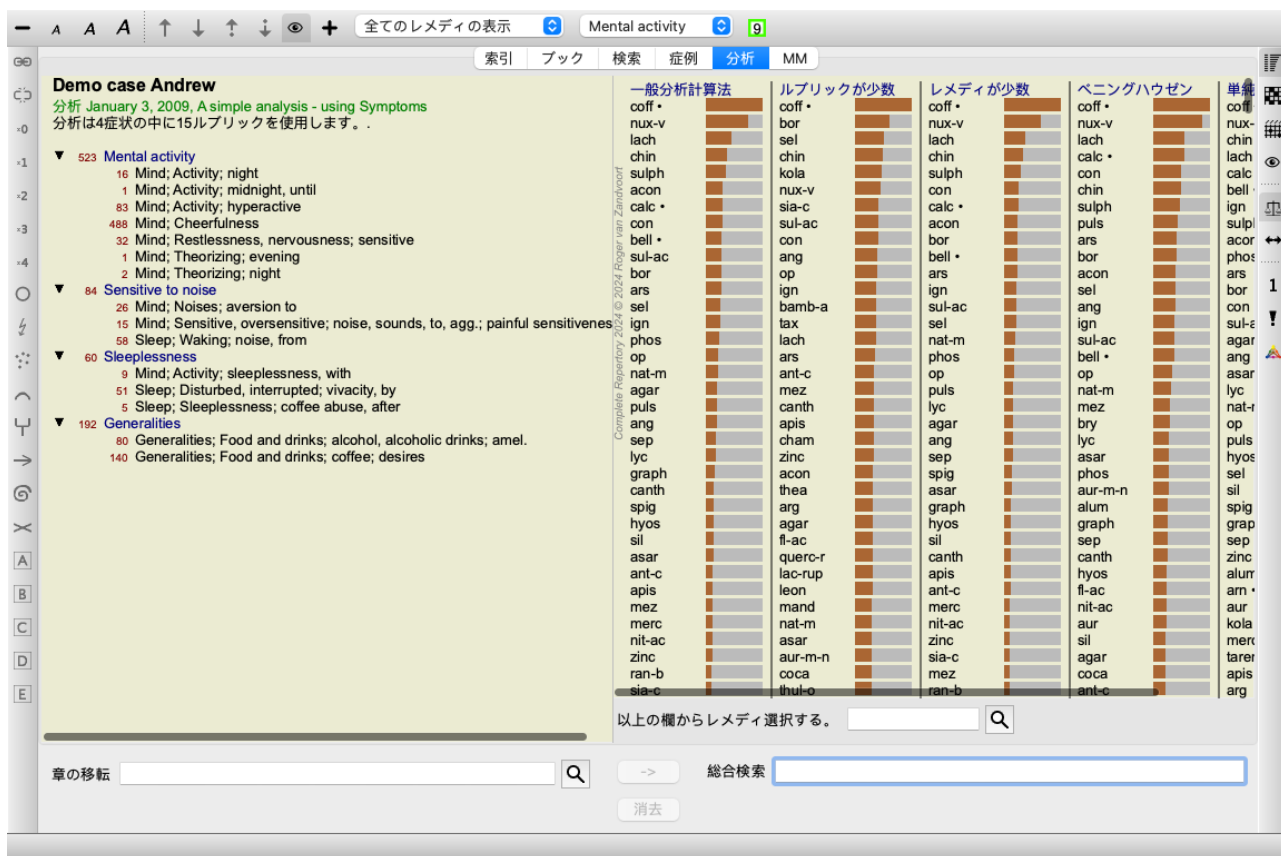
アクション

分析なしで、新しいケースを作成します。
開いているケースに解析を追加する。
解析に症状を追加する。
分析にレポートリー・ループリックを追加する。
ループリックを選択した後、*Book* または *Find* モジュールから実行します。

解析の作成

Analysis モジュールを開く

Analysis タブをクリックし、*Analysis* モジュールに移動します。(メニューオプション*表示/分析, ⌘-R*).すでにケースを開き、分析を選択していると仮定すると、このような画面になります。



ウィンドウは2つのセクションに分かれています。
 - この分析に使用された症状とループリックを紹介します。
 - 解析結果
 1つ目から順に詳しく説明します。

ここで使用されている例は、Case モジュールの 'Other' グループにあるデモケースの一部であることに注意してください。これらの例は、自由に遊んでいただいて結構です。Complete Dynamicsを起動するたびに、元のデモケースは「その他」グループに戻されます。

症状 vs ループリック

患者さんの情報を集めたら、レパートリーの中から患者さんの状況に合ったループリックを探すのが従来のやり方でした。この方法の大きな欠点は、患者の症状によっては1つのレパートリー・ループリックが必要であるが、他の症状では、その訴えを表現するいくつかのループリックを一緒に見つけることができることである。一つの症状を表すのに複数のループリックを使用した場合、その症状に合致するレメディが自動的に強くカウントされるため、他の症状に比べて誇張された数値が得られる。

また、レパートリー言語という言葉で症状を表現することもない。特に、患者の症状を100%文字で表現できるルビがない場合、レパートリー・ルビ集は患者の訴えを正しく表現したものとは言えなくなる。

Complete Dynamicsは、SymptomsとRubricsを区別することで、これらの問題を解決しています。

まず、分析された患者さんの症状を入力することができます。第二に、レパートリー・ルビをこれらのSymptomsと結びつけることができます。

Analysisモジュールは、少ないループリックで表現されるSymptomもあれば、多くのループリックで表現されるSymptomもあることから、分析結果を自動的に補正することができます。ですから、患者さんの症状を十分にレパートリー・ループリックに表現するために必要なループリックの数を、分析結果に偏りが出ないように自由に選択することができます。

症状は患者-ループリックはレパートリーの言語である。

Symptomsを使うメリットはまだあります。症状は患者の言葉であるため、個々のループリックの順位を明示的に操作することなく、症状に対して重要度の順位をつけることが容易にできる（これらを症状重み、ループリック重みと呼び、別項で説明する）。他にもメリットはありますが、それはご自分の目で確かめてください。

もちろん、素早くシンプルな解析を行うためには、Symptomを作成すると、必要ないオーバーヘッドが発生します。この場合、Symptomsを作らないようにすればいいのです。すべてのループリックは、自動的に「一般的な症状」の下に配置され、あなたには見えません。

一例を挙げます。以下はDemo case Andrew のスクリーンショットで、Symptoms を使用しない場合と使用した場合の2つです。

- 16 Mind; Activity; night
- 1 Mind; Activity; midnight, until
- 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
- 83 Mind; Activity; hyperactive
- 488 Mind; Cheerfulness
- 26 Mind; Noises; aversion to
- 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
- 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
- 1 Mind; Theorizing; evening
- 2 Mind; Theorizing; night
- 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
- 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- 58 Sleep; Waking; noise, from
- 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
- 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

- ▼ 523 Mental activity
 - 16 Mind; Activity; night
 - 1 Mind; Activity; midnight, until
 - 83 Mind; Activity; hyperactive
 - 488 Mind; Cheerfulness
 - 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
 - 1 Mind; Theorizing; evening
 - 2 Mind; Theorizing; night
- ▼ 84 Sensitive to noise
 - 26 Mind; Noises; aversion to
 - 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
 - 58 Sleep; Waking; noise, from
- ▼ 60 Sleeplessness
 - 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
 - 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
 - 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- ▼ 192 Generalities
 - 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
 - 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

バリエーション Symptoms の方がより分かりやすい!

症状の作成とループリックの追加

ケースを開き、分析を選択した状態で、分析に新しい症状を追加することができます。(メニューオプション *症例 / 分析に追加*, *control-S*, ポップアップメニューオプション *分析に追加*).

症状(およびそれに関連するすべてのループリック)を削除するには、マウスまたはキーボードで症状を選択し、Delete キーを押します。(メニューオプション *症例 / 削除*, ポップアップメニューオプション *削除*).

症状の詳細をダブルクリックすると、編集できます。(メニューオプション *症例 / 症状を編集する*, ポップアップメニューオプション *症状を編集する*).

ループリックは常に *Book* または *Find* モジュールから追加されます。(メニューオプション *症例 / 追加*, *control-R*, ポップアップメニューオプション *ループリックを分析に追加*). ループリックを選択し、Enter キーを押す。(メニューオプション *症例 / 追加*, *control-R*).

そして、症状リストで「現在」の症状として選択されている症状にループリックが追加されます。画面上部のツールバーで、どの Symptom が確認できます。

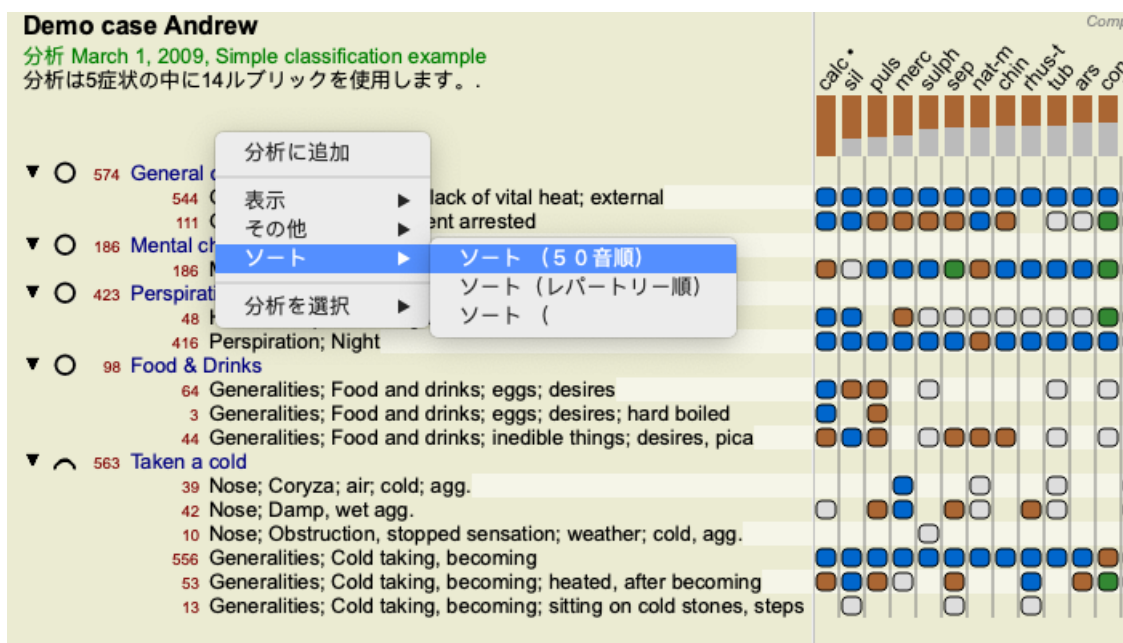
Mental activity

ツールバーから、ループリックを追加する別の症状を簡単に選択することができます。Symptoms が定義されていない場合、「Generic symptoms」というテキストが表示されます。

分析からループリックを削除するには、リストでループリックを選択し、Delete キーを押すことで行います。(メニューオプション *症例 / 削除*).

症状・ループリックの整理

症状の整理順を変更することが可能です。Symptom を選択すると、その Symptom を移動することができます。(メニューオプション *移転 / 上へ*, ツールバーボタン ↑, メニューオプション *移転 / 下へ*, ツールバーボタン ↓). ポップアップメニューのいくつかのメニューオプションで、症状を自動的にソートすることができます。



ループリックは、同じメニューオプションとツールバーボタンで、次の症状や前の症状に移動することができます。Symptom 内では、Rubrics は常にBook の順番に従って並べられます。

結果

解析結果

AnalysisにSymptomsとRubricsが追加されたら、次は結果を見ます。これらの結果は、ウィンドウの右側に表示されます。

解析結果の見方には、基本的に2つの方法があります。
 - 同じ分析結果で、複数の結果を概観することができます。
 - 1つの分析結果の詳細な概要を表示します。

複数の解析結果を表示する

複数の結果の概要を選択することができます。(メニューオプション分析/一覧表, ツールバーボタン).
 このように表示されます。

一般分析計算法	ルブリックが少数	レメディが少数	ベニングハウゼン	単純に数えて
coff •	coff •	coff •	coff •	coff •
nux-v	bor	nux-v	nux-v	nux-v
lach	sel	lach	lach	chin
chin	chin	chin	calc •	lach
sulph	kola	sulph	con	calc •
acon	nux-v	con	chin	bell •
calc •	sia-c	calc •	sulph	ign
con	sul-ac	acon	puls	sulph
bell •	con	bor	ars	acon
sul-ac	ang	bell •	bor	phos
bor	op	ars	acon	ars
ars	ign	ign	sel	bor
sel	bamb-a	sul-ac	ang	con
ign	tax	sel	ign	sul-ac
phos	lach	nat-m	sul-ac	agar

標準的な分析方法

この写真の標準的な結果は、次のような意味です。

標準	厳選されたパラメータに基づく標準的な解析結果です。
小型レメディ	この結果、大きなレメディ（ポリクレスト）よりも小さなレメディの方が重要視されることになります。これは、レメディの出現率がレパートリー全体で不均等であることを補うものです。ポリクレストは分析から外されているわけではなく、優位性が低下しているに過ぎません。
小型ループリック	この結果、救済措置の少ないルビコンが救済措置の多いルビコンよりも重視されることになった。このように、ごく一般的なループリックよりも、より特徴的なループリックの方が結果に与える影響は大きくなります。

- ベニングハウゼン この分析では、レパートリー内の関連するループリックでの出現率に基づいてレメデイがカウントされる。
ベニングハウゼン分析は、主に大規模で汎用的なループリックで使用されます。また、極ルビに対する補正もより重要です。詳しくは、*Analysis - Bönninghausen* をご覧ください。
- シンプルなカウント これは、昔、鉛筆と紙だけでやっていたような、とてもシンプルな数え方です。分析対象のすべてのループリックについて、すべてのレメデイの階調を単純に加算している。

使用する分析手法の選択

Complete Dynamicsが提供する標準的な解析手法のすべてに興味があるわけではないのかもしれませんが。どの分析を表示するか、どのような順序で表示するかを決めることができます。環境設定の設定で変更することができます。詳しくは、「環境設定」をご覧ください。

解析結果の詳細

上の写真の結果を見ると、数字が一切印刷されていないことに気がつくと思います。すべてのレメデイの後ろにバーが表示され、レメデイの相対的な重要性を示しています。レメデイは重要なものから順に並んでいます。色のついた棒が短いほど、そのレメデイが与えられた結果において重要でないことを示しています。

レメデイ名の上にマウスを移動させると、より詳細な情報がウィンドウ下部のメッセージエリアに表示されます。例えば、*chin*の上にマウスを移動させると、メッセージエリアが表示されます。

4: chin = China officinalis. Relative score 45, from 8 rubrics in 3 symptoms

これは、エントリ番号4、*chin* はレメデイ *China officinalis* を意味し、最も高いレメデイ (*coff*) と比較して相対重要度が45%であり、そのレメデイは3症状で計8ループリックで発生したことを意味しています。なお、解析結果「単純集計」の場合、相対スコアは与えられたレメデイの評点の合計となります。その他の分析結果では、最も高い改善策に相対値100を与え、その他の値はこの最も高い値に対する相対値とする。

結果に数字を表示させたい場合は、ツールバーのボタンを押すことができます。(メニューオプション分析/数字の表示、ツールバーボタン 1)。
すると、このような結果になります。

一般分析計算法			ループリックが少数			レメデイが		
coff •	100 / 12 / 3		coff •	100 / 12 / 3		coff •		
nux-v	75 / 10 / 4		bor	61 / 6 / 4		nux-v		
lach	46 / 8 / 4		sel	51 / 5 / 4		lach		
chin	39 / 9 / 4		chin	49 / 9 / 4		chin		
sulph	36 / 6 / 4		kola	48 / 5 / 3		sulph		
acon	30 / 5 / 4		nux-v	46 / 10 / 4		con		
calc •	30 / 6 / 3		sia-c	42 / 4 / 4		calc •		
con	30 / 5 / 3		sul-ac	42 / 5 / 4		acon		
bell •	29 / 6 / 3		con	41 / 5 / 3		bor		
sul-ac	29 / 5 / 4		ang	41 / 5 / 4		bell •		
bor	28 / 6 / 4		op	40 / 5 / 3		ars		
ars	28 / 7 / 3		ign	39 / 6 / 3		ign		
sel	27 / 5 / 4		bamb-a	38 / 4 / 4		sul-ac		
ign	26 / 6 / 3		tax	38 / 4 / 3		sel		
phos	24 / 6 / 4		lach	38 / 8 / 4		nat-m		
op	22 / 5 / 3		ars	36 / 7 / 3		phos		
nat-m	22 / 5 / 4		ant-c	35 / 5 / 3		op		
agar	20 / 5 / 3		mez	35 / 4 / 3		puls		
nuls	20 / 4 / 3		canth	35 / 5 / 3		luc		

状況によっては、結果を重要な順に並べ替えるのではなく、レメデイが出現する症状やループリックの数に応じて並べ替える場合もあります。

そして、ツールバーのボタン 1 を押すと、「症状/ループリックの数で分析を並べ替える」という意味になります。(メニューオプション分析/ループリックの数で順番を決める、ツールバーボタン 1)。

既に処方されている治療薬

すでに処方されているレメデイがすぐにわかるので便利なことも多い。
過去に処方されたことのあるレメデイには、名前の後ろに点がついています。

ループリックとレメデイの関係性を見出す

ループリックとレメデイの関係は、結果内のループリック、レメデイのどちらかをクリックすることですぐに確認することができます。
その際、対応するレメデイやループリックが強調表示されます。

例ループリック *Mind; sensitive, oversensitive; noise, to; painfull sensitiveness to* をクリックすると、結果エリアに次のように表示されます。

一般分析計算法	ルブリックが少数	レメディが少数	ベニングハウ
coff •	coff •	coff •	coff •
nux-v	bor	nux-v	nux-v
lach	sel	lach	lach
chin	chin	chin	calc •
sulph	kola	sulph	con
acon	nux-v	con	chin
calc •	sia-c	calc •	sulph
con	sul-ac	acon	puls
bell •	con	bor	ars
sul-ac	ang	bell •	bor
bor	op	ars	acon
ars	ign	ign	sel
sel	bamb-a	sul-ac	ang
ign	tax	sel	ign
phos	lach	nat-m	sul-ac
op	ars	phos	bell •
nat-m	ant-c	op	op
agar	mez	puls	nat-m
nuls	canth	luc	mez

どのレメディがそのルブリックに入っているのか、一目瞭然です



例remedysulph をクリックすると、次のような Symptom と Rubric の概要が表示されます。

▼ 523	Mental activity
16	Mind; Activity; night
1	Mind; Activity; midnight, until
83	Mind; Activity; hyperactive
488	Mind; Cheerfulness
32	Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
1	Mind; Theorizing; evening
2	Mind; Theorizing; night
▼ 84	Sensitive to noise
26	Mind; Noises; aversion to
15	Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
58	Sleep; Waking; noise, from
▼ 60	Sleeplessness
9	Mind; Activity; sleeplessness, with
51	Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
5	Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
▼ 192	Generalities
80	Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
140	Generalities; Food and drinks; coffee; desires

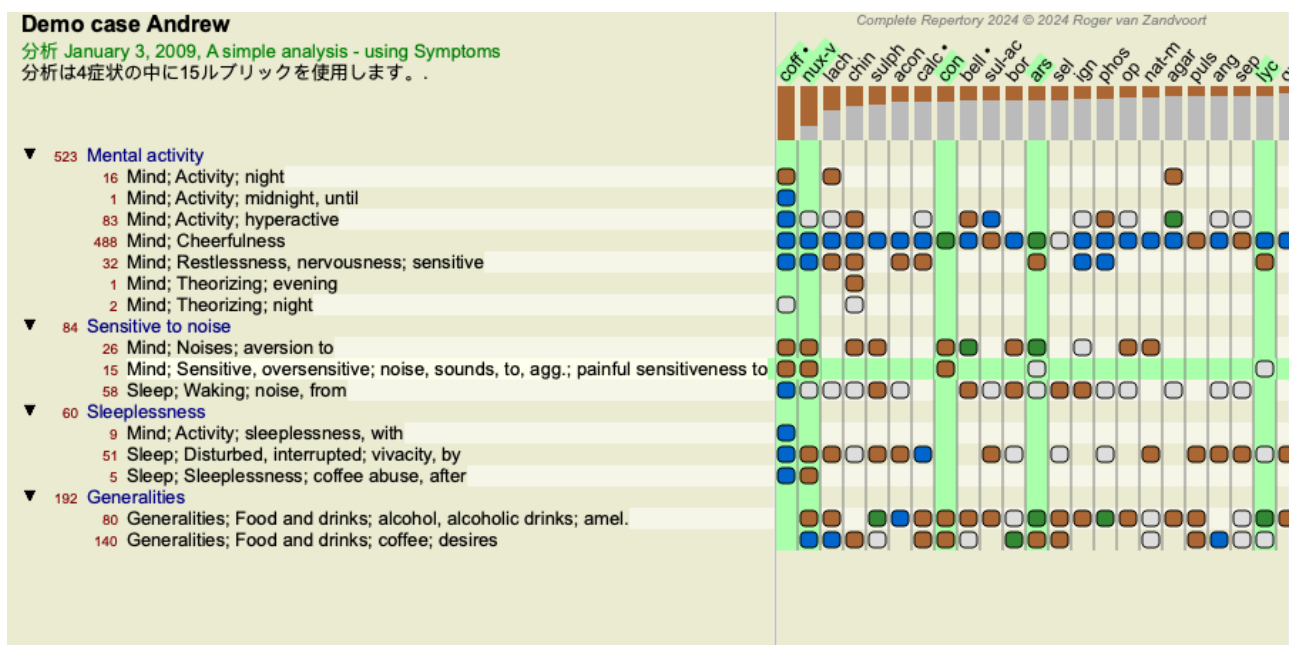
そして、どのルビでsulphが発生するのかをチラッと見ることができます。さらに、選択したレメディは他の分析結果でもハイライト表示されるので、異なる分析での相対的な順位が一目瞭然です。

ここまでの、複数解析の概要です。それでは、1つの解析結果の詳細な概要を見てみましょう...

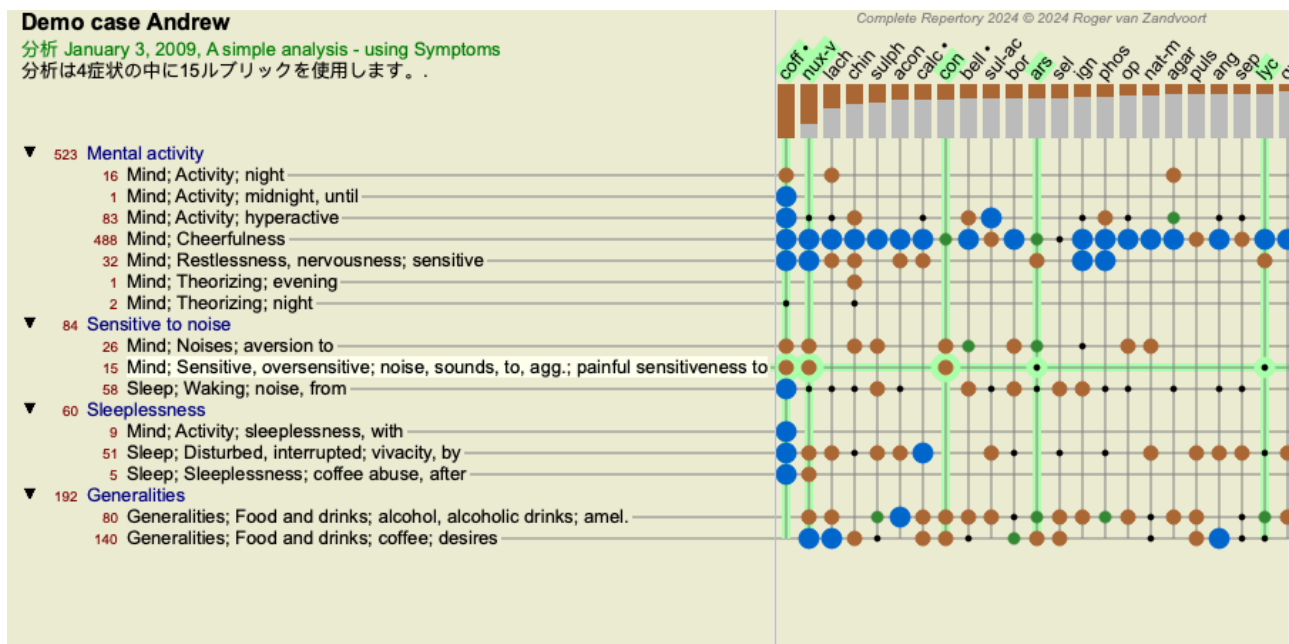
1つの分析結果の詳細な概観を表示する

1つの分析について、より詳細な概要を、好みに応じて、テーブル表示またはグリッド表示で表示することができます。
(メニューオプション分析/表 (将棋盤), ツールバーボタン , メニューオプション分析/表 (碁盤), ツールバーボタン ).

テーブルビューはこのようになります。



Gridビューはこのようになります。



こうすることで、ルブリックとレメデイの関係を一枚の絵で見ることができるようになるのです。もちろん、これは1つの解析に対してのみ可能です。

ラスターの下には、選択ボックスが表示され、利用可能な解析結果を切り替えることができます。

ブロックまたはドットは、ルブリックで救済措置が発生することを示します。

- ● グレード1
- ● グレード2
- ● グレード3
- ● グレード4

箇条書きにマウスを乗せると、そのルブリックのレメデイの著者情報など詳細な情報が表示されます。下部のメッセージエリアに再度表示されます。 *coff* と *Mind; cheerfulness* の交点にある青い弾丸にマウスを移動させると、以下の情報が表示されます。

coff = Coffea cruda (Bönninghausen, Gallavardin, Hering, Jahr, Knerr, Lippe, Vithoulkas)

より詳細な情報が必要な場合は、弾丸をダブルクリックすると、完全なレメディー情報を得ることができます。

ルブリック: MIND; CHEERFULNESS.

レメディの略語: coff, レメディのグレード: 4.

ホメオパシーで規格されたレメディの名前: Coffea cruda.

分類法: 界 *Plantae*, サブキングダム *Viridiplantae*, インフラ王国 *Streptophyta*, スーパー部門 *Embryophyta*, 部門 *Tracheophyta*, サブ部門 *Spermatophytina*, 綱 *Magnoliopsida*, スーパーオーダー *Asteranae*, 目 *Gentianales*, 植物の家族 *Rubiaceae*, 属 *Coffea*, 種 *Coffea arabica*.

APGIIの分類: : angiosperms, eudicots, core eudicots, asterids, euasterids I, Gentianales, Rubiaceae.

関係のあるルブリックに存在する回数: 5, 平均グレード: 2.2.

ライブラリーのソース・コード.

Bönnighausen C M von *Systematisches alphabetisches Repertorium der antipsorischen und nicht-antipsorischen Arzneien with handwritten annotations*, 1833.

Gallavardin J P *Repertory of psychic medicines with Materia Medica*, 1897.

Hering C *Analytical Repertory of Symptoms of Mind*, 1881.

Hering C *Guiding Symptoms of our Materia Medica*, 1879.

Jahr G H G *Handbuch der Haupt-Anzeigen für die richtige Wahl der homöopathischen Heilmittel*, Herrmann Bethmann, 1851.

Jahr G H G *Systematisch-alphabetisches Repertorium der homöopathischen Arzneimittellehre*, Herrmann Bethman (Leipzig), 1848.

Knerr C B *Repertory of Hering's Guiding Symptoms*, 1896.

終了

結果エリアの上部にあるレメディ一名にマウスを合わせると、先に示した複数の結果の概要と同じように、より詳細な情報を見ることができます。また、ルビやレメディをクリックすると、ハイライト表示させることができます。

Demo case Andrew

分析 January 3, 2009, A simple analysis - using Symptoms

分析は4症状の中に15ルブリックを使用します。

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

	coff	nux-v	lach	chin	sulph	acon	calc	con	bell	sul-ac	bor	ars	sel	ign	phos	op	nat-m	agar	puls	ang	sep	lyc
▼ 523 Mental activity																						
16 Mind; Activity; night																						
1 Mind; Activity; midnight, until																						
83 Mind; Activity; hyperactive																						
488 Mind; Cheerfulness																						
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive																						
1 Mind; Theorizing; evening																						
2 Mind; Theorizing; night																						
▼ 84 Sensitive to noise																						
26 Mind; Noises; aversion to																						
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to																						
58 Sleep; Waking; noise, from																						
▼ 60 Sleeplessness																						
9 Mind; Activity; sleeplessness, with																						
51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by																						
5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after																						
▼ 192 Generalities																						
80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.																						
140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires																						

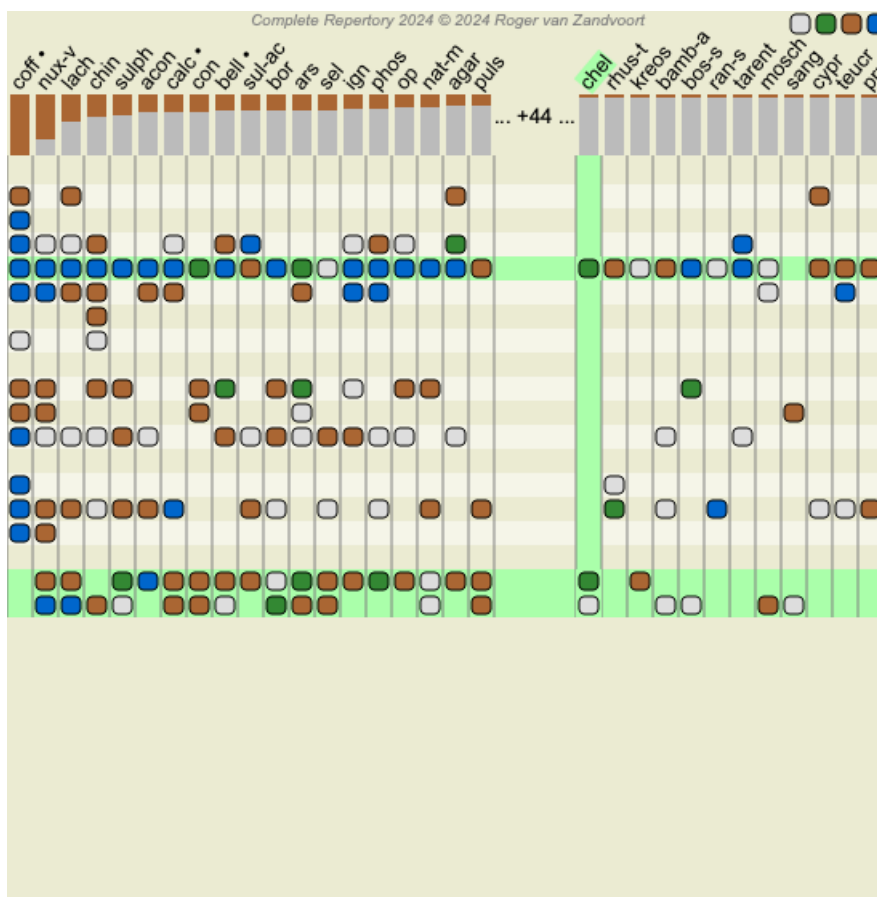
もちろん、ツールバーのボタン「BUTTON:analysisviewshownumbers」「BUTTON:analysisviewsortonrubrics」で数字を表示したり、ソート順を変更することも可能です。

解析結果の中から救済策を探す

分析結果の上位を見るだけでなく、その中で特定のレメディがどの位置にあるかを正確に知りたい場合もあります。

あとは、分析結果の下にある *Locate remedy* の欄にレメディの略称を入力するだけです。解析は必要に応じて再描画し、結果の一部をスキップして、お客様の救済策が表示されるようにします。お探しのレメディは、自動的にハイライト表示され、より見やすくなっています。

一般分析計算法	ルブリックが少数	レメディが少数	ベニングハウゼン
coff •	coff •	coff •	coff •
nux-v	bor	nux-v	nux-v
lach	sel	lach	lach
chin	chin	chin	calc •
sulph	kola	sulph	con
acon	nux-v	con	chin
calc •	sia-c	calc •	sulph
con	sul-ac	acon	puls
bell •	con	bor	ars
sul-ac	ang	bell •	bor
bor	op	ars	acon
ars	ign	ign	sel
sel	bamb-a	sul-ac	ang
ign	tax	sel	ign
phos	lach	nat-m	sul-ac
op	ars	phos	bell •
nat-m	ant-c	op	op
agar	mez	puls	nat-m
puls	canth	lyc	mez
ang	apis	agar	bry
sep	cham	ang	lyc
... +42 +30 +48 +32 ...
chel	chel	chel	chel
rhus-t	cygn-c	cypr	ferr
kreos	aur	teucr	cham
bamb-a	calc •	kali-bi	cocc
bos-s	hyos	prun	leon
ran-s	cocc	tarent	cur
tarent	ven-m	onc-t	kreos
mosch	onc-t	agav-t	am •
sang	sang	leon	aur-s
cypr	caps	nat-p	tritic-v
teucr	crat	brom	staph
prun	am-c	crat	bos-s
kali-bi	ruta	cygn-c	onc-t



レメディの検索の欄にレメディを入力する代わりに、結果グラフをクリックしてそこに入力することもできます。
この状態でEscapeキーを押すと、選択した内容がクリアされます。

解析結果のフィルタリング

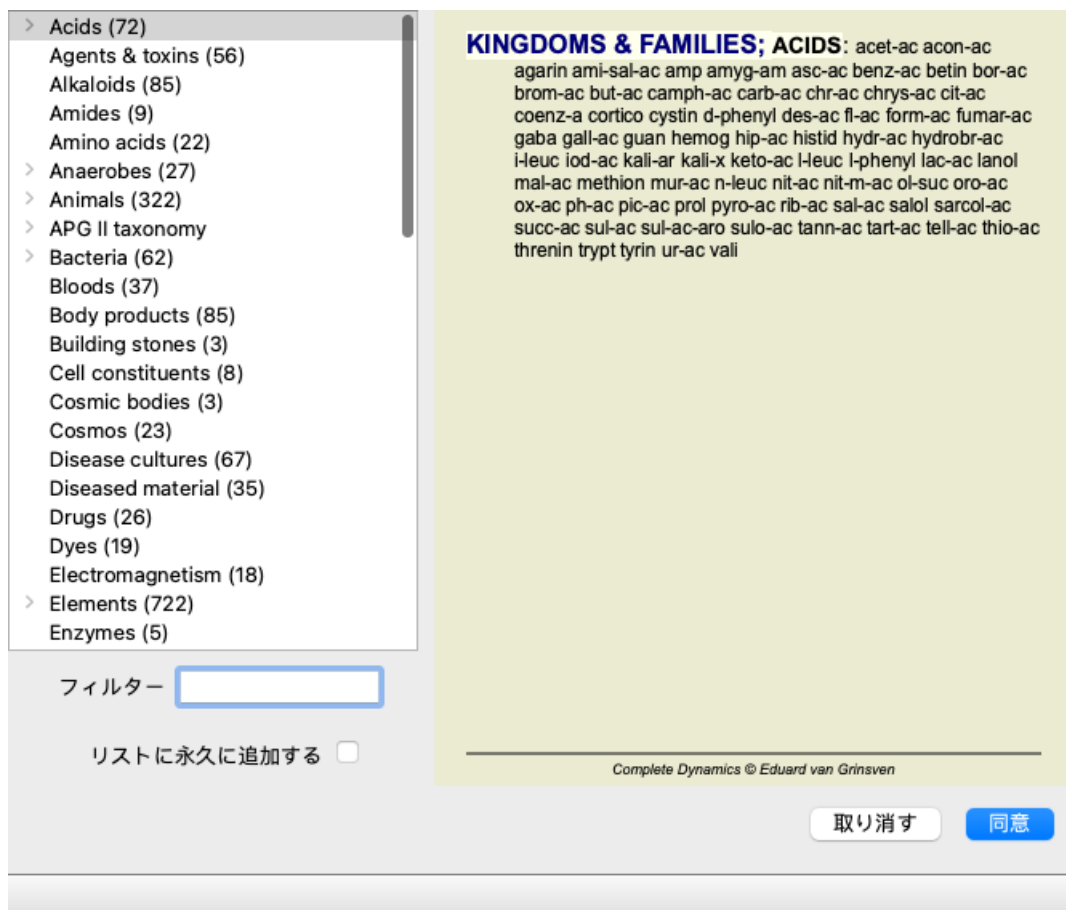
レメディーフアミリーで結果を絞り込む

通常、解析結果にはすべてのレメディーが表示されます。

レメディの検索結果を、特定の王国、ファミリー、その他のグループに属するレメディのみに制限することができます。そのためには、ツールバーのドロップダウンリストから選択するだけです。



よく使われるグループ（鉱物、植物、動物、ノゾーデ）があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプション**その他...**を選択すると、ダイアログが表示され、キングダム＆ファミリーセクションにあるグループの中から1つを選択することができます。



オプション**Permanently add to list** をチェックすると、選択したグループがリスト内の標準グループに恒久的に追加されます。次にプログラムを起動したときにも、そのグループはリストに残っています。後で削除したい場合は、**Other...** オプションで同じグループを再度選択し、オプションの選択を解除してください。

アドバンストピックス

分析の微調整

解析の作成と結果の解釈の基本を学んだところで、次は、患者さんの情報の解釈に従って解析を微調整するための上級者向けのトピックを紹介します。

取り上げるトピックは

- 重りを使うこと。
- 症状のバランスをとる。
- 極ルビとコントラ表示。
- ルーブリックグループ
- ルーブリックの概要
- レメディーフファミリーで結果を絞り込む。

選択された複数の行に対して、一度に多くのアクションを実行することができます。

ウェイトの使用

すべての症状とルーブリックに、所定のウェイトを割り当てることができる。患者さんの症状に一定の重要性を持たせるよ

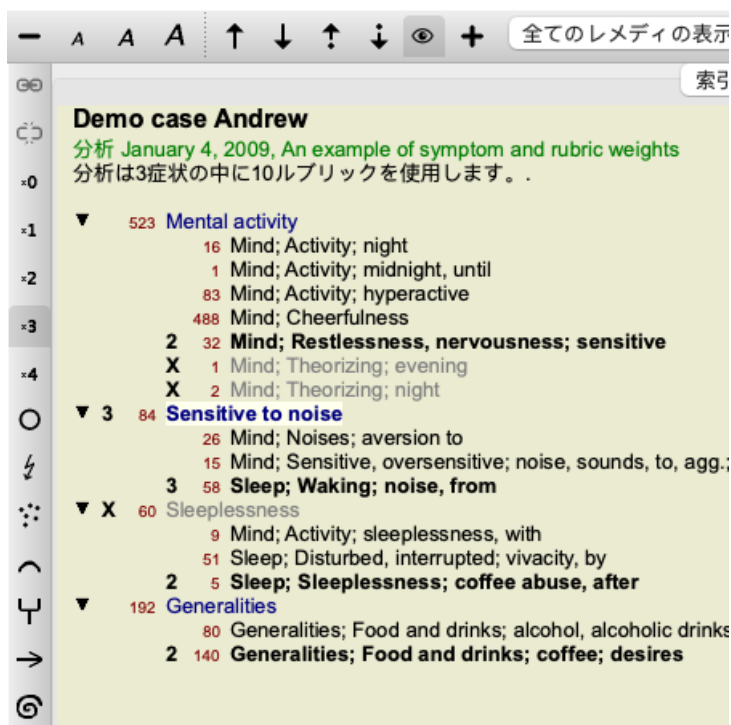
うに、あるいはレパートリーのレメディに異なるグレードが発生するように、症状やループリックにもそれぞれ一定の重要性を持たせることができるのです。

高い値を設定することで、その症状やループリックが分析結果においてより重要視されるようになる。
また、重みを0にすることで、その症状やループリックを分析から完全に除外することができる。

重みを設定するには、まず、症状やループリックをマウスでクリックして選択します。
さて、重量の設定にはいくつかの方法があります。

- キー0 (メニューオプション **症例 / 重み / 計算外**, ツールバーボタン **x0**).
- キー1 (メニューオプション **症例 / 重み / 普通**, ツールバーボタン **x1**).
- キー2 (メニューオプション **症例 / 重み / 重みx 2**, ツールバーボタン **x2**).
- キー3 (メニューオプション **症例 / 重み / 重みx 3**, ツールバーボタン **x3**).
- キー4 (メニューオプション **症例 / 重み / 重みx 4**, ツールバーボタン **x4**).

次の例は、重みが設定されている解析です（あくまでデモンストレーションです）。



左側にツールバーのボタンが表示されていますね。ツールバーのボタンには、選択した症状やループリックの実際の重量が常に表示されます。

症状やループリックの前のXは、重み付けが0であることを示し、分析から除外される。

症状のバランスをとる

Balancing of Symptomsは、1つのSymptomに含まれるRubricの数が多いか少ないかを補正する、高度な解析メカニズムである。balancingがオンになっている場合（通常はオンになっています）、分析を妨げることなく、症状の下に好きなだけループリックを配置することができます。

従来の分析では、ある症状を表現するために多くのループリックを使用すると、その一つの症状に合致するレメディが分析を支配するようになるため、分析するループリックを慎重に選択する必要がありました。同様に、1つのループリックのみを使用した場合、他の症状に使用したループリックと比較して、そのループリックのレメディは全体の分析に十分に貢献しない。

症状のバランス調整」をオンにすると、すべての症状は、その下に1つのループリックを置いた場合でも、たとえば10個のループリックを置いた場合でも、それに割り当てられた重み（重みの使用を参照）でカウントされるようになります。

バランス調整のオン・オフは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタン **平衡化** (メニューオプション **分析 / 症状の平衡化**, ツールバーボタン **平衡化**)で行います。

一例を見てみましょう。以下の分析では、頭の痛みを表現するために多くのルビを振っています。balancingを使用しない場合、*Glonoinum* が結果を支配し、balancing *Natrum Muriaticum* がより顕著になります。

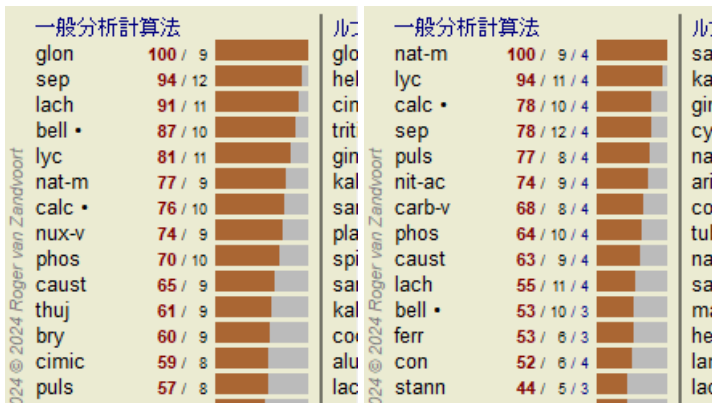
Demo case Andrew

分析 February 1, 2009, Symptoms with many or few rubrics.
分析は4症状の中に13ルブリックを使用します。

- ▼ 954 Head pains
 - 14 Head; Pain, headache; morning; agg.; six am.
 - 160 Head; Pain, headache; extending to; backward
 - 189 Head; Pain, headache; extending to; occiput
 - 110 Head; Pain, headache; extending to; temples
 - 119 Head; Pain, headache; extending to; upward
 - 944 Head; Pain, headache; forehead
 - 58 Head; Pain, headache; forehead; air; open; agg.
 - 48 Head; Pain, headache; forehead; eyes; above; morning
 - 14 Head; Pain, headache; bursting; menses; during
- ▼ 84 Sadness
 - 84 Mind; Sadness, depression; menses; before
- ▼ 163 Menses
 - 127 Female; Menses; pale, watery
 - 105 Female; Menses; thin, liquid
- ▼ 176 Aversions and desires
 - 176 Generalities; Food and drinks; salt or salty food; desires

解析結果。

No バランス調整



バランス調整付き

注: バランシング症状は基本解析に影響しません シンプルカウンティング。

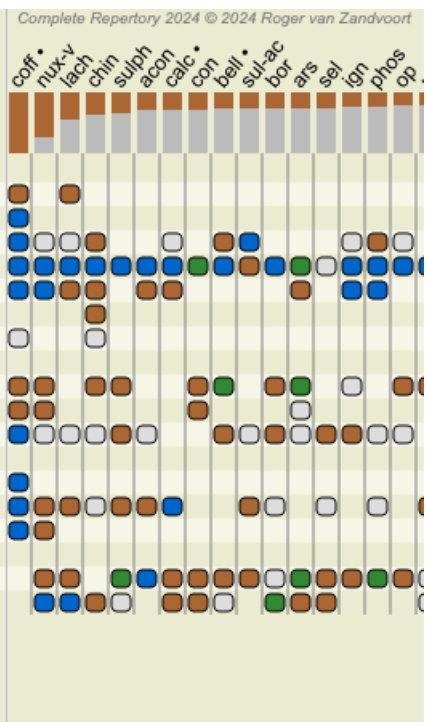
ポーラ・ループブリックとコントラ・インジケータ

極ルビとは、反対の意味を持つ2つのルビのことです。
例えば、簡単な例として、最初にレメデイ *coff* が処方された場合を考えてみよう。

Demo case Andrew

分析 January 3, 2009, A simple analysis - using Symptoms
分析は4症状の中に15ルブリックを使用します。

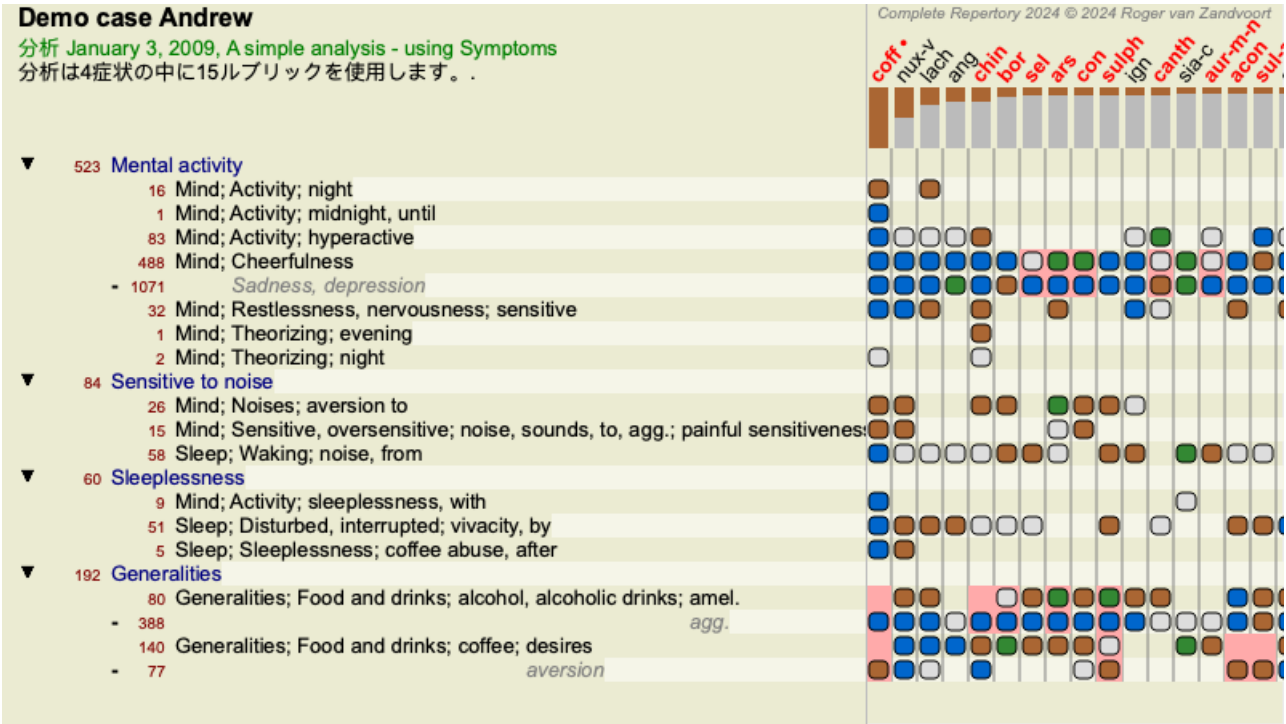
- ▼ 523 Mental activity
 - 16 Mind; Activity; night
 - 1 Mind; Activity; midnight, until
 - 83 Mind; Activity; hyperactive
 - 488 Mind; Cheerfulness
 - 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
 - 1 Mind; Theorizing; evening
 - 2 Mind; Theorizing; night
- ▼ 84 Sensitive to noise
 - 26 Mind; Noises; aversion to
 - 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
 - 58 Sleep; Waking; noise, from
- ▼ 60 Sleeplessness
 - 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
 - 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
 - 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
- ▼ 192 Generalities
 - 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
 - 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires



Generalities の下には、2つのループブリックがあり、いずれも極性ループブリックであることがわかります。

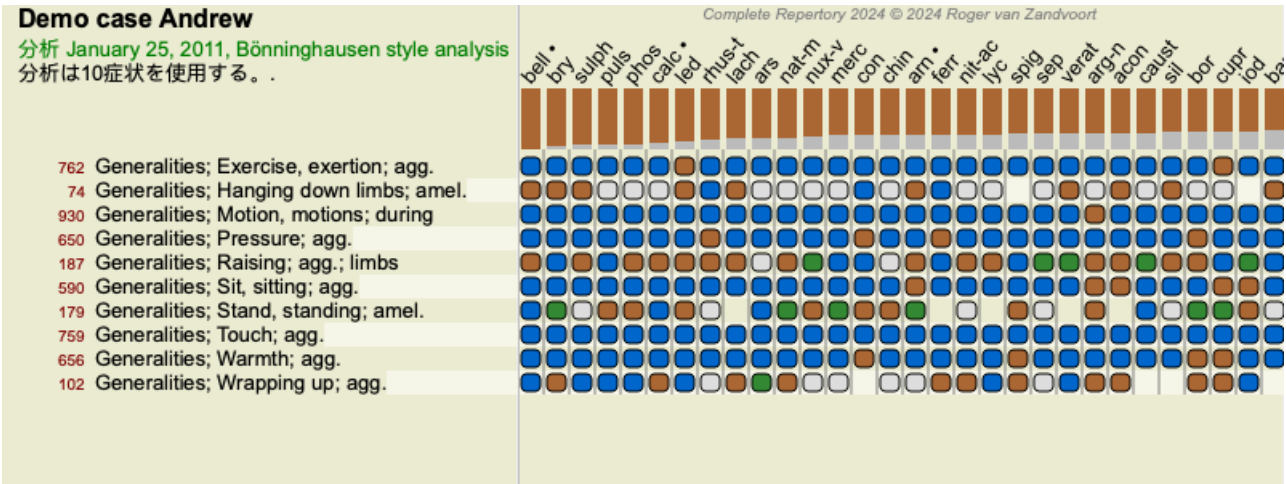
-amel -agg.
-desires - aversion.

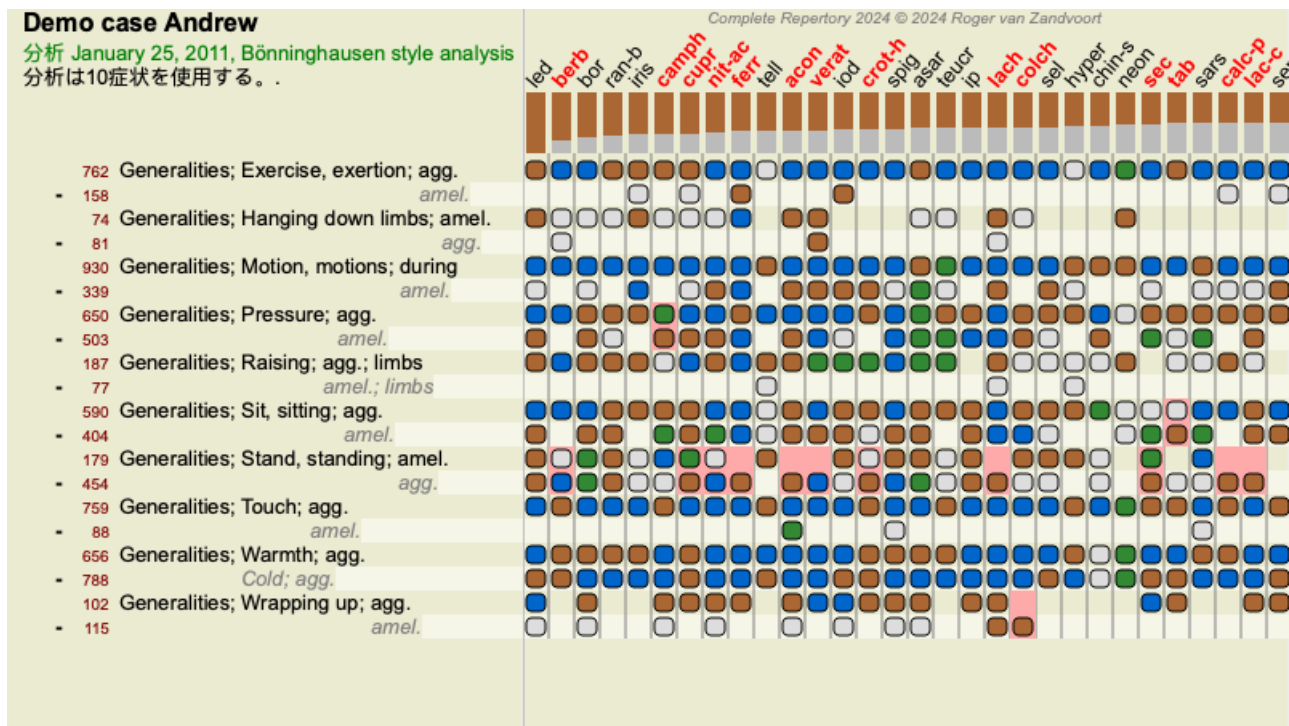
この極ループリックは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタン↔を押すことで分析に利用することができます。(メニューオプション分析/極性ルブリック, ツールバーボタン↔).
amel とdesires の両方のループリックの下に、その極ループリックが表示されるようになりました。
また、レメデイの値を極ルビの値で補正するようになったため、解析結果も変化しています。



レメデイ coff は、この分析ではコントラ表示であるため、赤色で表示されるようになりました。
コントラ表示とは、あるループリックでは低評価（1、2、または全く評価されない）で、極ループリックでは高評価（3、4）で救済措置が発生する状況を指す。

より複雑な例は、次のBönninghausen様式の分析で示される。





ループリックグループ

ループリックのグループ化は、2つ以上のループリックをあたかも1つのループリックであるかのようにカウントしたい場合に行います。

ループリックのグループ分けには、2つの方法があります。

- クロスする。ALLループリックに出現するレメディーだけを使用する。
- 組み合わせる。どのループリックからもレメディーが使用される。

グループ化の例

ループリックの掛け合わせは、患者の症状を正確に表現するループリックがレパートリーになく、より一般的なループリックしかない場合に有効である。

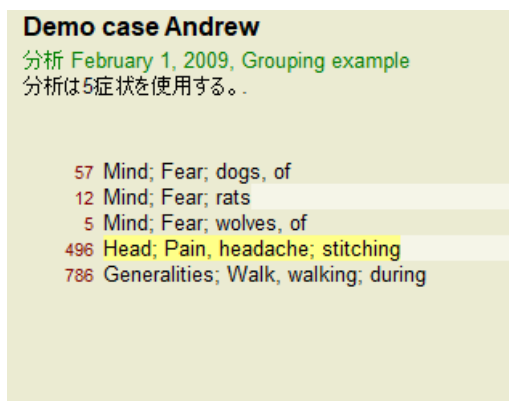
例えば、発熱時に「朝、ベッドにいるのが不安だ」と患者さんが言ったとします。レパートリーにはループリックがない心; 不安; 朝; ベッドで; 熱; 中。しかし、この代わりに、さらに2つの一般的なルビがあるMind; anxiety; morning; bed, inとMind; anxiety; fever heat; during。この2つのループリックを掛け合わせることで、両方のループリックで発生する改善点のみを含む新しいグループ化されたループリックが作成されます。



ループリックを組み合わせることで、正確には見つからないが、より具体的な症状の下に見つかるような症状がある場合に有効である。

例えば、ピザを食べたいという欲求。なぜ、患者さんはピザが好きなのでしょう? 多分、生地 (ファリナスティックフード)、トマト、サラミ、アンチョビ、チーズ、オリーブなどでしょう。患者の主訴と比較して、あまり重要でない特定のループリックをたくさん追加して分析式を乱すことなく、そのような特定のループリックをいくつか組み合わせて新しいループリックにすることは有用である。

ループリックグループの作成

一例として、歩行中に頭が縫うように痛み、数種類の動物が怖いという症例があります。



頭の痛みを表現する2つのルビを一緒に交差させたいと思います。ループリックHead; pain; stitching をクリックして選択し、ツールバーボタン  を押してください。(メニューオプション症例/ ループリック・グループ/ 他のループリックとグループにまとめる, ツールバーボタン , ポップアップメニューオプションループリック・グループ/ 他のループリックとグループに

まとめる)。

ダイアログが表示され、選択したルブリックと連携できるルブリックを選択することができます。

上部で、オプションクロスを選択します。ルブリック *Generalities; walk, walking; during* を選択し、OKボタンを押す。

集計方法 ☒ クロス集計 (全てのルブリックに入ったレメディのみを計算に入れる)
☐ 組み合わせ集計 (一つ以上のルブリックに該当するレメディのすべて)

ラベル

以下を選択して、ルブリックをグループに追加

ルブリック

Mind; Fear; dogs, of
Mind; Fear; rats
Mind; Fear; wolves, of
Head; Pain, headache; stitching
Generalities; Walk, walking; during

取り消す 同意

2つ目のグループには、別の方法を用います。 *Mind; fear* の3つのルビを選択し、もう一度⁹⁹を押してください。

Demo case Andrew
分析 February 1, 2009, Grouping example
分析は4症状を使用する。

57 Mind; Fear; dogs, of
12 Mind; Fear; rats
5 Mind; Fear; wolves, of
▼ 408 クロス (レメディが少なくなる集計)
496 Head; Pain, headache; stitching
786 Generalities; Walk, walking; during

ここで、オプション *Combine* を選択し、OKボタンを押します。

集計方法 ☐ クロス集計 (全てのルブリックに入ったレメディのみを計算に入れる)
☒ 組み合わせ集計 (一つ以上のルブリックに該当するレメディのすべて)

ラベル

以下を選択して、ルブリックをグループに追加

ルブリック

Mind; Fear; dogs, of
Mind; Fear; rats
Mind; Fear; wolves, of

取り消す 同意






その結果、ルブリックリストは今、こうなった。

Demo case Andrew

分析 February 1, 2009, Grouping example

分析は2症状を使用する。

- ▼ 66 組み合わせ (レメディが増える集計)
 - 57 Mind; Fear; dogs, of
 - 12 Mind; Fear; rats
 - 5 Mind; Fear; wolves, of
- ▼ 408 クロス (レメディが少なくなる集計)
 - 496 Head; Pain, headache; stitching
 - 786 Generalities; Walk, walking; during

グループを変更するには、グループのメインルブリックをクリックし、を押すだけです。ダイアログで、ルブリックのオン・オフを切り替えることができます。また、ルブリックをクリックしてを押すと、グループからルブリックを削除することができます。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除). グループを完全に削除するには、グループのメインルブリックをクリックし、を押してください。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/ルブリック・グループの削除).

上図のように、ダイアログでルブリックを選択することなく、素早くグループを作成できるメニューが2つ用意されています。

最初に2つ以上のルブリックを選択し、それらを結合することができます。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/選択したルブリックを組み合わせる, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/選択したルブリックを組み合わせる).

最初に2つ以上のルブリックを選択し、それらをクロスさせることができます。(メニューオプション症例/ルブリック・グループ/選択したルブリックをクロス, ポップアップメニューオプションルブリック・グループ/選択したルブリックをクロス).

ルブリックグループは分析にどのように使用されるか

複数のルブリックを横断する場合、そのグループにはすべてで発生するレメディーだけが含まれます。救済措置の評点は、すべてのルブリックにおいて、最低のの評点とします。

[/TAG_ERROR] 複数のルブリックを組み合わせる場合、グループ内のルブリックのうちいずれかで発生する救済措置がグループに含まれる。[/TAG_ERROR] 救済措置の評点は、グループ内のどのルブリックでも、その救済措置について見つかったの最高評点とします。

ルブリックの概要

ある分析に含まれるすべてのルブリックの概要とその対処法を知ることができると便利な場合があります。また、グループ化されたルブリックの場合、結果的にどのレメディーが出現するかを確認するのもよいでしょう。

すべてのルブリックの概要を知るには、「ルブリックの概要を表示」を選択するだけです。(メニューオプション症例/ルブリックの概観, control-V, ポップアップメニューオプションその他/ルブリックの概観).

Find モジュールが開き、以下のように表示されます。

COMBINED RUBRICS: MIND; FEAR; DOGS, OF / MIND; FEAR; RATS / MIND; FEAR; WOLVES,

OF: absin acon agar **Alum** amph androc arm astac **BAC BELL BOS-S BUFO CALC** calc-ar carc **CAUST** cer chel **CHIN** choc **CIMIC Con** cupr-acet dor dpt dysp-n **Hydrog HYOS** insul **LAC-C** lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c **Manc** mand med **NAT-M** nat-p nit-ac op ory-c phos **Plac** plat **PLUT-N** polyst pras-c **PULS Sanic Scirr SCORP** sep sil sol-t **STRAM** sulph syc-co tax **TUB** tub-k verat **Xan**

MIND; FEAR; dogs, of: agar **Alum** amph androc astac **BAC BELL BUFO CALC** carc **CAUST** cer chel **CHIN** choc **Con** cupr-acet dor dpt dysp-n **Hydrog HYOS** insul **LAC-C** lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c **Manc** mand med **NAT-M** nat-p nit-ac ory-c phos plat **PLUT-N** polyst pras-c **PULS Sanic Scirr SCORP** sil sol-t **STRAM** sulph syc-co tax **TUB** tub-k verat **Xan**

MIND; FEAR; rats: absin acon arm bell **BOS-S CALC** calc-ar **CIMIC** op phos **Plac** sep

MIND; FEAR; wolves, of: amph bell cer chel dor

CROSSED RUBRICS: HEAD; PAIN, HEADACHE; STITCHING / GENERALITIES; WALK,

WALKING; DURING: acan-p **ACON** act-sp adam **AESC AETH AGAR AGN** aids alch-v **ALL-C** allox **ALOE ALUM ALUM-P ALUM-SIL ALUMN AM-C AM-M AMBR** ammc **ANAC** anag **ANATH ANG ANT-C ANT-T APIS** apoc aq-des **ARAN ARG ARG-N ARN ARS ARS-I** ars-met ars-s-f **Ars-s-r** arum-t **ASAF Asar** asc-t astac aster **ATRO AUR** aur-ar aur-i **AUR-M-N** aur-s bacch-a **Bad BAMB-A** bapt **Bar-acet BAR-C** bar-i bar-m bar-s **BELL** bell-p **BERB** biti-g blatta **BOR** bos-s both-a **BOV BROM Bros-g** bruc **BRY BUFO** bux cadm-s cahin **Calad CALC Calc-acet** calc-ar calc-caust calc-f calc-i **CALC-P CALC-S** calc-sil calen **CAMPH CANN-I** cann-s **CANTH CAPS** caras carb-ac **CARB-AN CARB-V** carbn-o **CARBN-S CARC** card-b carl **Cassi-s** cast caul **CAUST** cedr cere-b **CHAM CHEL CHIN** chin-ar **Chin-s** choc **CIC CIMIC CINA** cinnb cist **CLEM** cob **COC-C COCC** coff **COLCH COLOC** colocin com **CON** cop com **CROC** crot-c **CROT-H Croto-t Cund CUPR** cupr-ar cupr-s **CUR Curc CYCL Cyt-I** daph der **DIG Dios** diox dirx **DROS DULC** echi-a **ELAPS** emer epip equis ery-a eug euon eup-per **EUPH EUPHR** eupi **Fago** falco-p **FERR Ferr-acet** ferr-ar **FERR-I FERR-P** fic-i fic-m **Fl-ac Flor-p** form galeoc-c gall **Gamb GELS** gent-c gink gins **GLON Gran GRAPH GRAT GUAI** harp **HELL Helo** helod-c hema-h **HEP** her-s hipp hom hydr **Hydr-ac HYOS** hyosin hyper **IGN** ind indg insul inul **IOD** iodof **IP** irid-m iris jatr **JUG-C** kali-ar **KALI-BI KALI-C** kali-chl kali-cy **KALI-I KALI-N KALI-P** kali-s kali-sil **KALM Kola KREOS** kurch **LAC-C** lac-h lac-m **LACH** lachn **LACT Lam** lap-laz lappa **Laur** lec **LED LIL-T** lipp **Lith-c Lob** lob-c lol loxo-t **LYC** lycpr **LYSS M-ARCT M-art M-AUST MAG-C MAG-M MAG-P** mag-s magn-gr **MANC MANG Mang-acet** mell-a menth **MENY MERC MERC-C** merc-i-f merc-s **MERL** methyl-p-h **MEZ Mill Mim-p** morpho-m **Mosch MUR-AC** naja naja-m nat-ar **NAT-C** nat-glt nat-hchl **NAT-M NAT-P NAT-S** nat-sil nept-m **NICC NIT-AC** nit-m-ac nuph **NUX-M NUX-V Ol-an** ol-j olea **Olnd** onc-t **Op OZON** paeon **Par** paraf paul-p perl **PETR PH-AC Phel PHOS** phyl-a phys phyt **PIC-AC** pier-b **Pimp Pip-m** pitu-a plan **PLAT PLB Plb-acet** plect pras-s **PRUN PSOR PTEL PULS** pyrog pyrus-c rad-br **RAN-B RAN-S** raph **Rat** rheum **RHOD RHUS-T** ros-d **RUTA SABAD SABIN** sac-l sal-ac **Samb SANG SANIC SARS** scan sec **SEL** senec **Seneg SEP SIL** sol-n **SPIG SPONG SQUIL STANN STAPH** stel still **STRAM STRONT-C STRY SUL-AC** sul-i **SULPH Syph TAB TARAX TARENT-C Tax** teg-a tell telo-s **Ter Teucr THER THUJ Til Tong** toxop-p **Tritic-v Trom TUB** tung upa **URAN** vac **VALER VERAT VERB** vesp vib vinc **Vince** viol-o **VIOL-T** vip visc with-s **X-ray ZINC** zinc-acet zinc-p **Zing** ziz

HEAD; PAIN, headache; stitching: **ACAN-P** acher-a **ACON** acon-ac act-sp adam aego-p **AESC AETH AGAR** agath-a **AGN AIDS** alch-v **Alco ALL-C** allox **ALOE ALUM ALUM-P ALUM-SIL ALUMN AM-C AM-M AMBR** amet ammc **ANAC Anac-oc** anag **ANATH** ander andri-q androg-p **ANG ANT-C ANT-O ANT-T** aphis **APIS** apoc aq-des **ARAN ARAN-IX ARG ARG-N Argo**

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort



分類

症状別分類の紹介

Samuel Hahnemann'Organon andChronic Diseases を見ると、ハーネマンは患者の現在あるいは過去の状況に見られるすべての症状に基づいてレメディーを選択したのではないことがわかる。彼は、患者さんの症状を丁寧に分類し、その分類に基づいた治療を行いました。

ハーネマンの分類はもちろん、ユーザー定義のA、B、C、D、Eグループも用意されており、自由に使うことができます。

画面左側のツールバーで利用できる分類のオプション。

シンボル マーク	名称	意味
○	プソラ	コアの乱れ。 オルガノン第6版§80 (psoric miasma)。
⚡	インシデント	患者さんの身の回りで起こったこと、患者さんに影響を与えたこと。 急性疾患です。 オルガノン§72 (有害な影響)。
❖	エピデミック	外部から感染する病気； インフルエンザ、レジオネラ菌、SARS、はしか、おたふく かぜなど。(中間感染症)。 オルガノン§73 (流行性疾患)。
↪	アキュートミ ズム	病気は内側から来るもので、多くの場合、外から来る事件や刺激が引き金となる。 不満は深刻です。 オルガノン§73 (潜在的なプソラの一過性の爆発)。
👤	遺伝的傾向	先祖代々続いてきた病気で、遺伝的に患者さんに受け継がれるもの。
💊	医原性	薬の使用状況や予防接種の状況。 オルガノン』第74巻。
🌀	サイコシス	淋病に感染したこと。 オルガノン』第79条 (sycotic miasma)。
☒	梅毒	梅毒に感染したこと。 オルガノン§79 (梅毒の瘰癧)。
👤	ユーザーA	ご自由にお使いください。

B	ユーザーB	ご自由にお使いください。
C	ユーザーC	ご自由にお使いください。
D	ユーザーD	ご自由にお使いください。
E	ユーザーE	ご自由にお使いください。

この分類は、「症状」のレベル、または個々のRubricsに適用することができます。症状に分類を設定すると、その設定は「症状」内のすべてのループリックに適用されます。これにより、ループリックに適用されていた設定は使用されなくなります。

デモ事例簡単な分類例 もご覧ください。

レメディーフィルターと分類

症状やループリックの分類を分析に使用した場合、各分析の救済措置は自動的にフィルタリングされます。このフィルタリングは、ハーネマンの著作にある情報に基づいて行われています。

Psora の場合、レメディーは、すべてのミネラルとノゾーズ、それに *Lach*, *Lyc*, *Sep* を加えるが、*Merc* は除く。
Incident, Acute Miasmatic, Epidemic の場合、レメディーは：すべての植物と動物、それに *Merc*, *Ars*, *Ant-c*.
Iatrogenic の場合、レメディーはループリック *Intoxication after medicaments*、および *Ailments from vaccination* にあるものである。
受け継がれた傾向の場合、レメディーは：すべてのノゾーズです。
その他のグループについては、すべてのレメディーを表示しています。

クリップボード

A-B-C-D-Eのクラスは、クリップボードとしても使用可能です。これらをSymptomsや個々のRubricsに割り当てることで、分析結果に対して異なる見方をすることが非常に容易になります。

詳細はこちら

上記の分類に関する情報は限られています。
ハーネマンの分類の使用に関する優れた情報は、ウェブサイト <http://www.ewaldstoteler.com> で見るすることができます。

マルチビュー

これで、解析の作り方がわかりましたね。また、このケースはこういう症状だという解釈で、分析を微調整する方法も知っていますね。
症状やループリックに重みをつけている場合があります。分類を割り当てている場合があります。使用するループリックの救済措置の重要度を量るための分析式を選択しました。そして、もしかしたら、与えられたレメディー王国で結果をフィルタリングしているかもしれません。

これらの設定はすべて、あなたの解釈に基づいて、最適な解析結果を得るためのものです。
しかし、それは患者さんの症状に対するあなたの解釈、あなたの見方です。これらの症状は不変のものであり、あなたが収集した観察された事実です。どのような意見を持っても、観測された症状こそが現実なのです。(Organon §18)

しかし、同じ症状でも、別の視点から、別の見方で、解釈してみることも考えてみてはいかがでしょうか。もちろん、解析の設定をすべて変えて、様子を見ることもできます。しかし、そうすると元の分析結果が変わってしまい、再び見るためには、変更した設定をすべて元に戻さなければなりません。

解析の設定を変更しても、元の設定が失われないようにするために、Multiple Viewsを作成しました。

アナリシスビューとは?

分析ビューは、分析に適用できるすべての設定の総称です。

重量	×0 ×1 ×2 ×3 ×4
分類	○ ♀ ∴ ∩ ∪ → ⊗ × A B C D E
バランス症状	⊕
コレクトポラー	↔
解析式	例えば "Small Remedies".
レメディーフィルター	例えば、"植物"

複数のビューを作成し、それぞれ独自の設定コレクションを持つことができます。
例として、デモケース アンドリユー、分析マルチビュー をご覧ください。

ビューの作成

メニューやツールバーから、新しいビューを作成することができます。(メニューオプション分析/表示/新しいビューを追加する, ツールバーボタン+, ポップアップメニューオプション表示/新しいビューを追加する).

新しいビューは、元のビューのコピーで、まったく同じ設定になっています。新しいビューの設定に加えた変更は、そのビューにのみ適用されます。他のビューはすべて元のままです。
必要であれば、新しいビューにオプションで名前を付けることができます。

すべてのビューで、まったく同じ症状とループリックのコレクションを使用していることに注意してください。患者さんの状況は同じで、見方によって違うのは自分の解釈です。

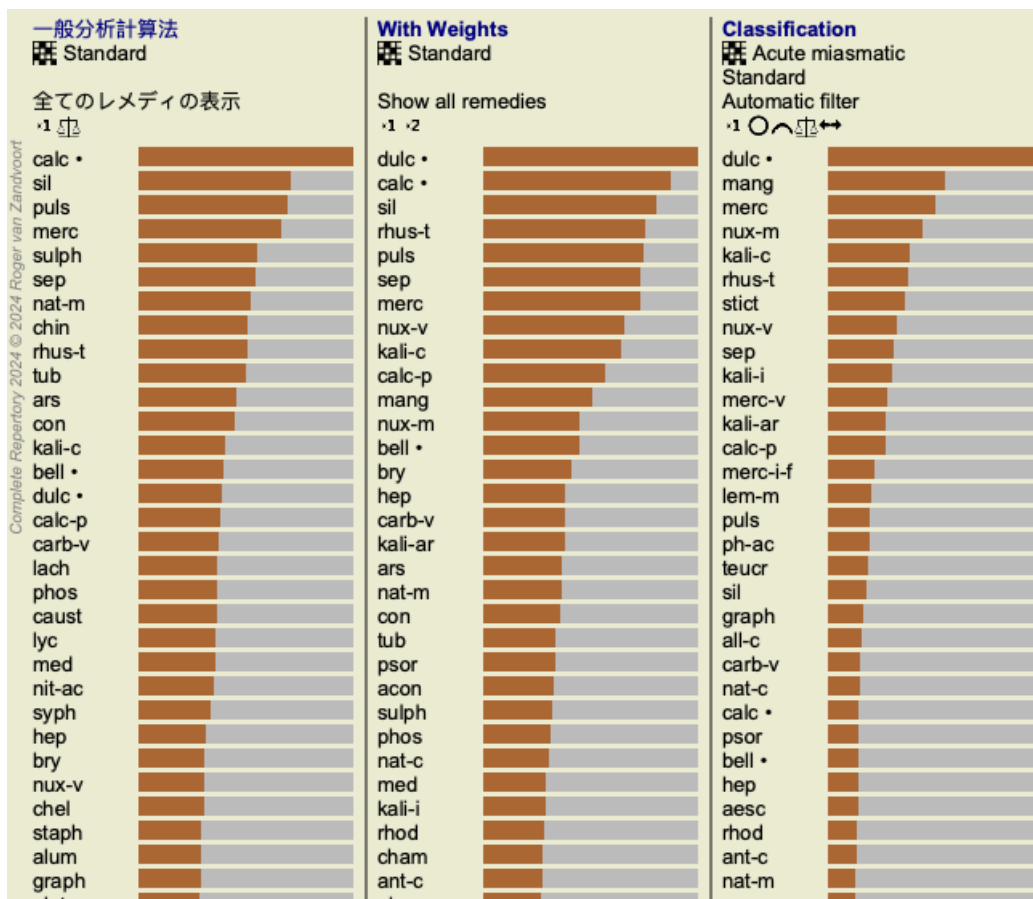
メニューから簡単に表示を切り替えることができます。(メニューオプション分析/表示/Standard, ツールバーボタン🔍, ポップアップメニューオプション表示/Standard).
また、ツールバーでビューを選択することもできます。

選択したビューが不要になった場合は、削除することができます。(メニューオプション分析/表示/現在のビューを削除する, ポップアップメニューオプション表示/現在のビューを削除する).
ビューに付けた名前はいつでも変更可能です。(メニューオプション分析/表示/現在のビューの名前を変更, ポップアップメニューオプション表示/現在のビューの名前を変更).
また、メニューやツールバーに表示されるビューの順序を変更することもできます。(メニューオプション分析/表示/現在のビューを左に移動します, ポップアップメニューオプション表示/現在のビューを左に移動します).

各ビューの解析結果を見える

画面右側の解析結果エリアには、選択したビューの解析結果が表示されます。他のビューに切り替えると、そのビューの結果に変更されます。

また、すべてのビュー結果を同時に見ることができます。(メニューオプション分析/マルチビュー, ツールバーボタン🔍).
このように表示されます。



解析のリスト概要と似ていますが、1つのビューに1つの結果リストを表示します。
上部に、各ビューで使用されている設定の概要が表示されます。

- 表の出力スタイルに選択された分析。
- 分類を用いた分析の場合、使用する分析式。
- 使用するレメディフィルターです。
- 有効な各解析設定に対応した小画像を表示します。

ベニングハウゼン

Bönninghausen解析に関するいくつかの情報

ボーニングハウゼン分析法は、他のレパートリーを使うのではなく、他の分析法と同様にComplete Repertory を使って作業します。古いBönninghausesのレパートリーにあるすべてのループリックは、Complete Repertory に存在します。ベンニングハウゼンの分析システムは、患者さんの症状が必要なときに使う方法論で、特定の種類のレパートリーとは関係なく、どのレパートリーにもある一般化されたループリックに関係するものなのです。

その違いは、計算の仕方にあります。

あるレメデイがあるループリックでどのように表現されているかを見るだけでなく、レパートリーの他の部分にある関連ループリックでの表現に重きを置いています。

計算はこのように行います。

- ループリックに表示されている救済措置の評点は無視する。
- 代わりに、関連するループリックでの救済措置の発生から算出される救済措置評点を使用する。
- レメデイが、異なるレパートリーセクションの、より関連性の高いループリック（心、頭、一般性など）に出現する場合、より重要視する。
- 極ルビでの発生を修正する（amel.-agg.やdesire-aversionなど）。

ベンニングハウゼン分析スタイルでは、一般的に、より一般的で大きなループリックを使用することになります。特定のループリックと一般的なループリックを混在させることは、一般的に有用ではありません。

解析テンプレート

新しい分析を作成した場合、SymptomsやRubricsは含まれません。

しかし、多くの場面で、似たようなケースに似たような症状を使うことが多いのではないのでしょうか。

これを容易にするために、分析テンプレートを作成することができます。解析テンプレートは、新しい解析の出発点であり、すでにいくつかの定義済みの要素を含んでいます。これらは、よく使われるレパートリー・ループリックと同様に、Symptomsとすることができます。

テンプレートからの解析の作成

新しい分析を作成するには、まず新しいケースを作成するか、すでに存在するケースを開く必要があります。ケースファイルの作成およびケースファイルのオープンを参照してください。

テンプレートから新しい分析を作成します。（メニューオプション**症例 / テンプレートに基づいて, control-T**）。ダイアログが表示され、テンプレートを選択することができます。

分析法を以下からの選択

分析法を創作や修正は『その他』でできます。

Blank

Classification

Clipboards

Generic analysis

A collection of generally used symptoms.

分析のテンプレート

Generic analysis

Mental and emotional

Sleep and dreams

Physical symptoms

General

X Unused, but considered, rubrics

取り消す

同意

テンプレートを選択すると、画面下半分にその内容の例が表示されます。

独自の分析テンプレート作成

テンプレートの作成はとても簡単です。

すべてのテンプレートは、*Analysis templates* という特殊なケースファイルに格納されています。ケースグループ *Other* にあり、*Demo case - Andrew case file* と共にご覧いただけます。

このケースファイルでは、他のケースファイルで通常の分析を作成するのと同じように、新しい分析を作成することができます。この分析に加えたメモが、テンプレートの説明文として使われます。*Analysis templates* のケースファイルを開くだけで、その仕組みがすぐにわかりますよ。

ケースファイルのどこかにすでに分析があり、それを新しいテンプレートとして使用したい場合は、その分析を複製してから、*Analysis templates* ケースファイルに転送するだけです。(メニューオプション *症例 / 分析を複製する*, *control-D*, メニューオプション *症例 / 分析を症例に移す*).

テンプレートを他の人と共有する

分析テンプレートは、他の分析結果を共有するのと同じように、同僚と共有することができます。詳しくは、「[ケース共有](#)」をご覧ください。

書き出したファイルは、インターネット上でも簡単に共有することができます。

分析品質

良い分析をする技術

患者さんの症状を的確に分析することは芸術であり、その熟練度は明らかではありません。学校によって指導方法は異なります。個々の教師は、それぞれのスタイルや理論を推進しています。そして、良い分析は患者ごとに異なります。分析品質ツールは、一般的なエラーを防止し、成功の可能性を高めるお手伝いをします。

品質指標

Analysisモジュールのページ上部に、小さな色のボタンがあります。色は分析の質を示しています。

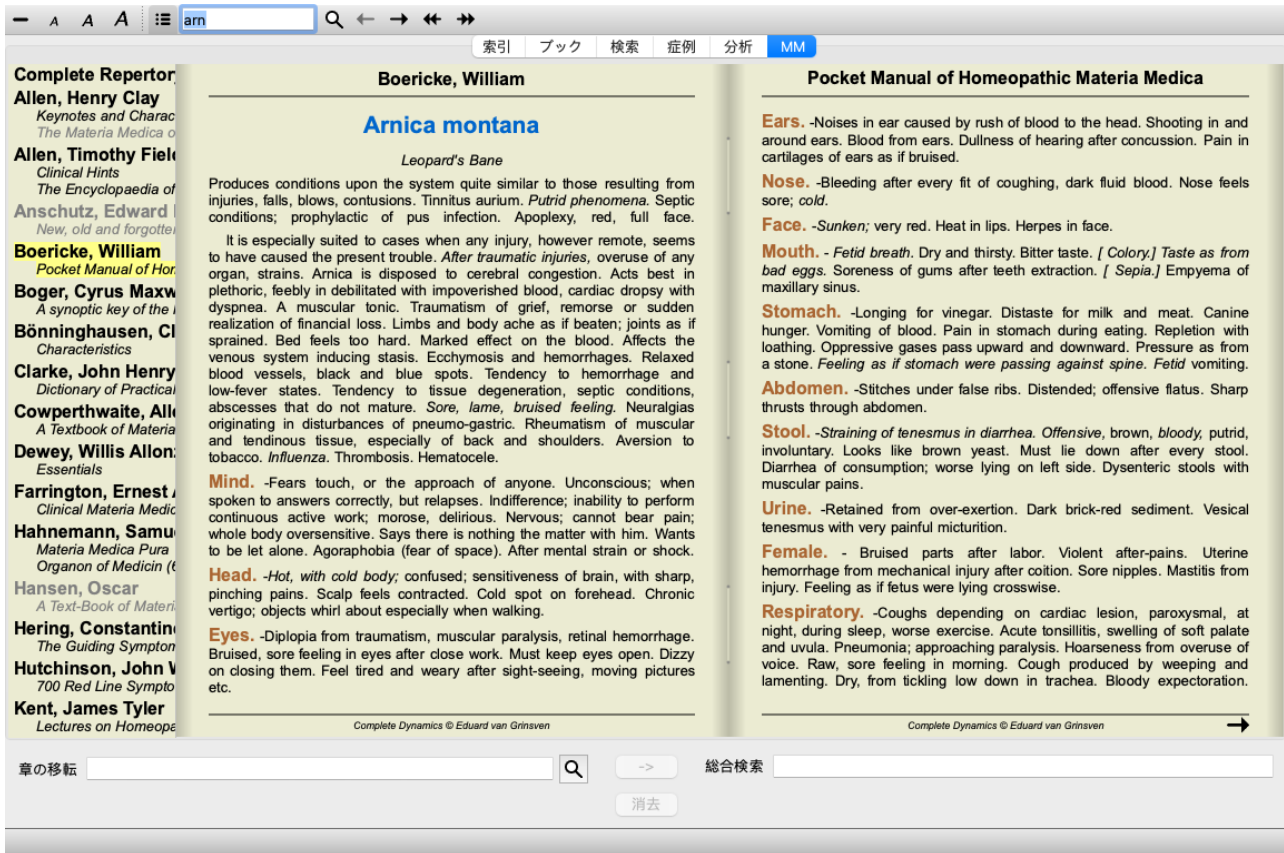
- 緑: 軽微な改善勧告のみ。
- 黄色: 品質は改善可能。
- 赤: この分析には重大な問題があります。

品質指標をクリックすると、改善の可能性を示唆するレポートが表示されます。

マテリアメデイカモジュール

Materia Medica モジュールを開く

MM タブをクリックし、Materia Medica モジュールに移動します。(メニューオプション表示/マテリア・メデイカ, \mathbb{M} -M).

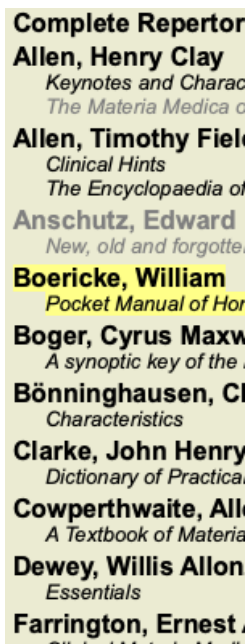


救済措置の選択

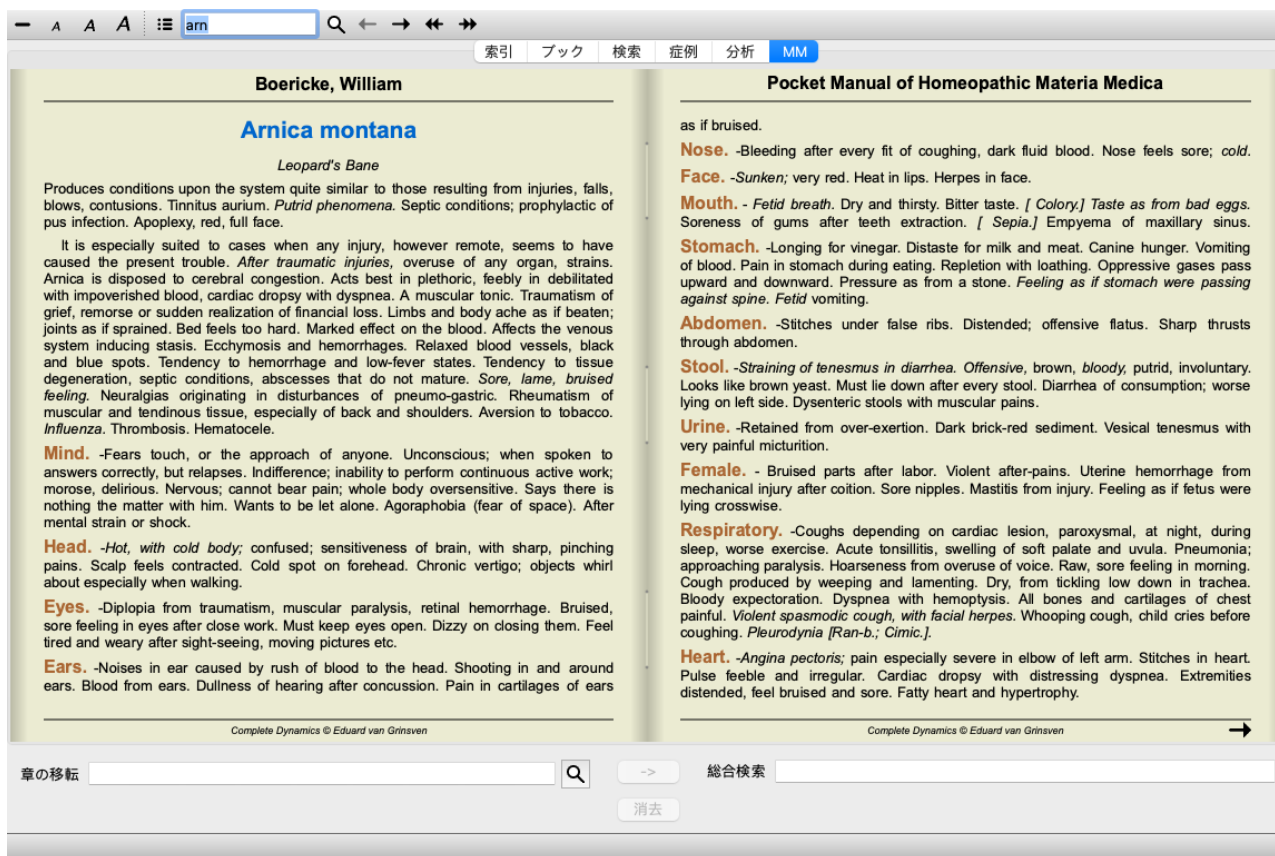
ツールバーの上のフィールドにレメデイの略語を入力することができます。略語がわからない場合は、欄外の \mathbb{Q} を押すことで救済策を調べることができます。

本を選ぶ

レメディーを選択した後、画面左側に表示されているマテリアメデイカのソースを任意に選択することができます。選択したレメディーがブック内に存在しない場合は、ブックタイトルがグレーで表示されます。

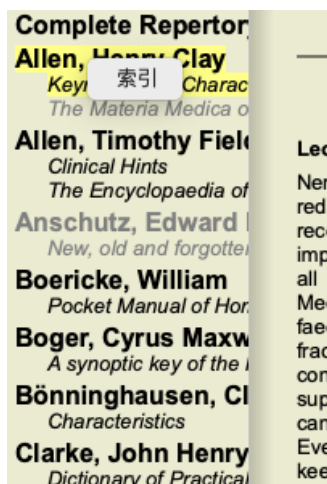


読書スペースを確保したい場合は、ツールバーのボタン \mathbb{M} でインデックスを非表示にすることができます。



レメダイインデックス

書籍に収録されているすべてのレメダイの概要を知るには、書籍タイトルのポップアップメニューを開いてください。(ポップアップメニューオプション索引)。



収録されているすべてのレメダイが掲載されているリストが表示されます。レメダイ名をクリックすると、そのレメダイのブックを開くことができます。

Allen, Henry Clay / Keynotes and Characteristics

Abrotanum
Aceticum acidum
Aconitum napellus
Aesculus hippocastanum
Aethusa cynapium
Agaricus muscarius
Agnus castus
Allium cepa
Aloe socotrina
Alumina
Ambra grisea
Ammonium carbonicum
Ammonium muriaticum
Amylenum nitrosum
Anacardium orientale
Anthracinum
Antimonium crudum
Antimonium tartaricum
Apis mellifera
Apocynum cannabinum
Argentum metallicum
Argentum nitricum
Arnica montana
Arsenicum album
Arum triphyllum
Asarum europaeum
Asterias rubens
Aurum metallicum

Baptisia tinctoria
Barvta carbonica

利用可能な書籍やインターネットサイト

Materia Medicaモジュールには、いくつかの書籍が用意されています。これらの書籍は、お客様の言語設定により、ご利用いただける言語が異なる場合があります。


Materia Medicaモジュールは、レメディー情報を提供するいくつかのインターネットウェブサイトと統合しています。これらのウェブサイトが利用可能かどうかは、お客様の言語設定によって異なります。
なお、インターネット上のウェブサイトのコンテンツは、Complete Dynamics には含まれませんが、便宜上、Materia Medicaモジュールにのみ表示されています。
一部のウェブサイトでは、情報へのアクセスに際して料金を請求する場合があります。これは純粋にウェブサイト所有者のポリシーであり、お客様のComplete Dynamicsライセンスとは一切関係ありません。

リバースマテリアメデイカ

Reverse Materia Medica は、指定されたレメディーのレパートリーの中から、最も重要な症状をそのまま表示します。通常のマテリアメデイカのように、人間の専門家による解釈は行われません。*Reverse Materia Medica* は、レパートリーに蓄積された専門知識に完全に基づいています。
Book モジュール内のループリックに移動するには、そのループリックをダブルクリックするだけです。

重要な症状ほど大きく印刷されるので、様々な症状の相対的な重要性を簡単に見分けることができます。

以下のボタンで結果を修正することができます。

- 症状が少ない。
- + より多くの症状
- フィルター フィルタードロップダウンリストでは、逆マテリアメデイカに表示されるルビの基準を選択することができます。
- 自動 最も関連性の高いループリックが自動的に選択されます。
- 確認された症状 グレード3または4のレメディーのみが使用されます。これらは、実際に確認されている症状を示しています。
- 完全な症状 完全な症状のみを使用しています。症状は、少なくとも3種類の情報が組み合わさって完成します。例時間+場所+延長
- 確認済み・完了 確定と完全の症状のみ表示されます。
- レッドライン症状 より多くのレパートリーで関連性のある症状が発生するものを優先する。
- キーノート レメディーのグレードは3か4だが、他のレメディーはすべて低いグレードである。
- ユニークなループリック レメディーが唯一発生しているルビだけを表示する。
-  Differential Diagnosisのオン/オフ。オンになっている場合は、その症状の他の重要なレメディーを示す。

リバースマテリアメデイカにおける代替療法

ツールバーの🔍ボタンを押すと、その症状に対するいくつかの対処法が追加で表示されます。(メニューオプション表示/レメデイ/レメデイ比較表示, ツールバーボタン🔍, ポップアップメニューオプションレメデイ/レメデイ比較表示).

MIND ANGUISH ; heart complaints, in; angina pectoris , in: ARN (+1) dd: aml-n ANSWER , answering, answers; stupor returns quickly after: ARN (+26) dd: BAPT HYOS DESPAIR ; concussion, after: ARN DULLNESS ; injuries of head, after: ARN (+10) FEAR ; touch, of; gout , in: ARN (+1) dd: colch FORGETFULNESS ; injuries, after: ARN (+8) dd: HYPER INDIFFERENCE , apathy; fever ; during: ARN (+40) dd: CHIN CON OP PH-AC PHOS SEP INDIFFERENCE , apathy; heat; during: ARN (+10) dd: PH-AC PULS Op Phos Sep INDIFFERENCE , apathy; stool; after: ARN (+1) dd: cycl RESTLESSNESS , nervousness; perspiration ; during: ARN (+39) STUPEFACTION , as if intoxicated; concussion of brain, after: ARN STUPEFACTION , as if intoxicated; injury , after: ARN (+5) dd: clic con hell puls rhus-t STUPEFACTION , as if intoxicated; perspiration ; during: ARN (+14) dd: HYOS OP PH-AC PHOS RHUS-T UNCONSCIOUSNESS , coma; brain complaints, in: ARN (+47) dd: APIS OP UNCONSCIOUSNESS , coma; fever , during: ARN (+72) UNCONSCIOUSNESS , coma; injury , after: ARN (+12) dd: CALEN WEeping , tearful mood; cough; before: ARN (+8) dd: BELL BRY HEP WEeping , tearful mood; cough; during: ARN (+33) dd: BELL HEP NAT-M HEAD CONGESTION , hyperemia; chill; during: ARN (+26) dd: CHIN ARS CEDR MERC SEP M-arct M-aust CONGESTION , hyperemia; thirst, with: ARN (+3) dd: Mang Thuj bov HEAT ; chilliness; during: ARN (+25) dd: BELL BRY HEAT ; coldness, with; body , of: ARN (+42) INFLAMMATION ; meninges, meningitis; injuries, after: ARN (+5) dd: HEP HYPER NAT-S OP bell PAIN , headache; brain complaints, in: ARN (+25) dd: ACON PAIN , headache; injuries, after: ARN (+42) dd: ACON NAT-S	HEAD (cont.) PAIN , headache; injuries, after; concussion : ARN (+23) dd: ACON BELL CHIN CIC HYPER KALI-BR Hell PAIN , headache; injuries, after; fall, after a: ARN (+7) dd: CIC HYOS Thiosin hyper nat-s rhus-t sul-ac PAIN , headache; forehead; warmth; agg.: ARN (+15) dd: APIS PAIN , headache; burning, smarting; coldness of body, with: ARN (+1) dd: coff-t PAIN , headache; stitching; cough; during: ARN (+43) dd: BRY SABAD SULPH SWELLING ; children: ARN (+2) dd: RHUS-T Sil EYES CATARACT , opacity of lens; injuries, after: ARN (+17) dd: ACON CATARACT , opacity of lens; operations, after: ARN (+5) dd: ACON ALUMN SENEG STAPH rhus-t DUST ; agg.: ARN (+32) dd: ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH HEMORRHAGE ; coughing agg.: ARN (+5) dd: HAM LED NUX-V carb-v cham HEMORRHAGE ; injuries, after: ARN (+5) dd: LED NUX-V bry erig sul-ac INFLAMMATION ; injuries, after: ARN (+28) dd: ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH INFLAMMATION ; injuries, after; foreign bodies, from: ARN (+7) dd: ACON HEP SIL CALC PULS ham sulph INJECTED ; cough, during: ARN PAIN , ophthalmia; injuries, after: ARN (+6) dd: SYMPH BRY LED SULPH asar hyper PAIN , ophthalmia; injuries, after; obtuse body, infants fist, ball, etc.: ARN (+1) dd: SYMPH EARS INJURIES , after: ARN (+13) dd: CAPS CHIN-S TELL Arist-cl Lach Nat-m HEARING IMPAIRED , difficult; injuries or blows, after: ARN (+5) dd: CHIN-S TELL carb-v croc thiosin NOSE EPISTAXIS , hemorrhage; morning; agg.; blowing nose agg.: ARN (+34) dd: CHIN LACH AGAR BOV CAUST PULS
---	--

各症状に対して、最大7つの代替療法が表示されます。

この例では、7つのレメデイが表示されることもあれば、もっと少ないこともあることがわかります。これは、あるグレードのレメデイーは、ALLが表示できる場合にのみ表示されるからです。

つまり、グレード4とグレード3のレメデイーが表示されている場合、そのループリックにはグレード4や3のレメデイーは存在しないが、表示されていないグレード2や1のレメデイーが存在する可能性があることを意味します。

レメデイーが全く表示されない場合は、ループリックに同じ重要度のレメデイーが8つ以上含まれているか、代替手段が全くないかのどちらかだと思われます。

マテリアメデイカの追加

他のユーザーが作成したマテリアメデイカの本は、Complete Dynamics に簡単に追加することができます。マテリアメデイカの本は、ファイルに保存され、他のユーザーと共有することができます。新しいブックをインストールするには、ファイルを Documents フォルダの下にある Complete Dynamics というフォルダにコピーしてください。その後、Complete Dynamics を停止して再起動します。そうすると、新しい本が自動的にあなたの MM セクションに表示されるようになります。

新しいマテリアメデイカブックを作成するには、Master Edition のライセンスが必要です。

マテリアメデイカ早わかり

複数の書籍のマテリアメデイカのテキストを同時に素早く見ることができ、とても便利です。

Materia Medica quick view ウィンドウでは、よりコンパクトなマテリアメデイカ本のテキストを複数同時に表示します。(メニューオプション表示/マテリアメデイカクイックビュー, ポップアップメニューオプションマテリアメデイカクイックビュー).

Cyclamen Europaeum

700 Red Line Symptoms (Hutchinson)

1. - Flickering before the eyes, as of various colours, glittering needles, fiery specks and sparks.

Keynotes of the homeopathic Materia Medica (Lippe)

Sow Bread

Pressing, drawing and tearing pain, principally in the periosteum. Chilblains of the feet.

As long as he walks about he feels well with the exception of languor,

but as soon as he sits down, especially in the evening, he suffers various inconveniences.

Thirstlessness.

Menses too profuse.

Bad effects from eating much fat food (pork).

Aggravation in the evening and while at rest.

Amelioration whilst walking.

Keynotes and Characteristics (Allen)

Sow Bread Primulaceae

Best suited for leucophlegmatic persons with anaemic or chlorotic conditions; easily fatigued, and in consequence not inclined to any kind of labor; feeble or suspended functions of organs or special senses. *Pale, chlorotic; deranged menses* (Ferr., Puls.), accompanied by vertigo, headache, dim vision. Pains; pressive, drawing or tearing of parts where bone lie near the surface. Ailments: from suppressed grief and terrors of conscience; from duty not done or bad act committed. Great sadness and peevishness, irritable, morose, ill-humored; inclined to weep; desire for solitude; *aversion to open air* (reverse of Puls.). Headache in anaemic patients, with flickering before eyes or dim vision, on rising in morning. Flickering before eyes, fiery sparks, as of various colors, glittering needles, dim vision of fog or smoke. Satiety after a few mouthfuls of food then

終了

このウィンドウは、あなたが明示的に閉じるまで開いたままになります。そうすることで、レメディーを素早く比較することができますようになります。Book,Find,Analysis モジュール内の任意のレメディー名をクリックするだけで、別のレメディーを選択することができます。

救済情報

救済措置の詳細情報

例として、ループリック *Generalities; Food and drinks; apples; desires* を見てみましょう。

FOOD	GENER.
FOOD and drinks; apples (cont.)	
desires: adam Adon ALOE aml-n ANT-T	
ap-g arge-p Asaf bit-i-at bro-s-g Cham	
cit-n cub dama-d fel GUAI Hafn helod-c	
kali-p lac-drom lsd lyss Manc menth	
merl meteo-a ory-c ozon phos polyst	
prun pyrus-c Ruta sabad sep stront-c	
SULPH tax TELL toxop-p Tritic-v vip	
• Food and drinks; cool things, like apples, desires (2)	
• Food and drinks; fruits; desires (235)	
• eleven thirty pm., on falling asleep:	
fel	

ループリックのレメディについて詳しく知りたい場合は、レメディ名の上にマウスを移動し、ウィンドウの左下にあるメッセージエリアを見るのが一番簡単な方法です。

REMEDYGRADE3]ant-t[/TAG_ERROR] の上にマウスを移動すると、メッセージが表示されます。

ant-t = Antimonium tartaricum (Allen, Bönninghausen, Lilienthal, Lippe)

Antimoniumが（印刷の仕方で）3級であることだけでなく、その完全名称が *Antimonium tartaricum* であり、前述の4人の著者がこの情報を寄せたために、このルビが振ってあることもわかりいただけたと思います。

詳細は、**ANT-T** をダブルクリックすると表示されます。

これにより、Remedy Information ウィンドウが表示されます。

ループリック: GENERALITIES; FOOD and drinks; apples; desires.

レメディの略語: ant-t, レメディのグレード: 3.
ホメオパシーで規格されたレメディの名前: Antimonium tartaricum.

関係のあるループリックに存在する回数: 2, 平均グレード: 2.0.

ライブラリーのソース・コード.

Allen T F	Encyclopedia of Pure Materia Medica, 1874.
Allen T F	Index of Encyclopedia, 1876.
Bönninghausen C M von	Systematisches alphabetisches Repertorium der antipsorischen und nicht-antipsorischen Arzneien with handwritten annotations, 1833.
Knerr C B	Repertory of Hering's Guiding Symptoms, 1896.
Lilienthal S	Homoeopathic Therapeutics, Jain. B. (New Dehli), 1907.
Lippe A von	Keynotes and Red line symptoms of Materia Medica, 1915.
Saine A	Materia Medica Pura Project, 2018.
Trinks C F & Müller C	Handbuch der homöopathischen Arzneimittellehre III, T.O. Weigel (Leipzig), 1847.

終了

関連するループリックでの使用頻度

関連ループリックとは、この救済措置のために閲覧しているループリックと何らかの関係があるループリックのことです。

この例では、これらのループリックは

一般論: 食べ物や飲み物; リンゴのような冷たいもの、欲望

一般論: 飲食物; リンゴ、欲望; 水、冷たいものを欲すること

これらのループリックには、*ant-t* も含まれています。

関連するループリックでの出現回数が多いほど、またその平均的な重みが高いほど、その改善策をより重要視することができます。

情報源

レメディの出典をすべて列挙します。これには、少なくとも著者名、書籍や雑誌のタイトル、出版年が含まれます。

ジャンプ先フィールド

目的

ウィンドウの左下にある *Jump to* フィールドは、レパートリーの中から指定されたループリックに素早くジャンプするために使用します。

既知のループリックに素早くジャンプするために使用できます。

探しているものがわからない場合は、代わりに *Find* フィールドを使用します。 *Jump to* フィールドは、行きたい場所がわかっている場合に素早くナビゲートするのに役立ちます。

キーボードフォーカスの移動

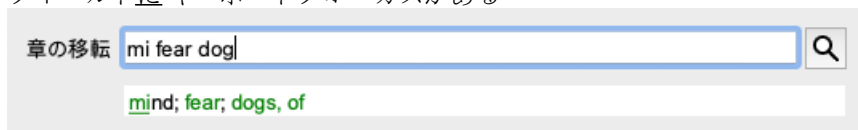
Jump to フィールドがキーボードストロークを受け付けるようにするには、まずそのフィールドを選択する必要があります。

Tabキーを1回または2回押すと、 *Jump to* のフィールドにフォーカスが移動します。(メニューオプション表示 / 章の空欄に移転, ⌘-J)。

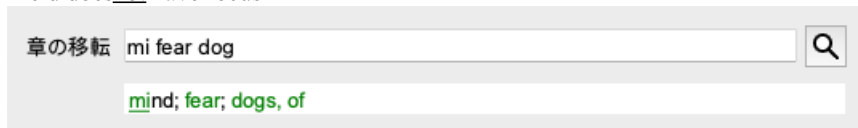
瞬時にブックに戻るには、Enterキーを押してください。

もちろん、マウスでフィールドをクリックすることも可能です。

フィールドに キーボードフォーカスがある



Field doesnot have focus



フィールドの使用

Jump to フィールドに、ジャンプしたいループリックの最初の文字を入力するだけです。ループリックのパーツはスペースで区切られています。

上記の例では、 *Mind; Fear, dogs of* というループリックにジャンプしています。

それぞれのループリックフラグメントを識別するために必要な最小限の文字数だけを入力します。この例では、 *m fe dog* と入力すれば十分である。

入力中は、 *Jump to* フィールドのすぐ下に表示される、解釈に関するフィードバックが提供されます。

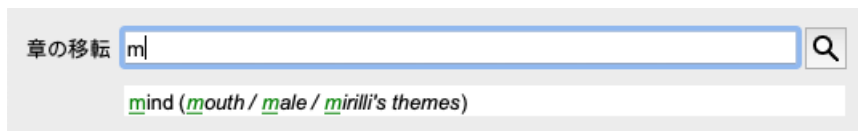
また、文字を入力すると、キーを押すたびに瞬時に新しいルビにジャンプします。

要するに、本にフォーカスが当たっているときは、Tabキーを押して、数文字入力してループリックに移動し、Enterキーを押して本にフォーカスを戻すだけでいいのです。少し練習すれば、このナビゲーションは非常に強力です。

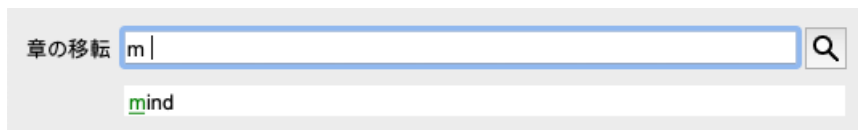
Mind; Fear; dogs, of というループリックを例にとつて、入力中に何が起こるか見てみましょう。

最初の *m* は、 *mind* と解釈されます。括弧内は、同じく *m* で始まる3つの選択肢です。

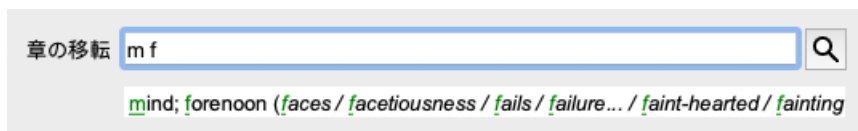
なお、正しいかもしれないと解釈された部分は、緑色で印刷されています (*m inmind, mouth, male, mirilli's themes*)。



スペースバーを押すと、この部分は完了します。 *Mind* は、4つの可能性のうち、確定した選択肢です。



これで、ループリック名の第2部がスタートしました。 *f* は *forenoon* と解釈され、最初の可能な選択肢となる。



forenoon, だから、もう一文字入力してください。今恐怖が選択され、かなりの選択肢が残っている。

単語の後に点がある場合（例： *fed...feeling...* ）は、ルビが本当はもっと長い（*fed, desires to be /feeling, loss of*）が、他の選択肢にスペースを空けるために余計な単語は省かれたことを意味します。

章の移転

mind; fear (fe arlessness / feces / fed... / feeling... / feigning / fever)

ここでも、スペースを押すことで、正しいことが確認できます。

章の移転

d led daytime only.

章の移転

do は、*doctors* に移動します。

章の移転

そして、犬は、あなたが本当に欲しいものを与える。[/TAG_ERROR]この本は、心；恐怖；犬、のところで開かれている。

章の移転

Enterを押すだけで、目的の場所に移動できます。

注：[/TAG_ERROR]の犬は、全体が緑色で印刷されています。この文脈では、*dog*、この解釈しかありえないからだ。*mind* は、最初の*m*だけが緑色で印刷されています。これは、*m*で始まる選択肢もあるためです。*fear*は緑色の文字が2つ印刷されていますが、これは*fe*がユニークだからです。*feces, fed, feeling, feigning*などの代替案も*fe*で始まる。

失敗するのが人間

もちろん、あなたはすべてのレポトリ構成を暗記しているわけではないでしょう。誰もそんなことはしない。そのため、頻繁にミスをして、間違っただけを入力する可能性が高いです。


例えば、ループリック*Mind; delusions; lions*に行きたいと思います。

正しいルビは *actually Mind; delusion; cats, felines, sees; lions* であるため、このルビは存在しない。

だから、*m delu lion* と入力するのです。

章の移転

これで、*lion*、一致しないので赤で表示されていることがわかります。

ジャンプ先と検索先の間にあるボタン  を押して、検索に切り替えるだけなので、心配はありません。これは、*Jump to* フィールドのテキストを *Find* フィールドにコピーして、すぐに検索を開始します。*Find* モジュールは、探していたループリックを表示するようになりました。

MIND

DELUSIONS, imaginations; cats, felines, sees; lions: (2)

DELUSIONS, imaginations; hand, hands; paw of a lioness, change into: (1)

最初のルビをダブルクリックするだけで、意図した通りの場所に本が開きます。

ブックモジュール

Book モジュールでループリックを選択すると、*Jump to* のフィールドにそのループリックのショートテキストが自動的に入力されます。こうすることで、関連するループリックを簡単に見つけることができます。

例

ループリック *Mind; fear; dogs, of, attacking him, in delirium* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます *min fear dog att.*

ループリック *Generalities; food and drinks; cold; drinks, water; agg.* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます。 *gen foo cold dri agg.*

ループリック名の各パーツには、最低3文字が使用される。1~2枚で十分な場合もありますが、その場合は文字が非常に読みづらくなるはずです。

3文字では足りない場合、他のループリックと区別するために、より多くの文字が使われる。

フィールドを探す

パワフルで使い勝手の良い検索

検索フィールドは、非常に効率的で強力かつ迅速な検索を可能にします。

総合検索

このフィールドには、個々のフィールドに入力できるすべての検索条件を入力できます (「モジュールの検索」セクションを参照)。

しかし、検索フィールドを切り替えることなく、検索したい内容を入力・変更できるため、より効率的な検索が可能です。

これは、とてもとても速いことです。

知っておいていただきたいことがいくつかあります。*Find* モジュールの各フィールドに検索条件を入力するたびに、正しくフォーマットされた文字列が *Find* フィールドに自動的に入力されるため、実際には非常に簡単です。これは双方向に作ります。検索フィールドに入力したものは、解釈されたとおりに個々のフィールドに表示されます。

The screenshot shows the 'Find' module search interface. It includes several input fields and checkboxes for filtering results. The 'Text' field contains 'lenses before/during'. The 'Remedy' field contains 'sep cimic'. The 'Minimum Grade' is set to 3. The 'Minimum Number of Remedies' is 0, and the 'Maximum Number of Remedies' is 9999. There are checkboxes for 'Complete Symptoms' and 'Loopback is OK'. There are also input fields for 'Loopback Type' and 'Chapter', each with a search icon. A 'Clear Fields' button is at the bottom left.

Find フィールドが強力なのは、探しているものを好きな順番で入力できることです。そのため、ルビが多すぎる場合は、いくつかの用語を追加して入力すると、結果が少なくなります。また、以前に入力した基準を繰り返し入力することも可能で、最新の解釈が採用されます (評点、ループバックサイズ)。

Find フィールドの使用と個々のフィールドを組み合わせることもできます。一方の拠点で変更した内容は、もう一方の拠点でも自動的に反映されます。

ルールは以下の通りです。

テキスト テキストフラグメントは、個々のテキストフィールドに入力したように、自動的にテキストとして解釈されます。

ここでは、/、+、-の使い方は同じです (*Find module* のセクションの例を参照ください)。

上記の例では、*menses* という単語と、*before* または *during* のどちらかを組み合わせて検索しています。

レメディー レメディーの略語はドットで終わらせる必要があります。

Remedies の欄は任意ですが、ここではテキストの断片とレメディーの略語の混乱を避けるため、ドットで終わらせる必要があります。(混同例: *sep* は、*sepia* と *separation* のどちらかの意味になります。)

ここでも / と + の使い方は同じです。例については、セクション *Find module* を参照してください。

上記の例では、*sepia* または *cimicifuga* のいずれかを検索対象としています。

注: それ自体が略語でないレメディー (*Apis* や *Bufo* など) も、最後にドット (*apis. bufo.*) を付ける必要があります。

グラデーション *1,*2,*3, または *4 を入力することにより、最小レメディー階調1~4を指定することができます。この表現は、次のように読み替えることができます。要求されたすべての(*)救済措置は、この等級以上である必要があります。

あるいは、*の付いていない1、2、3、4の数字も同様に最小救済階調と解釈する。つまり、4 は、*4 と同じである。

ループバックサイズ 最小および最大のループバックサイズは、>または<の前に数字を付けて指定することができます。

<50は50回以下のレメディーを意味します。

>10は10回以上のレメディーを意味します。

または、5以上の数字で始まるものは、自動的に最大ループバックサイズと解釈される。つまり、50 は、<50 と同じです。

事例紹介

上記の例を拡張して、最大50個の救済を含むループバックに制限してみましょう。

以下の条件の入力方法は、すべて同じ結果になります。

月経前/月経中 *3 <50
月経前/月経中 3 50
月経の前または中に分離する 3 <50 cemic.
50 月経前 / 月経中 / 半月期3
月経前/月経中 2 cemic.200 50 3

最後の例では、最初のグラデーションが2だったのが、後から3になっていたり、ループリックの最大サイズが200だったのが50になっていたりするのがわかりますね。これは例として分かりにくいかもしれませんが、検索中に検索結果を絞り込みたいときには、実はとても効率的な方法なのです。前に入力した基準を削除することなく、新しい基準を入力することができます。

ヒントテキスト検索では、「=」、「*」、「"」という特殊な表記も使用することをお忘れなく。
=dog will finddog, but notdogmatic.
*ation will findpalpitation as well asperspiration andovulation.
"he is" は、順番が同じなら、he とis だけが見つかります。

プリファレンス設定

プログラムのいくつかのオプションは、個人の好みに応じて設定することができます。これらのオプションは、メニューオプション *Preferences* で変更できます。(メニューオプション全般 / 環境設定)。
いくつかのセクションからなるダイアログが表示されます。

一般設定



プログラム言語 ここでは、いくつかの言語オプションが用意されており、そこから選択することができます。
使用できる言語は、Complete Dynamicsのバージョンによって異なります。

アニメーション Complete Dynamicsの一部では、ケースを開いたり閉じたりする際などにアニメーションが使用されています。
これは見た目はいいのですが、仕上がりに時間がかかるんです。これらのアニメーションが不要な場合は、このオプションのチェックを外してください。

標準フォント名 ここで、プログラムで使用するお好みのフォントを選択することができます。

ケントのレパートリーを含む *Kent's Repertory, 6th edition* を別のレパートリーとして利用したい場合は、このオプションにチェックを入れてください。
Kent's Repertory の内容はすべて *Complete Repertory* にすでに収録されています。しかし、人によっては、他の資料からすべての追加をせずに、*Kent* に相談することを好む人もいます。
このオプションにチェックを入れると、*Kent* が *Index* モジュールで利用できるようになります。

図書の設定

- レポートリー言語** レポートリーに使用する言語です。
2つ目のオプションは、ルブリックテキストの後に表示される第二言語です。第二言語は、レポートリー翻訳を購入した場合のみ利用可能です。
- 横スクロール** このオプションにチェックを入れると、横スクロールの機能が有効になります。
この機能は、マウスやトラックパッドが水平方向のスクロールに対応している場合にのみ使用できます。
- ルブリックサイズを表示する** チェックした場合、Bookモジュールは常にルブリックの救済措置の数を表示します。チェックしない場合は、レメデイが表示されていないときのみ、番号が表示されます。
- アルファベット順のルブリック** チェックした場合、Bookモジュールは常にアルファベット順でルブリックを表示します。チェックを入れない場合は、ケントが紹介した標準的なレポートリー順となります。

設定の検索

- 自動レイアウト** このオプションをオンにすると、画面に十分なスペースがある場合、検索結果が自動的に複数列で描画されます。
チェックを入れないと、すべてのルブリックが一列に描画されます。

ケース設定

基本設定 ブック 検索 **症例** 分析 MM

ケースの自動ロックまでの分 5

アーカイブされたケースを自動的に削除する 決して

クラウドサーバーを使用します ☒

取り消す 同意

ケースの自動ロックまでの
分数

患者情報を保護するためにパスワードを設定した場合、このオプションは、Caseモジュールが自動的にロックされるまでの時間を設定します。ここに0を入力すると、自動ロックは行われません。

アーカイブされたケース
を自動的に削除

アーカイブされたケースを永久に削除するまでの時間を選択します。Neverを選択した場合、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

クラウドサーバーの利用

クラウドサーバーにケースのコピーを保存します。

解析設定

基本設定 ブック 検索 症例 **分析** MM

HFA のレメディ色 ☒

ルブリックの重みがゼロとでレメディはハイライトされません。 ☐

分析計算法

- ☒ 一般分析計算法
- ☒ ルブリックが少数
- ☐ レメディが少数
- ☒ ベニングハウゼン
- ☒ 単純に数えて
- ☐ Eduard test
- ☐ TestFormula

↑ ↓ 表示したい分析計算法。 ☒

取り消す 同意

レメディカラーリングHFA

このオプションをチェックすると、Grant Bentleyの顔分析手法に従ったカラーレメディが分析できるようになります。Analysisモジュールでは、新しいツールバーボタン (🎨) が表示され、色付けのオン/オフを切り替えられるようになりました。このオプションの使用は、このメソッドのコースを成功裏に完了した場合にのみ有効です。

関連するループリックスの
みを表示する

Analysis モジュールでは、ループリックスと救済措置の関係が結果の表グラフで示される。重み付けが0になっている症状やループリックスは、実際には解析結果に寄与していません。このオプションをチェックすると、分析結果に寄与しないループリックスの救済は、結果表のグラフから除外されます。こうすることで、ループリックスが分析結果にどのように寄与しているかが、よりわかりやすくなります。

解析式

Analysisモジュールでは、いくつかの分析式を使用することができます。
これらのうち、どの数式をどの順番で表示するかを選択することができます。
分析の表示順を変更するには、分析名をクリックして選択します。BUTTON:up1]、↓のボタンで、リストの上下に移動させることができます。
分析を含めるか除外するかは、inを選択してから、チェックボックスShow analysis をクリックします。

マテリアメディカ設定

基本設定 ブック 検索 症例 分析 MM

逆レパートリー ☒

次ぎの言語でマテリア・メディカの閲覧

英語 ☒

日本語 ☐

クイックビュー...

取り消す 同意

言語 マテリアメディカの言語が複数用意されています。
デフォルトでは、コンピュータの言語と国の設定、およびライセンスオプションに従って、言語が表示されます。
Materia Medica モジュールで表示する書籍の言語を選択することができます。

言語

Complete Repertory やくしよしごと

Complete Repertoryは様々な言語に翻訳されています。新しい翻訳が定期的に追加されます。

Complete Dynamicsは、標準言語として英語を搭載しています。

他の言語でのレパートリー閲覧や、2言語での同時閲覧も可能です。

Find 機能は、英語で正しい単語がわからない場合、母国語でルビを検索することも可能です。追加言語を使用するには、ライセンスキーの購入が必要です。

現在、以下の言語に対応しています。

-  イングリッシュ これが標準語です。
-  ジャーマン
-  オランダ語
-  フレンチ
-  スペニッシュ
-  ポルトガル語
-  イタリアン
-  ハンガリー語
-  ルーマニア語
-  ブルガリア語
-  ロシア語
-  ヒンディー語
- やまと

ライセンスキーの購入は、弊社ホームページの「*Menu / Help / Buy extra language*」から行ってください。

翻訳者があなたのために行った作業に対する報酬を支払うために、追加の言語に対して少額の手数料を支払う必要があります。

ホメオパシーレメディーを購入する

このプログラムでは、ホメオパシーのレメディーをオンライン薬局に直接注文することができます。
薬局が利用できるかどうかは、地域や国際的な規制によって、国ごとに異なる場合があります。この可否は、プログラム起動時に決定される。

レメディーを注文するには、Book または Analysis モジュールのレメディー名でポップアップメニューを開き、オプションレメディーを薬局で購入するを選択します。(ポップアップメニューオプション薬局から薬を購入する)。

FLOWING sensation (cont.) water, of: ACON aeth agar alum arg-n ars bell camph cann-s casc caust chel CHIN croto-t dule GELS GLON granh Hist in lach lyc pip-n S verat V • Swast internal • Trickle • Water sensati	FLUTTERIN nux-m N PHASE plut-n po ac se G spc LPH : ng ver bratin g, on: a taking; of bc heart & rt (91, plan plane sens ind; de or she ind; de mming and d ind; di omac. • Stomac. • Intoxica
レメディーの情報	
レメディーの詳細	
マテリア・メディカ	
マテリアメディカクイックビュー	
ブルーピングのウェブサイト	
ルブリックを分析に追加	
ルブリックグループに追加	
参考ルブリックの追加	
本ルブリック (Flowing sensation) レメディー	
主なループリックのみ	
コピー・ルブリック	
ルブリックの中での検索	
インデックスページのループリック	
ルブリックはお気に入りです	

このオプションがない場合、あなたの国では薬局はサポートされていません。

選択後、自動的に利用可能なオンライン薬局が表示されます。

なお、Complete Dynamics は薬局から独立しています。お客さまへのサービスとして、薬局へのダイレクトアクセスを提供しています。

キーボードショートカット

モジュール選択

command I インデックスモジュール
command B ブックモジュール
command S モジュールの検索
command D ケースモジュール
command R 解析モジュール
command M マテリアメデイカモジュール
command J ジャンプする
command F 探す
command Y フィールドの表示/非表示 ジャンプと検索
F1 ドキュメンテーション

ブックモジュール

→ 次ページへ
← 前のページに戻る
shift → 次の章へ
shift ← 前の章へ
↓ 次のループリックに進む
↑ 前のループリックへ
shift ↓ 次のメインループリックへ
shift ↑ 前のメインのループリックへ
control ↓ 同じレベルの次のループリックに進む
control ↑ 同じレベルの前のループリックに移動する
control ← 参照先をたどると、前のループリックにジャンプします。
control → 前方ジャンプ (後方ジャンプの反対)

スペース レメディーの表示 / 非表示
1 全レメディーグレード
2 レメディーグレード2-3-4
3 レメディーグレード3-4
4 レメディーグレード4

レポートリーチャプター

shift-command A 腹部
shift-command B 背面
shift-command C クリニカル
shift-command E 四肢
shift-command F 女性
shift-command G 一般事項
shift-command H ヘッド
shift-command L 喉頭・気管
shift-command M 心
shift-command P 発汗
shift-command R 呼吸
shift-command S 肌

shift-command T のど
shift-command U 尿道
shift-command V めまい
shift-command X 解剖学的インデックス

ケース

control N 新しいケース
control O 選択したケースを開く

control C ケースを閉じて、別のケースを選択する
control E 選択した案件の情報を編集する
control A 解析の追加
control T テンプレートを利用した解析の追加
control D 重複選択解析
control S 症状追加
control R 分析に選択したレパトリのループリックを追加
control V ループリックの概要を分析で示す
control X 処方箋の追加
command P プリント

分析

command C 選択した行をコピーする
command V コピーした行を貼り付ける
shift ↑ 選択した行を上に移動
shift ↓ 選択した行を下に移動する
1 選択行の重みを1に設定する
2 選択行の重みを2に設定
3 選択行の重みを3に設定
4 選択行のウェイトを4に設定
0 選択した行を解析に含めない
← 症状のルビを隠す（閉じる）
→ 症状のループリックを表示する（公開）
command 1 ① 1
command 2 ② 2
Etcetera...

マテリアメデイカ

→ 次ページへ
← 前のページに戻る
shift → 次の章へ
shift ← 前の章へ

フィードバック

皆様のご協力とご意見をお聞かせください。

Complete Dynamicsの制作者は、最高の品質と操作性、そして商用版としての適度な価格設定を実現することに全力を注いでいます。

品質面では、ソフトウェア開発において、ゼロ・フォールト・トレランスのアプローチをとっています。プログラムの不具合は絶対に許されないので、発見された場合は最優先で解決します。

ユーザビリティは非常に個人的な問題なので、より複雑な問題です。私たちと専門の評価者グループは、お客様の声を常に評価しながら、最高の使い勝手を追求しています。

お客様のご協力により、Complete Dynamicsは常に向上し続けることができます。

フィードバックの方法

インターネットに接続されたパソコンであれば、簡単にフィードバックが可能です。

メニューを開き、オプション *General Feedback* または *Report problem* を選択するだけです。(メニューオプションヘルプ/ このソフトウェアについて、ご意見をおしえてください。、メニューオプションヘルプ/ 経験なされた問題について、報告してください。).

あなたの「ホメオパシー・コンピューター」が直接インターネットに接続できない場合は、support@completedynamics.com までメールを送ってください。